

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
フレッシューズセミナー	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
西村 泰治、辻 慶子、永崎 孝之、田中 悟郎、中山 広宣、近藤 敏、齋藤 嘉宏				講義		

授 業 概 要
新入生全員を対象とした初年次教育講座と位置づけ、高等学校時代とは異なる大学生として、大学とは如何なるところで何をどのように学ぶのか目的を明確にして、様々な学修課題を解決するためにSNSや図書館での検索方法を学ぶ。医療に携わる職種を選択した学生同士として討議を通して仲間づくりを行い切磋琢磨する意識やチームワーク力や表現力を学び、個々のキャリアについても思考し、4年間の大学生活を有意義に実りあるものとして過ごせるような基盤づくりを行う。

到 達 目 標
1. 大学で学ぶ意義を理解できる 2. 学修課題の解決方法を理解し検索できる 3. レポートの書き方を理解し意図が伝わるように表現できる 4. 看護学、理学療法学ならびに作業療法学の教育が目指す目標、学問の概要および連携の重要性を理解できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習とまとめをする

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
○ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
最終講義日に実施する記述試験

教 科 書
講師が提供する資料

参 考 図 書
特にない

留 意 事 項
授業に積極的に参加して、今後の学修に役立つ情報や知識を自らつかみ取ること

オフィスアワー等
火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験
担当教員は、医師・大学教授(免疫学の基礎医学者) としての実務経験をもつ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
フレッシャーズセミナー	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
西村 泰治、辻 慶子、永崎 孝之、田中 悟郎、中山 広宣、近藤 敏、齋藤 嘉宏				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	大学について知る 4月6日(月) 2時限	大学で学ぶことの意義、本大学の特色、科学的なものの考え方： 抗生物質（ペニシリン）の発見とその作用機序の研究を例に挙げて	西村泰治
2	健康を守るからだの しくみー1 4月13日(月) 1時限	免疫系の成り立ちと機能：免疫系が身体を微生物の感染から守るしくみ	西村泰治
3	カリキュラムマップ 4月20日(月) 1時限	3学科のカリキュラムポリシー、教育課程（授業科目、単位等）とカリキュ ラムツリー	辻 慶子 永崎孝之 田中悟郎
4	臨地・臨床実習の学び方 4月27日(月) 1時限	対人援助職、医療職（学生を含む）に対する社会の厳しい目（挨拶、マナー 等）、先輩への敬意、患者さんへの接しかた、倫理観	中山広宣
5	学習法について 5月11日(月) 1時限	五感を使って記憶する、医学の基礎知識の反復学習、読解力をつける、自己 研鑽、コミュニケーション能力の習熟	近藤敏
6	レポートの作成法 ノートの取り方 5月18日(月) 1時限	レポートの形式（表紙 本文 文献）、本文（序論 本論 結論）の書き 方、ノートの取り方	齋藤嘉宏
7	将来展望（キャリアデザイ ン） 5月25日(月) 1時限	10年後のキャリアを考える（自己実現に向けて） 医療機関、福祉施設、老人保健施設、通所施設、訪問、行政職、研究職（大 学教員等）、一般企業、起業（NPO法人、株式会社）、大学院進学、JICA海 外協力隊	辻慶子 永崎孝之 田中悟郎
8	健康を守るからだの しくみー2 6月1日(月) 1時限	免疫学の医療への貢献：ワクチン接種による感染症の予防と、がんの免疫療 法	西村泰治

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
心理学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山口 雄介				演習		

授 業 概 要
本科目では基礎心理学と応用（臨床）心理学の知識を学び、心理学を日常生活に応用できるようになることを目的とする。 人間の生活基盤としての「個人・集団」の関係形成、心理および行動について理解する。人間は人との関係の中で生活しているが、人間の「心」の在りようは複雑で、その在りようが身体にも他者との関係にも影響する。心理学の伝統的方法と行動的方法をもとに人間理解の具体的方法を学ぶ。心理学は人のこころの動きや、そこから生じる行動について探究する学問である。心理学を日常生活に活用できるように学修する。

到 達 目 標
1. 心理学の全体像について説明できる 2. 人のこころの基本的な仕組みと働きについて理論を用いて説明できる 3. 本科目での学びを日常生活に活用できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
ミニレポート（20％）と定期試験（80％）により評価する。

教 科 書
はじめてふれる心理学〔第3版〕

参 考 図 書
授業中に適宜紹介する。

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
心理学		2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
山口 雄介					演習		
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	心理学とは	オリエンテーション 心理学の分野、心理学の全体像			山口雄介		
2	知覚	人間の視覚の仕組みについて、錯視図形（「図と地」「ゲシュタルト」）の概念について			山口雄介		
3	学習	人間が学習する仕組み「古典的条件づけ」、「オペラント条件づけ」、「観察学習」、「学習された無力感」の概念			山口雄介		
4	記憶	記憶のメカニズム（「記銘」・「保持」・「再生」）や記憶の変容など記憶力をアップさせる記憶方略			山口雄介		
5	発達	エリクソンの「発達漸成説」、人間の生涯にわたる発達段階と発達課題について			山口雄介		
6	青年（１）	青年期の区分 青年期の心理的特徴（「自己意識の高まり」、「劣等感と理想の追求」、「友情と恋愛」）			山口雄介		
7	青年（２）	青年期の鍵概念である「アイデンティティ」について 「アイデンティティ・ステイタス」、「モラトリアム」、「時間的展望」			山口雄介		
8	性格	性格を分類・記述する理論として「類型論」と「特性論」や各種心理療法に関連する人格理論心理テスト体験			山口雄介		
9	自己「自己とは何か？」	「自己概念」、「主体としての自己」、「物語的文脈としての自己」の3つの見地			山口雄介		
10	家族	家族心理学の観点、「家族の発達段階」と「家族関係の病理（家庭内暴力、DV）」			山口雄介		
11	心の病理と健康（１）心の健康性	「適応と不適応」、「欲求階層説」、健康な人間像に関する理論の一つとして、ロジャーズの「十分に機能している人間」について			山口雄介		
12	心の病理と健康（２）精神障害	「外因性」、「内因性」、「心因性」の病因論による分類 思春期・青年期の心理的問題（不登校、引きこもり、自殺など）について			山口雄介		
13	心の病理と健康（３）ストレス理論	「ストレスマネジメント」によって健康を回復・維持する必要性 ワークを交えながらストレス対処力の向上			山口雄介		
14	社会	対人認知とコミュニケーションと対人行動（人間の行動は社会的な文脈や文化に影響を受ける）			山口雄介		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
心理学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山口 雄介				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	授業全体の振り返り、要点のまとめ	山口雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
法学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
鎌田 厚志				講義		

授 業 概 要
日本国憲法は「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つの柱から成り立っている。日本国憲法の基本的な考え方を知り、憲法が国家や社会の基礎をなしていることを理解する。「基本的人権は」侵すことのできない永久の権利であるが、基本的人権が法の下にどのように保障されているか学び、現在起こっている身近なものと結び付け現実的に考えられるようにする。また「患者の権利」について具体的に検討し、臨地（床）の場で生じる様々な問題についても学修する。

到 達 目 標
1. 憲法とは、立憲主義とはどのようなものか説明できる。 2. 人権の保障がどのように発展してきたか説明できる。 3. 法が担う役割について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。

評 価
毎回の授業への出席状況および定期試験などに基づいて総合的に成績を評価する。

教 科 書
池田真朗『プレスステップ法学 第6版』（弘文堂、2025年）

参 考 図 書
1. 初宿正典ほか『いちばんやさしい憲法入門』（有斐閣アルマ、2020年） 2. 手嶋豊『医事法入門』（有斐閣アルマ、2022年） 3. 初川満『実践 医療と法 医療者のための医事法入門』（信山社、2016年）

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問は授業の前後に受け付ける。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
法学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
鎌田 厚志				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	法学への招待	授業ガイダンス、法とはどういうものか？ 日常生活と法、法は自分を守り他人を守るもの	鎌田 厚志
2	契約は絶対に守るべき？	民法（契約法）について 契約ってどういうこと？	鎌田 厚志
3	身近な生活と法	消費者法および過失責任について クーリングオフなど、知っているのと役に立つ法律の知識	鎌田 厚志
4	民法と刑法はどう違う？	刑法および法的責任について 刑罰とは何か？どのような場合に刑罰を受けることになるのか？	鎌田 厚志
5	性的トラブルにまきこまれたら	刑法について、および関連する法律、人権について セクハラ等、何をやってはいけないと法は定めているのか。	鎌田 厚志
6	憲法で人権を保障するということ	憲法について、人権および国のしくみ 法の中で一番大事な憲法は何を定めているのか	鎌田 厚志
7	バイトも正社員も労働者	労働者の権利について、労働法について 働いている人々の身を守るための法律について	鎌田 厚志
8	患者の権利について	医事法について 医療者と法、患者の権利について考える 授業の振り返り、最近の事例から医療者と法について考える、まとめ	鎌田 厚志

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人間関係論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
富岡 光直				講義		

授 業 概 要
人間は幼少期から成長する過程で様々な人間関係を経験する。その経験は個々の心と体の「健康」に大きな影響を与える。現代社会は常に変化しており、そこで生じる多様な人間関係も複雑化している。人間関係論はホーソンの実験により、経営組織の諸状況が人間関係によって規定され、その因果関係を体系化した理論で人間関係の重要性を示したものである。医療に携わる学修者として人間関係づくりの基礎的知識を理解し、対象者となる人間理解と自己理解を深め、人々の健康課題に寄与できるように学修する。

到 達 目 標
1. 自己と他者の関係を説明できる 2. 発達に関わる人間関係の問題を説明できる 3. 現代の人間関係の諸問題について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：各授業のテーマに該当する内容について自主的に調べ、配布資料に目を通しておく 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・小テストの受験

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ○ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ○ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。 ◎ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。 ◎ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
試験60% 授業取組（毎回の授業での振り返り等の課題）40%

教 科 書
系統看護学講座基礎分野 人間関係論 医学書院

参 考 図 書
その他，参考となる書籍，文献については適宜授業にて紹介します

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人間関係論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
富岡 光直				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	人間関係論とは	授業ガイダンス 社会的動物としての人間と人間関係の発達	富岡光直
2	自己認知と対人認知	自己について詳しく知る 自己は他者をどのように認知するのか	富岡光直
3	対人関係と役割	対人関係はどのように成立し，維持，崩壊するのか 人はどんな規範の中で生活し，どんな役割を期待されているのか	富岡光直
4	態度と対人行動	態度と態度変化の理論 説得的コミュニケーション 攻撃行動	富岡光直
5	感情	感情喚起のメカニズム 感情と対人関係 対人援助職のバーンアウト	富岡光直
6	集団	集団での課題遂行 集団での問題解決と意思決定	富岡光直
7	患者を支える人間関係（1）	患者・医療者関係 疾患を抱えて生きる患者を支える人間関係	富岡光直
8	患者を支える人間関係（2）	クリティカルな状況の患者を支える人間関係 試験	富岡光直

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
コミュニケーション論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
富岡 光直				講義		

授 業 概 要
コミュニケーションは私たちの生活のあらゆる場面に存在し、人間社会を成立させる重要な手段であり、人間の「考え・感情」を表現し、理解しあうことにつながる。健康課題を持つ対象に対応する医療関係者にとってこの能力は重要となる。本科目では多様なコミュニケーションにおいて、双方向の情報を正しく読み取り、適切に伝え、よりよいコミュニケーションをはかる手立てを探る力をつけることを目的に、医療に関する職業に携わる学修者として実践に活かせるように学修する。

到 達 目 標
1. コミュニケーションの概念について説明できる 2. 対人コミュニケーションの基礎について説明できる 3. コーチングについて説明できる 4. カウンセリングについて説明できる 5. コミュニケーションが社会に与える影響を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：各授業のテーマに該当する内容について自主的に調べ、配布資料に目を通しておく 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・小テストの受験

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
○ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
○ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。
○ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。
◎ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
試験60% 授業取組（毎回の授業での振り返り等の課題）40%

教 科 書
系統看護学講座基礎分野 人間関係論 医学書院

参 考 図 書
その他，参考となる書籍，文献については適宜授業にて紹介します

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
コミュニケーション論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
富岡 光直				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	コミュニケーションとは	授業ガイダンス コミュニケーションとは マスメディアとインターネットの社会的影響	富岡光直
2	援助行動	援助行動と援助要請 ソーシャルサポート 社会的スキル	富岡光直
3	カウンセリングと心理療法 (1)	支持的精神療法 来談者中心療法 精神力動的精神療法	富岡光直
4	カウンセリングと心理療法 (2)	行動療法 認知療法 認知行動療法	富岡光直
5	コーチング	コーチングの定義，歴史，スキル	富岡光直
6	アサーティブ・コミュニケーション	アサーティブ コミュニケーションの技法 医療コミュニケーションへの応用	富岡光直
7	医療チームにおける コミュニケーション(1)	チームとチーム医療 医療チームにおける人間関係と役割	富岡光直
8	医療チームにおける コミュニケーション(2)	チームワークとチームエラー コミュニケーションエラー 試験	富岡光直

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
アジアの文学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
今井 明				講義	講義	

授 業 概 要
アジアの文学と一口に言っても、アジアは非常に広大な地域なので、地域が辿ってきた歴史によって根付く文学の特徴にも違いがある。ここではアジアの世界から日本・中国を取り上げ、二つの地域における古典文学と近代文学について学ぶ。作品を通して時代背景とともに人間の生きざまや考え方、思想が日本、中国の文学にどのように影響しているか、それぞれの文学の特徴や関連について学修することで、時代背景や各地の文化が人間に及ぼす影響について深く理解する。

到 達 目 標
1. 日本における古典文学と近代文学の特徴を説明できる。 2. 中国における古典文学と近代文学の特徴を説明できる。 3. 作品の背景を理解し、東アジアの文学の関連について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各単元のキーワードとなる語句について調べ授業に臨むこと 事後学修：講義資料を用いて、学修した内容を理解し、理解を深める。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐
☐
☐
☐
☐

評 価
試験（１００％）。試験時、ノート持ち込みなどは認めないので、しっかり授業内容を理解すること。

教 科 書
なし

参 考 図 書
講義中に指示する

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業終了後しばらく時間を設けるので、質問・相談はその時間を利用してください。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
アジアの文学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
今井 明				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	文学入門	授業ガイダンス 文学入門-文学を味わう前に知って欲しいこと 文字のない日本と文字のある中国	今井 明
2	「世界」の捉え方	『今昔物語集』インド・中国・日本が世界だった「世界観」の文学。	今井 明
3	歴史と文学	『史記』と『大鏡』。歴史を人間を通して描く。現代の歴史小説にもつながる方法。司馬遼太郎生誕１００年に寄せて。	今井 明
4	物語と小説	「小説」と「物語」は同じか？日本の平安時代の物語と日本の近代小説を較べて考えよう。	今井 明
5	ロシア文学と二葉亭四迷	日本の近代文学とロシア文学（二葉亭四迷の挑戦）	今井 明
6	中国文学から日本文学へ	『長恨歌』を知っておこう。そして中国の悲運の女性を主題にした日本の古典和歌。	今井 明
7	死と文学	父俊成の死を看取る歌人・藤原定家。そして、北条民雄の『いのちの初夜』	今井 明
8	まとめ	授業内容の振り返りとまとめ。	今井 明

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
福岡の歴史と文化	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
今井 明				講義	講義	

授 業 概 要
福岡市の歴史、特に博多の成り立ちを学ぶ。福岡市は九州の玄関口として、またアジアに開かれた都市として、近年とみにグローバル化している。保健医療に携わる者としてこれから大学生活をおくる福岡の歴史、生活する人々の暮らしや地域で行われている習慣を知ることが、地域の環境や文化の理解、地域で生活する人の理解につながるとともに、地域に対する誇りを確認することにもなり大切な要素となる。自らも福岡の魅力を発信できるように多方面から学修する。

到 達 目 標
1. 福岡の歴史を知り、古代から近代までの概要を説明できる。 2. 福岡の多文化共生社会の中で人権について説明できる。 3. 福岡の多文化共生社会における在日外国人の現状や課題について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各単元のキーワードとなる語句について調べ授業に臨むこと 事後学修：講義資料を用いて、学修した内容を理解し、理解を深める。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。

評 価
平常点と定期試験とで総合的に判断をする。

教 科 書
講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業後対応

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
福岡の歴史と文化	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
今井 明				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	太宰府成立への緊張	額田王の和歌を題材に、九州北部と朝鮮半島の緊張関係を軸に、太宰府が成立するまでの歴史を振り返る。「鎮懐石」などの伝説にも触れたい。	今井明
2	太宰府の文化	「令和健康科学大学」の「令和」の由来を知ろう。大学名は福岡由来の事跡に拠る。大宰府「梅花」の宴について、『万葉集』を読む。	今井明
3	宗祇の歩いた道 その一	中世の連歌師宗祇は九州に来た。山口から太宰府へと至る道を、宗祇とともに辿る。歴史と文化を再現しながら、宗祇の『筑紫道記』を読む。	今井明
4	宗祇が歩いた道 その二	太宰府から博多・箱崎に出て、香椎・宗像を歩いて、宗祇は九州から去る。身近な地名の歴史・文化を理解する。二日市温泉の歴史にも触れたい。	今井明
5	福岡の食文化編	福岡市の承天寺境内にある石碑「饅飰（うどん）蕎麦発祥之地」。麵王国博多「うどん」を紹介しながら博多の麵文化を講義する。	小川洋平
6	福岡の先史編	アジアから流入した先史文化	宮井善朗
7	福岡・現代への声	日本の近代化を支えた「石炭」。その採掘に従事した人たち。森崎和江の聞き書き『まっくら』から、歴史を支える人間たちの声を聴きとる。	今井明
8	福岡の古代編	古代日本の玄関口 大宰府と筑紫館と鴻臚館	菅波正人

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康科学入門	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
西村 泰治、山口 浩雄、古後 晴基、田中 悟郎、久木原 博子、辻 慶子、森下 元賀、山根 伸吾				講義		

授 業 概 要
日本は世界に先駆けて高齢社会となり、国民が健康でよりよく生きるかということは大きな命題でもある。「健康」とは何か、人々のより良い健康を支援する職業に携わるものとして、看護、理学療法、作業療法、各々の視点から健康を深く理解し、人間の「健康」を支える「科学」とは何かを思考する。健康科学を支える学問は多岐にわたっており、人々の健康の実現を目指していく実践的な科学である。ここでは各学科の専門基礎分野・専門分野への導入として、その礎となる「健康科学」について学修する。

到 達 目 標
1. 自分が学ぶ領域における健康とは、どのようなものか説明できる 2. 科学とは何か説明できる 3. 健康を科学するとは自分が学ぶ領域で、どのようなことが考えられるか自分なりに説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習とまとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
講義日以外の日程で実施する記述試験

教 科 書
講師が提供する資料

参 考 図 書
特にない

留 意 事 項
授業に積極的に参加して、今後の学修に役立つ情報や知識を自らつかみ取ること

オフィスアワー等
火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験
担当教員は、医師・大学教授(免疫学の基礎医学者) としての実務経験をもつ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康科学入門	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
西村 泰治、山口 浩雄、古後 晴基、田中 悟郎、久木原 博子、辻 慶子、森下 元賀、山根 伸吾				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	健康とは1	授業ガイダンス 健康とは何か、科学する心、健康を科学する	西村泰治
2	健康とは2	医学領域からみた健康	山口浩雄
3	健康とは3	理学療法領域からみた健康	古後晴基
4	健康とは4	作業療法領域からみた健康	田中悟郎
5	健康とは5	看護領域からみた健康	久木原博子
6	健康を科学する1	健康を科学する；看護学の研究より	辻慶子
7	健康を科学する2	健康を科学する；理学療法学の研究より	森下元賀
8	健康を科学する3	健康を科学する；作業療法学の研究より	山根伸吾

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医療と情報リテラシー	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山下 貴範、藤村 直美				演習		

授 業 概 要
激しく変化している社会の中で生きていくためには生涯学習が必須となり、各自がそれぞれの方法を身につけるためには情報リテラシー能力の獲得が必要である。本科目ではインターネットの概要について学び、その上で動くアプリケーションの仕組みや基礎技術を理解し、適切に使いこなせるように学ぶ。医療の現場はICT（Information and Communication Technology）の発達によって大きく変化している。しかしその一方では様々な問題や課題がある。ICTを用いた新しい医療としては遠隔での診療が可能になったり、情報の共有ができたり、災害時に活用できたりなど現在の状況や、これから充実していく 5G（高速、大量の通信が可能）での医療の活用について学ぶ。さらに医療倫理的側面から、医療に関わる人々が知っておくべき課題について学修する。

到 達 目 標
1. インターネットので使える機能の仕組みを理解して、適切に使用できる 2. セキュリティについて理解し、安心・安全にインターネットとアプリを使用できる 3. インターネット上で入手できる様々なコンテンツの探索方法、活用方法を理解して活用できる 4. コンピュータの基礎知識を説明できる 5. 医療情報のリテラシーについて説明できる 6. 病院情報システムの構成について理解し、説明できる 7. ICTや情報技術、通信技術発達による医療への影響、IoT（Internet of Things）と生活の関連について説明できる 8. 個人情報の取り扱いについて説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
◎ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
○ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
毎回の課題で評価する。（藤村）

教 科 書
講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医療と情報リテラシー		2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
山下 貴範、藤村 直美					演習		
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	授業ガイダンス 電子メールについて	授業ガイダンス（出席、課題、評価、成績、連絡方法） 電子メール（配送の仕組み、利用上の注意） セキュリティ（ウイルス、詐欺メール、フィッシング）			藤村直美		
2	インターネットの概要	インターネットの概要 （構成要素、接続形態、I Pアドレス、ドメイン名）			藤村直美		
3	WWWとは 暗号化通信	WWW（サーバー、クライアント、HTTP/HTTPS、検索の仕組み） 暗号化方法			藤村直美		
4	移動通信	固定電話、移動電話、仕組み、料金			藤村直美		
5	電子決済について OERについて	電子決済（仕組み、種類と特徴、メリット/デメリット） OER(Open Education Resources)（OCW、MOOC、世界の学習教材）			藤村直美		
6	コンピュータとデータベース	ハードウェア、ソフトウェア、データベース、クラウド（仕組み、特徴、利用方法）			山下貴範		
7	医療情報リテラシー	医療の情報化、医療情報の種類			山下貴範		
8	情報セキュリティ	情報セキュリティにおけるリスクと対策			山下貴範		
9	病院情報システム1	病院情報システムの歴史、概要、構成			山下貴範		
10	病院情報システム 2	医事会計システム、オーダーリングシステム、電子カルテシステム、各部門システム、様々な医療システム構成 システム開発、導入、管理、運用			山下貴範		
11	病院情報システム3	医事会計システム、オーダーリングシステム、電子カルテシステム、各部門システム、様々な医療システム構成 システム開発、導入、管理、運用			山下貴範		
12	医療情報標準化	医療情報標準化			山下貴範		
13	個人情報保護とガイドライン	医療現場における個人情報の扱い、個人情報保護法・次世代医療基盤法・医療情報ガイドライン			山下貴範		
14	医療DXとAI	医療DXの現状と医療現場におけるAI導入			山下貴範		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医療と情報リテラシー	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山下 貴範、藤村 直美				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	これからの医療情報	近未来の医療情報を考える、授業のまとめ	山下貴範

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
論理的思考法	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
国越 道貴				講義		

授 業 概 要
看護師は、医療者間で専門的な情報を正確に伝達すること、また患者と適切にコミュニケーションすることが求められます。「論理的思考法」では、正しく考え、また他の人に理解可能な仕方で論述する方法を学びます。

到 達 目 標
・即断だけに頼らず、じっくり考えることを学ぶ ・論拠に基づいて結論を導くことを学ぶ ・科学の方法について学ぶ

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：教科書を予習し、わからない点を明確にする。語句の意味など簡単に調べられることは自分で調べる。 事後学習：講義の要点を確認し、教科書を読み直す。

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
学期末試験の点数に積極的な質問など平常の態度を加えて評価する。

教 科 書
植原亮『思考力改善ドリル』勁草書房, 2020.

参 考 図 書
野矢茂樹『大人のための国語ゼミ』増補版，筑摩書房，2018.

留 意 事 項
とくになし。

オフィスアワー等
moodle のメッセージにより質問などの連絡をする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
論理的思考法	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
国越 道貴				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	思考について	予断なき思考、一貫した思考	国越道貴
2	直観と思考	二重過程理論 ・代表性ヒューリスティック ・利用可能性ヒューリスティック	国越道貴
3	因果関係を捉える	相関関係と因果関係の相違	国越道貴
4	対照実験	因果関係の確保	国越道貴
5	演繹	代表的推論パターンを学ぶ	国越道貴
6	帰納	一般化、投射、類比、アブダクション	国越道貴
7	仮説演繹法	科学者の実践から	国越道貴
8	まとめ	要点の確認	国越道貴

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生物学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
照屋 輝一郎				演習		

授 業 概 要
医療職に必要な不可欠な生物学の基本事項を学修し、生命とは何かを考える。初めに生命の基本となる細胞の構造と機能を理解し、生体を構成する分子や恒常性維持のメカニズムについて学ぶ。また発生・分化、遺伝と生物進化、生命誕生と死に関する事項の学びを通じて、「生きるとは何か」という生命の本質を理解する。ここでは医療の基礎となる生物学を学ぶことで、私たちの生命がどのような仕組みで維持されているのかを理解し、それを専門分野に応用できる基礎的能力を養う。

到 達 目 標
1. 細胞を構成する物質の特徴を説明できる 2. 遺伝の仕組みについて説明できる 3. エネルギー代謝、細胞の増殖、細胞の死について説明できる 4. 脳神経、免疫の仕組みについて説明できる 5. 生命のしくみについて説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。

評 価
成績は主に学期末テストの結果で評価するが、課題などの提出状況も含めて評価する。

教 科 書
西沢いづみ 著 看護系で役立つ 生物の基本 第2版 化学同人 ISBN 978-4-7598-2065-2

参 考 図 書
田村隆明 著 医療・看護系のための 生物学（改訂版） 裳華房 ISBN 978-4-7853-5233-2 南雲 保 編著 やさしい基礎生物学 第2版 羊土社 ISBN 978-4-7581-2051-7 中村桂子、松原謙一、榊佳之、水島昇 監訳 Essential細胞生物学原書第5版 南江堂 ISBN 978-4-524-22682-5

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生物学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
照屋 輝一郎				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	生物の最小機能単位	授業ガイダンス 生命の誕生、細胞の働き、細胞膜	照屋輝一郎
2	体液のしくみと働き	水、人体の構成成分、細胞内液、細胞外液、電解質、浸透圧	照屋輝一郎
3	遺伝情報とDNA	DNA、遺伝子、セントラルドグマ、複製、RNA、転写、翻訳	照屋輝一郎
4	遺伝情報の伝え方	細胞分裂、染色体、減数分裂	照屋輝一郎
5	遺伝と遺伝性疾患のしくみ	形質と遺伝、遺伝子型と表現型、遺伝子の変異、遺伝性疾患、DNA多型、SNP	照屋輝一郎
6	化学エネルギーと代謝	化学エネルギー、異化、同化、エネルギー代謝、ATP	照屋輝一郎
7	化学反応と酵素	酵素、活性化エネルギー、触媒、基質特異性、補酵素、フィードバック阻害	照屋輝一郎
8	糖質の代謝	グルコース、解糖系、グリコーゲン、血糖値、糖新生	照屋輝一郎
9	脂質の代謝	脂質、脂肪酸、 β 酸化、リポタンパク質、ケトン体、コレステロール	照屋輝一郎
10	タンパク質・アミノ酸の代謝	タンパク質、アミノ酸、アミノ基転位反応、 α -ケト酸（炭素骨格）、アミノ基、尿素回路	照屋輝一郎
11	内分泌系による情報伝達	内分泌腺、ホルモン、ホルモン受容体、フィードバック調節	照屋輝一郎
12	神経系による情報伝達	ニューロン、活動電位、神経伝達物質、中枢神経、末梢神経	照屋輝一郎
13	血管系とリンパ系	血管系、循環系、体循環、血液の役割、リンパ系、リンパ循環	照屋輝一郎
14	免疫系のしくみ1	免疫とは、自己と非自己、物理・化学的防御、自然免疫	照屋輝一郎

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生物学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
照屋 輝一郎				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	免疫系のしくみ2	獲得免疫、免疫担当細胞の誕生、アレルギー	照屋輝一郎

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
黒木 昌一				演習	講義	

授 業 概 要
物理学は、科学技術のベースとなる重要な分野であり、さまざまな自然現象を考える上で基礎的な学問となる。 本科目の目的は、力学の基本的な原理について正しい理解を得ること、看護師、理学療法士、作業療法士に必要な物理学に関連する知識を得ること、科学的または論理的な考え方を養うことである。人体の運動と物理の法則の関係を理解し、科学的な思考で人間の動きを捉えられるように学ぶことで、無理のない体の動きや力の使い方についても日常的に重力や摩擦など考えながら行動し、各分野に活かせるように学修する。

到 達 目 標
1. 人体の運動と物理法則の関係を理解し、科学的な見方を身につける 2. 臨床場面における科学的思考の基礎を身につける

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：当該テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
レポート・授業中の小テスト30% と期末試験（筆記試験） 70%で評価する。

教 科 書
特に指定しない。（プリント配布等で対応）

参 考 図 書
1) 廣岡秀明・崔東学・古川裕之・吉村玲子・山本洋 共著「医療系の基礎としての物理」 学術図書出版社 2) 横田俊昭著 「看護と医療技術者のためのぶつり学」 第2版 共立出版 3) 藤城敏幸/佐藤幸一著 「医療系のための物理」 第2版 東京教学社

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
黒木 昌一				演習	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	物理学基礎で学習すること 物理量とその表し方(1)	物理量、国際単位系（基本単位と組立単位）、ベクトル量とスカラー量	黒木昌一
2	物理量とその表し方(2)	大きい数、小さい数の表し方、指数の計算、有効数字とその計算	黒木昌一
3	物理学で使うグラフと関数 (1)	数式とグラフ、三角関数	黒木昌一
4	物理学で使うグラフと関数 (2)	変化率と微分、ベクトルの計算	黒木昌一
5	いろいろな運動(1)	位置と変位、速度、加速度、等速直線運動	黒木昌一
6	いろいろな運動(2)	等加速度直線運動、自由落下、鉛直投げ上げ、水平投射	黒木昌一
7	さまざまな力(1)	力とは、力の単位、重力、張力	黒木昌一
8	さまざまな力(2)	垂直抗力、摩擦力、弾性力、圧力	黒木昌一
9	力のつり合いと運動の法則 (1)	力の合成と力のつり合い、慣性の法則、遠心力	黒木昌一
10	力のつり合いと運動の法則 (2)	運動方程式、作用反作用の法則	黒木昌一
11	物体の重心と回転運動(1)	剛体の回転運動、力のモーメントのつり合い、重心と重心の求め方	黒木昌一
12	物体の重心と回転運動(2)	剛体の運動と剛体にはたらく力、力のモーメントと3つのてこ	黒木昌一
13	運動量、仕事とエネルギー (1)	運動量と力積、仕事と仕事率、運動エネルギー	黒木昌一
14	運動量、仕事とエネルギー (2)	位置エネルギー、エネルギー保存の法則	黒木昌一

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
黒木 昌一				演習	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	波、音と光	波の特徴、縦波と横波、照度と光度	黒木昌一

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語 I（医療英語）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
Aleles Jonathan				演習	講義・演習	

授 業 概 要
“Medical English 1” is the first in a series of two courses intended for 1st year students in the Faculty of Health Sciences as part of their integrated English curriculum. Through the medium of English, students will integrate listening & notetaking, vocabulary building, controlled practice, reading, and role-playing by exploring common healthcare scenarios in a Japan-specific context.

到 達 目 標
By the end of this semester, students will be expected to: - Understand short, level-appropriate audio texts of English dialogues in healthcare scenarios and take accurate notes - Achieve relative mastery of the most common English vocabulary likely to appear in non-specialist healthcare contexts - Achieve control of basic- and intermediate-level English grammatical forms and constructions - Orally communicate basic ideas and requests using English in a comprehensible fashion, particularly in healthcare scenarios - Understand and complete basic medical forms that includes patient information - Participate in simple role-plays from both healthcare professional and patient viewpoints using English - Navigate a variety of cultural obstacles likely to be encountered when dealing with non-Japanese patients

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
pre-study : Prepare for class by reviewing the relevant sections of the textbook beforehand. post-class study : Use textbooks, lecture materials, and reference materials to organize what you have learned and deepen your understanding.

対応DP
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。

評 価
Quizzes & tests 70% Participation/homework 30%

教 科 書
Vital Signs by Vivian Morooka & Terri Sugiura (Nan’ un-do) (ISBN978-4-523-17868-2)

参 考 図 書
Additional materials may be made available online.

留 意 事 項

オフィスアワー等
Study help: Your Teacher will share contact details during the Class Introduction

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語 I（医療英語）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
Aleles Jonathan				演習	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	1. Introduction / Unit 1		Aleles Jonathan
2	2. Unit 2		Aleles Jonathan
3	3. Unit 3		Aleles Jonathan
4	4. Unit 4		Aleles Jonathan
5	5. Test 1		Aleles Jonathan
6	6. Unit 5		Aleles Jonathan
7	7. Unit 6		Aleles Jonathan
8	8. Unit 7		Aleles Jonathan
9	9. Unit 8		Aleles Jonathan
10	10. Test 2		Aleles Jonathan
11	11. Unit 9		Aleles Jonathan
12	12. Unit 10		Aleles Jonathan
13	13. Unit 11		Aleles Jonathan
14	14. Unit 12		Aleles Jonathan

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語 I（医療英語）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
Aleles Jonathan				演習	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	15. Test 3		Aleles Jonathan

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人体構造学	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中島 民治				演習	講義	

授 業 概 要
生命の基本単位である細胞の構造と機能を理解し、人体を構成する組織、器官の構造を系統的に学び、人体の全体像を把握する。医療は生命の維持と健康の保持・増進を目指して行われている。医療行為は人体へのさまざまな介入が実施されるので、人体の正確な理解が必要となる。看護実践特にフィジカルアセスメントの基盤となる人体の基本的な構造の知識は、看護の対象の健康状態を判断するときに不可欠なものであるため、その基礎的知識を学ぶ。さらに実際の人体(献体)や臓器の観察を通して自己の死生観を育む。個人の健康課題に関わる看護を目指す学生にとって、人体の構造の知識は対象の健康状態を判断するときに不可欠となる。人体に対する理解が深まるように基礎的知識を学修する。

到 達 目 標
1. 身体の部位について、解剖用語を用いて説明できる 2. 人体各器官の位置、構造上の特徴を説明できる 3. 検体の意義や死生観について自分の考えを述べることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 ※副読書 『系統看護学講座』 準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項
授業については講義と演習を組み合わせで効果的に実施する

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人体構造学	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中島 民治				演習	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	人体の構造と機能の基礎知識 1	授業ガイダンス 構造からみた人体、人体のさまざまな器官	中島民治
2	人体の構造と機能の基礎知識 2	素材からみた人体（細胞の構造・細胞の増殖と染色体・分化した細胞がつくる組織）	中島民治
3	栄養の消化と吸収 1	口・咽頭・食道の構造、腹部消化管の構造と機能	中島民治
4	栄養の消化と吸収 2	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	中島民治
5	栄養の消化と吸収 3	腹膜と腸間膜、腹膜と内臓の位置関係、胃の周辺の間膜	中島民治
6	呼吸と血液のはたらき 1	呼吸器の構造、呼吸運動の調節	中島民治
7	呼吸と血液のはたらき 2	血液の組成と機能、ヘモグロビンの構造と機能、血液の凝固と線維素溶解、血液型	中島民治
8	血液の循環とその調節 1	循環器系の構成、心臓の構造、心臓壁、心臓の血管と神経	中島民治
9	血液の循環とその調節 2	末梢循環系の構造、血管の構造、肺循環の血管、体循環の動脈・静脈、リンパとリンパ管	中島民治
10	体液の調整と尿の生成	腎臓の構造と機能、糸球体の構造と機能、尿細管の構造と機能、傍糸球体装置、排尿路	中島民治
11	生殖・発生と老化のしくみ 1	男性生殖器、女性生殖器	中島民治
12	生殖・発生と老化のしくみ 2	受精と胎児の発生、成長と老化	中島民治
13	身体の支持と運動 1	人体の骨格、骨の形態と構造、骨の組織と組成、骨の発生と組成、骨の連結、骨格筋	中島民治
14	身体の支持と運動 2	体幹の骨格と筋	中島民治

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人体構造学	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中島 民治				演習	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	身体の支持と運動 3	上肢の骨格と筋	中島民治
16	身体の支持と運動 4	下肢の骨格と筋	中島民治
17	身体の支持と運動 5	頭頸部の骨格と筋	中島民治
18	内蔵機能の調節 1	自律神経による調節	中島民治
19	内蔵機能の調節 2	内分泌系による調節	中島民治
20	情報の受容と処理 1	神経系の構造と機能	中島民治
21	情報の受容と処理 2	脊髄と脳 1	中島民治
22	情報の受容と処理 3	脊髄と脳 2	中島民治
23	情報の受容と処理 4	脊髄神経と脳神経	中島民治
24	情報の受容と処理 5	下行伝導路と上行伝導路	中島民治
25	身体機能の防御と適応	人体の防御機構、生体防御の関連臓器	中島民治
26	解剖見学	ご献体について	産業医科大学 第一解剖学教室
27	解剖見学	解剖見学	産業医科大学 第一解剖学教室
28	解剖見学	解剖見学	産業医科大学 第一解剖学教室

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人体構造学	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中島 民治				演習	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
29	解剖見学	解剖見学	産業医科大学 第一解剖学教室
30	まとめ	人体構造学まとめ	中島民治

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、児玉 裕美				講義		

授 業 概 要
看護学概論は、「看護とは何か」という看護の本質を多角的に追究し、看護学全体の基本的な知識を学修する。 具体的には、看護の変遷、看護の基本的概念である「人間」、「健康」、「環境」、「看護」を理解し、科学的根拠に基づいた看護実践を支える知識体系、対象の健康を保持・増進、あるいは発達段階に応じた生活（QOL）を支えるケアの実施ができるように学修する。また、看護倫理や医療安全についても考え看護専門職としての役割・機能について学ぶ。

到 達 目 標
1. 看護の基本概念を説明できる 2. 看護歴史の変遷を説明できる 3. 現代社会における看護活動の場の特性と看護の役割、機能を説明できる 4. 看護実践に関連する看護倫理や医療安全を説明できる 5. 専門職としての看護の将来について、自分の考えを述べることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（70％）、課題レポート（20％：ルーブリック評価）、グループ発表（10％）を総合して60点以上を合格とする

教 科 書
1. 系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔1〕看護学概論（医学書院）第17版 2. フロレンス・ナイтингェル著 小玉香津子・尾田葉子訳看護覚え書—本当の看護とそうでない看護—（日本看護協会出版会）新装版 3. ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯慎ます・小玉香津子訳 看護の基本となるもの（日本看護協会出版会）再新装版

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項

オフィスアワー等
月（16 ‘ー18’ ）研究室

実 務 経 験
本科目は、医療機関において看護実践経験を有する教員が担当する。臨床経験を基盤に、看護の本質、役割、専門職としてのあり方について、具体的事例やストーリーを用いながら、学生が主体的に理解を深められるよう指導する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、児玉 裕美				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス 看護とは	①看護を学ぶにあたって ②看護の原点 ③看護の定義	辻慶子
2	看護の歴史の変遷	① 看護を歴史・教育・制度 ②看護と社会のできごととの関連	辻慶子
3	ナイチンゲール「看護覚え書」1	①ナイチンゲールの経歴・業績 ②ナイチンゲールの病気の定義、健康の考え方 ③時代背景 ④換気と加温	児玉裕美
4	ナイチンゲール「看護覚え書」2	①病人の観察	児玉裕美
5	看護の対象の理解	①生活する人々と看護の関係 ②発達・変化するものとしての人間 ③家族の構造と機能 ④地域と文化	辻慶子
6	環境理解	①人間と環境の関係 ②環境の変化と対処規制 ③健康に関与するストレス ④ストレスの対処行動	辻慶子
7	ライフサイクルと健康	①人の成長と発達の特徴 ②フロイト・エリクソン・ハヴィガーストの発達理論 ③小児期から老年期に至るまでの健康上の特徴	辻慶子
8	看護実践と看護倫理	①看護実践の特性 ②看護における倫理の重要性 ③倫理の原則 ④医療・看護における患者の権利	児玉裕美
9	看護と保健・医療・福祉との連携	①保健・医療・福祉の基盤となる法律 ②保健・医療・福祉で提供されているサービスの目的 ③保健・医療・福祉における看護の特徴と看護職の役割	辻慶子
10	看護と法律・看護制度・看護行政	①看護にとって政策の重要性 ②看護を取りまく主な法律 ③わが国の看護職の資格 ④看護現場における業務と法律の関連	辻慶子
11	医療安全	①医療安全の概念 ②医療事故の概念 ③看護業務との関連	児玉裕美
12	看護の展開	①クリティカルシンキングとは ②看護実践における問題解決過程とクリティカルシンキングの意義 ③看護過程を展開するうえで留意すべき原則	児玉裕美
13	看護活動の場	①国際的な健康問題 ②国際協力 ③文化を超えた看護の必要性	辻慶子
14	これからの看護	①これまでの学習を通してこれからの看護を考える	辻慶子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、児玉 裕美				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	看護の展望と課題	①これからの看護に求められる役割 ②専門職としての組織および看護実践の基準	辻慶子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活援助技術	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
西原 かおり				演習		

授 業 概 要
看護の対象となる生活する人間の日常生活行動を理解し、安全・安楽・自立に考慮した援助を提供するために必要な基礎的知識を学ぶ。基本的な看護援助技術として看護におけるコミュニケーション、観察・記録・報告、スタンダードプリコーション、ベッドメイキング、移動、清拭、寝衣交換、洗髪、足浴、食事の介助などを修得する。提供する看護技術のどれもが対象の健康や生活の質（QOL）に影響する。併せて日常生活援助技術を行う上での倫理的配慮や看護者としての態度についても学修する。

到 達 目 標
1. 日常生活援助の目的や意義について説明できる 2. 看護援助に共通する技術の基礎的な知識につて説明できる 3. 日常生活援助の基盤となる安全・安楽・自立の概念について説明できる 4. 日常生活援助技術の基礎的な知識について説明できる 5. 日常生活援助技術における科学的根拠に基づく技術を修得できる 6. 日常生活援助を行う上で必要な態度、倫理的配慮を理解した行動ができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：教科書の該当する単元を事前に読み、授業に臨む 指定された事前学習（配布資料やMoodleの視聴、小テスト等）と、該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをし、看護技術については自主的に練習に取り組む

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（60％）、出席状況と課題レポート（30％）、技術試験（10％）を総合的に評価し60点以上を合格とする 客観試験の受験条件：出席回数が授業回数の4/5以上（欠席7回目で受験資格喪失）。 技術試験の受験条件：体位変換、寝衣交換、全身清拭の演習に全て出席

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ メディカ出版

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項
単位修得が後期の生活援助実習の履修条件となるため欠席しないこと。 7/23（火）1 ・2限は実技試験の予備日（再試験日）の予定。

オフィスアワー等
火（12時10分－13時）、水（12時10分－13時） 2号館7階・担当教員の研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活援助技術	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
西原 かおり				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	生活援助技術とは	①ガイダンス ②生活援助技術について	西原
2	看護技術とは	看護技術について	西原
3	コミュニケーション技術	①コミュニケーションの意義 ②看護におけるコミュニケーション③コミュニケーション構成要素と成立過程 ④効果的なコミュニケーションの基礎的技術	西原
4	観察・記録・報告	①看護における観察・記録・報告の意義 ②観察・記録・報告の定義・目的・種類・手法・視点および留意点	西原
5	感染防止の技術	①感染防止の基礎知識 ②標準予防策（スタンダードプリコーション）	西原
6	演習：感染防止の技術	①看護学実習室オリエンテーション ②衛生的手洗い ③標準予防策の実際	西原・全員
7	演習：感染防止の技術	標準予防策の実際	西原・全員
8	環境調整技術①	①病床・病室の生活環境の調整 ②リネン類の扱い方 ③ベッドメイキング	西原・全員
9	環境調整技術②	①生活環境の調整と技術 ②臥床患者のリネン交換	西原・全員
10	演習：ベッドメイキング①	①シーツのたたみ方 ②ベッドメイキング（クローズドベッド・オープンベッド）の実際	西原・全員
11	演習：ベッドメイキング②	①ベッドメイキング（クローズドベッド・オープンベッド）の実際 ②環境整備	西原・全員
12	活動と休息援助技術①	①基本的活動の基礎知識 ②基本的活動の援助 ③活動の調整技術	野村
13	活動と休息援助技術②	①睡眠・休息の基礎知識 ②睡眠・休息への援助	野村
14	演習：体位変換	①体位保持（仰臥位・側臥位、セミファースター位・ファースター位）②体位変換	野村・全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活援助技術	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
西原 かおり				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	演習：移乗・移送	①車いすの点検 ②車いすへの移乗 ③車いすでの移送 ④ストレッチャーの点検 ⑤ストレッチャーへの移乗 ⑥ストレッチャーでの移送	野村・全員
16	演習：リネン交換	①臥床患者のシーツ交換の実際	西原・全員
17	清潔援助・衣生活援助技術①	①身体の清潔の意義 ②清潔の援助の基礎知識 ③清潔援助方法の選択と留意点 ④衣服を用いることの意義 ⑤衣服と病衣の選択条件、⑥寝衣交換の目的と方法 ⑦全身清拭、⑧足浴	西原
18	清潔援助・衣生活援助技術②	①清潔の援助の実際（入浴・シャワー浴、洗髪、整容、手浴）	野田
19	演習：足浴	①足浴の援助の実際	西原・全員
20	演習：寝衣交換	①寝衣交換の実際	西原・全員
21	演習：全身清拭②	①全身清拭(1)の実際	西原・全員
22	演習：全身清拭②	①全身清拭(2)の実際	西原・全員
23	演習：洗髪①	①洗髪（洗髪台、ケリーパッド）の実際	野田・全員
24	演習：洗髪②	①洗髪（洗髪台、ケリーパッド）の実際	野田・全員
25	技術試験①	①清拭 ②寝衣交換	西原・全員
26	技術試験②	①清拭 ②寝衣交換	西原・全員
27	食事援助技術①	①食事に関する基礎知識 ②食事の意義 ③消化・吸収のプロセス④栄養状態および摂食能力のアセスメント ⑤食事への援助 ⑥口腔ケア	野村
28	食事援助技術②	①健康障害と食事援助 ②健康障害のある対象への援助技術 ③非経口的栄養	野村

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活援助技術	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
西原 かおり				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
29	演習：食事介助・口腔ケア ①	①経口摂取の援助の実際 ②口腔ケアの実際	野村・全員
30	演習：食事介助・口腔ケア ②	①経口摂取の援助の実際 ②口腔ケアの実際	野村・全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護職のキャリア出発とキャリアデザイン	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、大村 由紀美				講義		

授 業 概 要
看護専門職としての大学および生涯教育への導入を図るとともに、大学人として求められる自律性と社会人基礎能力育成の基盤とする。医療はとどまることなく変化している。その変化する社会に求められる看護について考え、自立的に自分の未来について看護職者としてあるべきイメージを描き、そのためには何をすべきかを思考し、学修ビジョンを明確にし、生涯にわたって看護に携わる者として人格の涵養に努め、学び続ける意欲を維持し自己実現できる礎となるように学修する。

到 達 目 標
1. 現代社会に求められる看護について述べることができる 2. 看護専門職の専門分野とキャリアについて説明できる 3. 看護を学ぶ自己のキャリア形成を述べることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ☒ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
課題レポート（80％：ループリック評価）、最終成果物（20％：ループリック評価）として60点以上を合格とする

教 科 書
使用しない。授業資料は事前提示する

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項

オフィスアワー等
月（16 ‘－18’ ）・火（16 ‘－17’ ） 研究室

実 務 経 験
本科目は、看護実践経験を有する教員が担当し、臨床経験を基盤に看護職の役割やキャリアについて指導する。また、認定看護師等の実務家による講義を通して、学生が将来のキャリアについて考える機会を提供する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護職のキャリア出発とキャリアデザイン	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、大村 由紀美				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	キャリアとは	①キャリアとは ②キャリア形成のプロセス	辻慶子
2	キャリア教育とグループワーク	①グループワークの基礎知識 ②グループワークの実際	辻慶子
3	キャリア教育と看護基礎教育	①看護教育とは ②本学での教育課程とキャリア教育のつながり ③看護師の仕事	辻慶子 ゲストスピーカー
4	専門職としての看護	①専門職とは ②専門職として必要な知識・技術・態度 ③看護職のキャリア	大村由紀美
5	看護職のキャリア①	①認定看護師の立場から ②専門看護師の立場から	辻慶子 大村由紀美 ゲストスピーカー
6	看護職のキャリア②	①保健師の立場から ②助産師の立場から	辻慶子 大村由紀美 ゲストスピーカー
7	看護におけるリフレクション	①看護におけるリフレクション ②自己理解	大村由紀美
8	大学生活（就職）のデザイン	①社会人基礎能力 ②キャリアデザインを創る	辻慶子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ実践	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
小西 裕之				演習		

授 業 概 要
学生の健康管理の一環ともなるよう、様々なスポーツを経験することで体を動かし健康づくりについて考えるとともに、お互いに協力してコミュニケーション力を向上させ、生涯スポーツに取り組めるように学ぶ。スポーツ実践の際はその競技のルールに従うことや、チームで行う場合は協力し、ともに仲間の力を信じてお互いの能力を最大限に発揮できるように臨むことが必要となる。各スポーツの実践を通して協調性や、目標を共有し協力しあう楽しさも学修する。

到 達 目 標
1. スポーツの健康に対する意義について説明できる 2. 運動を通してチームと協力して目的を達成できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについてゲームのルール等調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマについて振り返りや自主的に練習する

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ○ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
出席2/3以上が基本

教 科 書
なし

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
水曜日10時～12時

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ実践	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
小西 裕之				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	レクリエーション運動の歴史	授業ガイダンス レクリエーション（自己紹介を兼ねる）	小西裕之 深田忠徳
2	スポーツ実技1	バレーボール・バスケットボール 1	小西裕之 深田忠徳
3	スポーツ実技2	バレーボール・バスケットボール 2	小西裕之 深田忠徳
4	スポーツ実技3	バレーボール・バスケットボール 3	小西裕之 深田忠徳
5	スポーツ実技4	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 1	小西裕之 深田忠徳
6	スポーツ実技5	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 2	小西裕之 深田忠徳
7	スポーツ実技6	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 3	小西裕之 深田忠徳
8	スポーツ実技7	バレーボール・ドッチボール 1	小西裕之 深田忠徳
9	スポーツ実技8	バレーボール・ドッチボール 2	小西裕之 深田忠徳
10	スポーツ実技9	ドッチボール・バドミントン 1	小西裕之 深田忠徳
11	スポーツ実技10	ドッチボール・バドミントン 2	小西裕之 深田忠徳
12	スポーツ実技11	ドッチボール・バドミントン 3	小西裕之 深田忠徳
13	スポーツ実技12	ドッチボール・バドミントン 4	小西裕之 深田忠徳
14	スポーツ実技13	ドッチボール・バドミントン 5	小西裕之 深田忠徳

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ実践	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
小西 裕之				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	スポーツと健康 まとめ	スポーツの健康に対する意義、まとめ	小西裕之 深田忠徳

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
経営学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
加藤 佳奈				講義		

授 業 概 要
本科目では、企業や経営についての基本的知識を学修すると共に、現代社会におけるその役割と意味について考え、社会における経営の問題に興味・関心を抱き、専門学修へと展開していかれるような力を育成することを目的とする。経営について事例やディスカッション※をつうじて学ぶことで、経営的なものの見方・考え方を身につける。社会状況に応じた戦略的な考え方を学び、経営組織の基本形態とその特徴を学ぶことで、経営組織を機能させる思考や、資源をいかに活用するかなど、将来的に施設運営に参画できるような基礎的能力を養う。なお、講義計画の内容は、受講生の関心や講義の進捗により調整・変更することがある。 ※ディスカッションの実施（予定：受講者数による） 例：受講生自身の生活費を例に、経営について考える 病院の認知度を高めるための方法を、身近な例（お菓子など）をもとに考えてみる など

到 達 目 標
1. 現代社会の重要な機関としての「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを理解する 2. 企業の存続と発展にとって不可欠な「経営」について説明できる 3. 経営の基礎理論について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。
☐
☐
☐
☐

評 価
毎回の講義後のミニッツペーパー（20%）、全講義終了後の試験または課題レポート（80%） ※本年度は試験を予定していますが、受講者数や講義の進捗等により学期途中に決定します。 その他、受講態度等により加点・減点します。

教 科 書
講師資料

参 考 図 書
適宜紹介する。

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
経営学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
加藤 佳奈				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	イントロダクション 経営学とは何かー	講義の目的、内容・範囲、進め方、評価、経営学の目的および意義	加藤佳奈
2	事業とは	「生産・営利」などの目的を伴う活動としての事業	加藤佳奈
3	企業とは	企業の役割、制度、形態	加藤佳奈
4	経営理論と 企業の諸形態	企営理論、企業・会社・病院・施設の諸形態	加藤佳奈
5	戦略とは 経営戦略	経営戦略の3つのレベル、企業戦略・事業戦略・機能戦略	加藤佳奈
6	組織とは 基本形態とその特徴	事務部制組織、職能別組織	加藤佳奈
7	経営資源とは ヒト・モノ・カネ・情報	人的資源(ヒト)、物的資源(モノ)、財務的資源(カネ)、情報の資源(情報)	加藤佳奈
8	復習・まとめ	講義のまとめと最終レポートの説明を行う。	加藤佳奈

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅰ（日常会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白岩 美穂				演習		

授 業 概 要
2000年代の初め、韓流ブームが日本国内で沸騰し、2018年度には韓国人訪日客は約750万人、日本人訪韓客は約300万人に達した。韓国語を学ぶ人口も飛躍的に伸びた。韓国語を初めて学ぶ学生諸君を対象に、韓国語の基本である発音を身につけ、簡単な日常会話（挨拶等）ができるように韓国語に関する体系的な基礎知識を学ぶ。韓国語と日本語は基本的な語順が同一であるので、学生諸君はその修得スピードに驚くだろう。併せて、韓国文化の理解と共に、韓国語で簡単なコミュニケーションを可能する。

到 達 目 標
1．基本的な発音ルールを習得し、文字を読み、書くことができる。 2．韓国語であいさつができる 3．韓国語で自己紹介ができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。

評 価
平常点(課題を含む)：30%、小テスト：30%、定期試験：40%

教 科 書
書名：コミュニケーション韓国語聞いて話そうⅠ(長谷川由起子) 出版社名：白帝社 ISBNコード：ISBN9784863980860

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業後に質問を受け付ける

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅰ（日常会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白岩 美穂				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス 母音と母音字母Ⅰ 半母音と母音字母Ⅱ	①ガイダンス ②ハングルの仕組みと文の構造 ③1課 1. 母音と母音字母Ⅰ、2. 半母音と母音字母Ⅱ ④出会いのあいさつⅠ	白岩美穂
2	子音と子音字母Ⅰ	①2課 子音と子音字母Ⅰ ②出会いのあいさつⅡ	白岩美穂
3	無声子音の有声音化	①3課 無声子音の有声音化 ②別れのあいさつⅠ	白岩美穂
4	激音と子音字母Ⅱ	①4課 激音と子音字母Ⅱ ②別れのあいさつⅡ	白岩美穂
5	濃音と子音字母Ⅲ	①5課 濃音と子音字母Ⅲ ②尋ねる・答える	白岩美穂
6	半母音と母音字母Ⅲ	①6課 半母音と母音字母Ⅲ ②感謝の言葉Ⅰ	白岩美穂
7	終声とバッチム	①7課 終声とバッチム	白岩美穂
8	数の数え方Ⅰ	①7課 感謝の言葉Ⅱ ②数の数え方Ⅰ	白岩美穂
9	連音 「～です／～ですか」	①8課 連音Ⅰ・Ⅱ ②名詞文「～です／～ですか」	白岩美穂
10	日本語のハングル表記 hの弱音化	①日本語のハングル表記 ②8課 プレゼントをもらった時の会話 ③9課 hの弱音化	白岩美穂
11	鼻音化 「～は～ですか」	①9課 鼻音化Ⅰ・Ⅱ ②謝罪の言葉 ③10課「～は～ですか」	白岩美穂
12	「～といます」	①10課「～といます」 ②自己紹介	白岩美穂
13	激音化 数の数え方Ⅱ	①11課 激音化 ②数の数え方Ⅱ	白岩美穂
14	日付	①11課 月日の言い表し方 ②誕生日を尋ね、答える	白岩美穂

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅰ（日常会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白岩 美穂				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	韓国語Ⅰのまとめ	①11課までの復習 ②自己紹介	白岩美穂

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅰ（日常会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
黄 冬 柏				演習		

授 業 概 要
アジア圏の中で中国のエネルギーはすさまじいものがある。人口も14億と多く、多くの人が世界中を旅したり、留学したりと、日常的に私たちが中国語を耳にする機会も増えてきている。福岡の地は中国からの旅行者も多くみられる。中国語の基本である発音を身につけ、会話を通して簡単な日常会話（挨拶 他）ができるように学ぶ。また日常会話を通して現代中国の文化や社会について理解できるように概説する。学修を通してお互いの文化や考え方の理解につながるように学ぶ。

到 達 目 標
1. 基本的な子音や母音が発音できる。 2. 中国語であいさつができる。 3. 中国語で簡単な日常会話ができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む。 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする。

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
○ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
1) 授業到達目標への到達努力の評価 2) 最終到達度の評価

教 科 書
芦 益平・黄 冬柏『漢語生活会話』 白帝社 ISBN 9784891746780

参 考 図 書

留 意 事 項
朗読や練習など、日常の学習が非常に大切なので、必ず予習と復習を行うこと。中国語のリズムや抑揚を体得するには、ヒアリングが一番重要なので、教科書に付いているCDを繰り返し聴くこと。授業中は積極的に声を出して練習すること。

オフィスアワー等
授業時間の前後、あるいはメール（huang@kyukyo-u. ac. jp）で対応する。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅰ（日常会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
黄 冬 柏				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス	パワーポイントで、まずは担当教員の簡単な自己紹介を行い、次は授業の内容や進め方および成績評価などについて詳しく説明し、最期に中国と中国語について紹介する。	黄 冬 柏
2	発音（１）：声調と単母音	声調と単母音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p1-p3）	黄 冬 柏
3	発音（２）：子音	子音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p5-p8）	黄 冬 柏
4	発音（３）：複合母音	複合母音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p10-p12）	黄 冬 柏
5	発音（４）：発音の規則	発音の規則を説明し、練習を行う。（教科書p14-p16）	黄 冬 柏
6	第5課：時間	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p21-p22）	黄 冬 柏
7	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p23-p26）	黄 冬 柏
8	復習と中間テスト	これまで勉強した内容を復習した後、中間テストを行う。	黄 冬 柏
9	第6課：天気	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p27-p28）	黄 冬 柏
10	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p29-p32）	黄 冬 柏
11	第7課：家庭	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p33-p34）	黄 冬 柏
12	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p35-p38）	黄 冬 柏
13	第8課：買物	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p39-p40）	黄 冬 柏
14	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p41-p44）	黄 冬 柏

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅰ（日常会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
黄 冬 柏				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	復習、まとめ	復習や質疑応答を行った後、期末試験について説明する。	黄 冬 柏

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅰ（消化器・神経・内分泌・泌尿器）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
石井正夫 他				講義	講義	

授 業 概 要
既修の人体構造学、人体機能学、病理学の学修内容と関連させながら、系統別疾患の病因、症状、診断、検査、治療について学修する。本科目では、脳・神経疾患、消化器系、内分泌・代謝疾患、腎・泌尿器系疾患に関して最新の診断、検査、治療について学ぶ。脳・血管疾患の多くは罹患後に後遺症が残り、命は助かっても生活の質に影響を及ぼす。消化器系は悪性腫瘍が発生する頻度が高く、その早期の発見と治療は、健康長寿社会の達成に重要な要因となっている。内分泌・代謝疾患では根治的な治療が困難な疾患が多く、腎・泌尿器系では生活習慣病が原因で起こる慢性腎臓病が増加している。これらを学ぶことにより、健康問題の解決に向けて看護に活かせるようにする。

到 達 目 標
1. 田な脳・神経疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる 2. 田な消化器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる 3. 田な内分泌・代謝疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる 4. 田な腎・泌尿器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦ / 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ 4. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧ ※全て医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅰ（消化器・神経・内分泌・泌尿器）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	主な脳・神経疾患の診断と治療1	脊椎・脊髄疾患、神経変性疾患	福山 幸三
2	主な内分泌代謝・代謝疾患の診断と治療1	内分泌機能障害	石井 正夫
3	主な内分泌代謝・代謝疾患の診断と治療2	糖尿病、痛風、メタボリックシンドローム、甲状腺疾患	石井 正夫
4	主な腎・泌尿器系疾患の診断と治療2	急性・慢性腎炎、ネフローゼ症候群、急性・慢性腎不全	恒吉 章治
5	主な消化器系疾患の診断と治療1	食道・胃・十二指腸・腸・腹膜疾患	川崎 啓祐
6	主な脳・神経疾患の診断と治療2	脳血管障害・脳腫瘍・脳の感染症 内分泌機能障害	福山 幸三
7	主な消化器系疾患の診断と治療2	肝臓・胆嚢・膵臓疾患	田中 正剛
8	主な腎・泌尿器系疾患の診断と治療1	尿路結石、尿路系感染症、腎がん、膀胱がん、前立腺肥大、前立腺がん	吉田 毅

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅱ（循環器・呼吸器・血液、膠原病）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
富永隆治 他				講義	講義	

授 業 概 要
既修の人体構造学、人体機能学、病理学の学修内容と関連させながら、系統別疾患の病因、症状、診断、検査、治療について学修する。本科目では血液・造血管系、循環器系、膠原病、呼吸器系疾患について学ぶ。血液・造血管系は全身への酸素や栄養の補給、感染防御、免疫応答、止血機構などの役割があり、その機能破綻は生体に重大な影響を与える。循環器疾患は3大死因の1つであり、膠原病は自己の組織に対する過剰な免疫反応が引き起こされることにより病態が形成される。呼吸器疾患は肺癌・肺炎など死亡原因として順位が高く、治療や看護への社会的ニーズが高い疾患である。これらに関して最新の診断、検査、治療を学ぶことにより、健康問題の解決に向けて看護に活かせるようにする。

到 達 目 標
1. 田な血液・造血管疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる 2. 田な循環器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる 3. 田な膠原病の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる 4. 田な呼吸器系疾患の原因、症状、診断、検査、治療について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血管 成人看護学④ / 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー膠原病 感染症 成人看護学⑪ 4. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② ※全て医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項
講義日は予定ですが、変更になることがあります。休講・補講に留意し、日々の時間割を確認してください。

オフィスアワー等
授業後、質問を受け付けます

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅱ（循環器・呼吸器・血液、膠原病）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
富永隆治 他				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	主な血液・造血器疾患の診断と治療1	貧血、出血傾向と凝固・線溶系の異常、白血球減少症	陳之内文昭
2	主な血液・造血器疾患の診断と治療2	白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫	陳之内文昭
3	主な膠原病の診断と治療	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーングレン症候群、多発性筋炎、皮膚筋炎	有信洋二郎
4	主な呼吸器疾患の診断と治療1	呼吸不全、気管支喘息、感染症（肺炎、肺結核）	吉松隆
5	主な循環器疾患の診断と治療1	先天性心疾患、虚血性心疾患、心筋症	富永隆治
6	主な循環器疾患の診断と治療2	心不全、不整脈、心内膜炎	富永隆治
7	主な呼吸器疾患の診断と治療2	肺血栓塞栓症、慢性閉塞性肺疾患、肺腫瘍、気胸	吉松隆
8	主な循環器疾患の診断と治療3	関弁膜疾患、動脈性・静脈系疾患	富永隆治

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅲ（外科・麻酔・救命救急）	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
角秀秋 他				講義	講義	

授 業 概 要
既修の人体構造学、人体機能学、病理学、微生物学などの学修内容と関連させながら、外科的治療を必要とする主な健康障害（肺及び胸部、心臓血管系、消化器系、脳及び神経、子宮・卵巣等）や、臓器移植による最新の治療法及び麻酔法の種類や特徴、術中の管理について学ぶ。また、救命救急について、救急処置の範囲や対象、その原則と実際について学修する。近年、外科系の医療技術の進歩には目覚ましいものがあるが、これら最新の外科的診療についても概説する。

到 達 目 標
1. 外科的治療を必要とする疾患を説明できる 2. 外科的治療を必要とする主な疾患の治療について説明できる 3. 麻酔における術前・術中・術後の観察ポイントを説明できる、全身麻酔について概要を説明できる。局所麻酔について説明できる。 4. 救急処置の範囲・対象および処置時の原則と実際について説明できる、併せて救急患者のアセスメントについて説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験(100%)

教 科 書
1. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 2. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 3. 系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業後に質問を受け付けます。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅲ（外科・麻酔・救命救急）	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
角秀秋 他				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	外科的治療1	子宮・卵巣の外科手術	林 広典
2	麻酔法1	麻酔とは、麻酔の種類（全身麻酔、局所麻酔）	富永 昌宗
3	麻酔法2	術中の呼吸管理、体液管理	富永 昌宗
4	麻酔法3	小児の麻酔の特徴、麻酔法のまとめ	富永 昌宗
5	外科的治療2	肺および胸部の主な外科的治療（肺切除、自然気胸、外傷性肺損傷等）、主な外科手術	山岡 賢俊
6	外科的治療 3	消化器系および腹部の主な外科手術（食道切除術、胃切除術、大腸切除術、人工肛門造設術）	松永壮人
7	外科的治療 4	脳および神経、頸部の主な外科的手術（開頭術 穿頭術 等）	福山 幸三
8	外科的治療 5	乳腺領域の外科治療	末田 愛子
9	外科的治療 6	運動器の主な外科的治療（老年・成人および小児の骨折、股関節、膝関節）	井上 裕太
10	外科的治療 7	運動器の主な外科的治療（脊髄）	井上 裕太
11	外科的治療 8	消化器系および腹部の主な外科手術（肝切除、胆道・胆嚢、膵臓に対する手術）	蒲池 浩文
12	救命・救急 1	救急処置法の原則と実際（BLS） 救急患者の観察とアセスメント	増山 純二
13	外科的治療 9	心臓および脈管系の主な外科的治療（冠動脈バイパス、弁置換術、人工血管置換術）	角 秀秋
14	救急・救命 2	救急発生時の対応 主要病態に対する救急処置	角 秀秋

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅲ（外科・麻酔・救命救急）	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
角秀秋 他				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	救急・救命 3	小児の救急処置法の実際 救急法のまとめ	角 秀秋

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅴ（小児）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
原寿郎 他				講義	講義	

授 業 概 要
小児期の主な健康障害（代謝、循環器、消化器、血液・造血器、腎・泌尿器、精神等の障害や感染症）の種類や発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について学ぶ。小児期は各期において、成長過程での変化が著しく、特有の健康障害もみられる。健康障害によっては身体発達、精神発達、社会性の発達に影響を及ぼす。また症状があっても訴えることができないか、あるいは訴えても内容が不明瞭な場合が多い。このような小児の健康障害の特殊性について学修し、看護に活かせるように基礎知識を修得する。

到 達 目 標
1. 新生児期の主な健康障害の種類や発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について説明できる 2. 代謝・内分泌疾患の種類や発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について説明できる 3. 小児期特有の感染症の種類や発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について説明できる 4. 循環器疾患の発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について説明できる 5. 消化器疾患発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について説明できる 6. 血液・造血器疾患、悪性新生物発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について説明できる 7. 腎・泌尿器、生殖器系疾患の発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について説明できる 8. 神経疾患の発症のメカニズム、症状、検査、診断、治療について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅴ（小児）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
原寿郎 他				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	染色体異常 新生児の主な疾患と治療	授業ガイダンス 染色体異常概論、新生児黄疸、敗血症、RDS、NEC	李 守永
2	循環器疾患と治療	先天性心疾患、川崎病	李 守永
3	腎・泌尿器および生殖器疾患と治療	糸球体疾患、陰嚢水腫、停留精巣	李 守永
4	代謝障害と治療 内分泌疾患と治療	先天性代謝異常症、代謝性疾患、下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎・性腺疾患と治療	原 寿郎
5	血液・造血管器疾患 悪性新生物と治療	出血性疾患（血友病、ビタミンK欠症、特発性血小板減少性紫斑病） 急性リンパ性白血病、脳腫瘍、神経芽腫、ウィルムス腫瘍	原 寿郎
6	主な感染症と治療 アレルギー・リウマチ疾患と治療	ウイルス感染症、細菌感染症、食物アレルギー、免疫異常症	金政光
7	消化器疾患と治療	食道・胃・十二指腸・小腸・大腸疾患	金政光
8	神経疾患と治療 まとめ	熱性けいれん、てんかん、発達障害、チック、行動上の障害、小児の健康障害のまとめ	李 守永

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅵ（精神）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中尾智博 他				講義	講義	

授 業 概 要
心理学、人間関係論などの学修と関連させながら、代表的な精神健康障害の症状、経過、治療について学ぶことにより、精神健康障害の予防や精神的な健康の保持と増進について学修する。精神健康障害の領域では社会全体としても高齢化がもたらす諸問題や、うつ病をはじめとするメンタルヘルス上の問題を抱える対象者や、発達障害への対応といった新たな課題にも触れながら、精神の健康について考え、人々のより良い健康を支援できるように学ぶ。

到 達 目 標
1. 精神障害の歴史について説明できる 2. 躁経症、ストレス関連障害、身体表現性障害などの症状、検査、診断、治療について説明できる 3. 気分障害の症状や治療について説明できる 4. 統合失調症の症状、検査、診断、治療について説明できる 5. パーソナリティ障害、器質性精神障害の症状、検査、診断、治療について説明できる 6. 日本での精神障害者の社会的な受け入れ状況について述べることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめる

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業後に質問を受け付けます。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅵ（精神）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中尾智博 他				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	精神障害と治療の歴史 精神を病むこと	授業ガイダンス 精神障害 総論・診断	中尾 智博
2	老年期精神障害	認知症	小原 知之
3	脅迫・不安と治療	脅迫・不安の病型、心理療法	豊見山 泰史
4	統合失調症と治療	統合失調症の病型・治療	平河則明
5	精神作用物質使用による精神および行動の障害	リエゾン/身体疾患・アルコール症と治療	大橋 綾子
6	（児童）パーソナリティ障害 発達障害と治療	パーソナリティ障害の分類、発達障害について	山根 謙一
7	気分障害と治療	気分障害、薬物療法と認知再構成・行動活性	村山 桂太郎
8	まとめ	日本における精神医学、まとめ	まとめ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
感染症看護	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
江藤 宏一郎				講義		

授 業 概 要
感染とは、「病原性微生物（病原体）が身体のある部位で増殖すること」をいい、「感染により引き起こされる疾患」を感染症と言う。感染症看護においては、感染症に特徴的な症状を中心としたアセスメントによって、感染症と病原体、感染伝播リスクを推測し、速やかな感染対策及び回復に向けての治療と看護ケアが求められるため、これらに必要な基礎的知識について概説する。院内感染は社会的にも大きな関心事になっている。病院における感染管理の重要性について理解し、健康の回復や健康の質に寄与できるように学修する。

到 達 目 標
1. 感染症の発生のメカニズムを理解し、病院における感染管理の重要性について説明できる 2. 医療関連感染の防止システムとしてのサーベイランスの必要性を説明できる 3. 標準予防策の基本概念と感染予防の基本及び感染経路別予防策の基本を説明できる 4. 感染症患者の看護過程に基づき、患者の情報収集、アセスメントを行い、適切な感染対策とケア立案の基本を理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（80％）、成果発表（20％）

教 科 書
配布資料

参 考 図 書
1. 感染管理・感染症看護テキスト；大曲貴夫，操華子編集，照林社， 2. 2015感染管理 QUESTION BOX 1, 2, 3, 4：廣瀬千也子監修 中山書店 3. みんなの感染対策：下間正隆，小野保，近藤大志，澤田真嗣著，照林社，2016

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
感染症看護	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
江藤 宏一郎				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	感染症診断のための微生物学的検査と感染症対策	感染症診断のための微生物学的検査および、医療関連感染を引き起こす主要な病原微生物と感染症対策について	江藤宏一郎
2	洗浄・消毒・滅菌の基礎知識	ス波尔ディングの分類に従い、感染症を引き起こさないよう、原因微生物を除去、殺滅させるための「洗浄・消毒・滅菌」の基礎知識について	江藤宏一郎
3	病院環境整備の基礎	安全で快適な医療環境を保証するために必要な病院環境整備の基礎について	江藤宏一郎
4	標準予防策	感染症発症のメカニズムおよび、手洗いや防護具の取り扱い等の基礎知識を含む標準予防策について	江藤宏一郎
5	予防接種 病院感染サーベイランスの基礎	予防接種に関する基本事項と、病院感染サーベイランスの基礎について	江藤宏一郎
6	空気感染・飛沫感染・接触感染予防策	空気感染・飛沫感染・接触感染予防策とその疾患への対応について	江藤宏一郎
7	実験的検証	感染症予防について実験的検証を行い、成果発表を行う（GW）。	江藤宏一郎
8	感染症患者のアセスメント	感染症患者のアセスメントと感染対策・看護への活用について	江藤宏一郎

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
食事療法学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中村 強				講義	講義	

授 業 概 要
食生活が人間の健康や病気に与える影響が大きいことはよく知られている。ライフスタイルのひとつである個々の食習慣は、生活習慣病の要因として重要な地位を占め、健康のレベルに大きく関与し、結果として生活の質にも影響する。将来看護師としてより効果的な援助者となるために、既修の栄養代謝学の学修内容と関連させながら、ライフステージや健康障害の種類に沿った食事療法の知識の修得を目指す。健康課題がある対象に食生活の面からアプローチできるようになるために学び、対象者の生活の質の向上に活かせるように学修する。

到 達 目 標
1. 看護学における食事療法学の位置づけを理解し、自らの意見を述べることができる 2. 栄養状態の評価・判定ができる 3. 疾病と栄養との関連性を理解し、自ら調べ、看護に活用できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
☐
☐
☐
☐

評 価
客観試験（80％）及び課題等（20％）

教 科 書
系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 第5版第1刷

参 考 図 書
授業時に提示

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
食事療法学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中村 強				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	看護学における食事療法の意味	栄養食事療法の概要と基礎： 栄養補給法	中村強
2	ライフステージと栄養 日本人の食事摂取基準2025年版	乳幼児期から老年期における栄養： 食物アレルギー 日本人の食事摂取基準：エネルギー・たんぱく質・脂質等 適正な栄養必要量、栄養状態の評価・判定、GLIM基準	中村強
3	疾病と栄養 ①	循環器疾患の食事療法： 高血圧症、動脈硬化症、心筋梗塞、心疾患	中村強
4	疾病と栄養 ②	栄養代謝性疾患の食事療法：肥満、糖尿病、脂質異常症 血液疾患患者の食事療法：貧血	中村強
5	疾病と栄養 ③	消化器疾患の食事療法： 上部消化管疾患、下部消化管疾患 肝・胆・膵疾患（代謝異常関連脂肪肝炎：MASH）	中村強
6	疾病と栄養 ④	腎・泌尿器疾患： 慢性腎臓病（CKD）、透析	中村強
7	疾病と栄養 ⑤	術前・術後の栄養管理 がん患者と栄養 食欲不振の患者	中村強
8	医療保険制度・介護保険制度 まとめ	入院時食事療養費制度： 栄養サポートチームの実際（NSTにおけるチーム医療） 特別食、栄養食事指導 介護保険と食事	中村強

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康科学医療論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、西村 泰治、竹元 仁美、富永 隆治				講義	講義	

授 業 概 要
基礎科学の研究成果に支えられて、新しい診断法、予防法、治療薬や医療機器が開発され普及しつつある。看護は、このような現代医療の発展に伴う医療技術が、人々の安全と、尊厳および権利を脅かすことなく、健康障害に罹患している対象者の健康レベルに応じて、健康を回復し、苦痛を緩和することに努めている。しかし、一方で、生命の意義、人間の尊厳や倫理、個人情報の保護ならびに社会と医療の関わり合いなど課題も含んでいる。本科目では、現代の医療の発展を支えてきた健康を科学するとはどういうことか、そしてそれが抱えている諸問題や特徴、変化する社会における医療のあるべき姿や看護の役割について、看護学の将来展望と絡めて学修する。

到 達 目 標
1．現代医療の急速な発展にともない、新しく発生している問題について理解できる 2．医療と社会の持続的な変化に伴い、未知の問題が今後とも発生し、これに対処する必要があること, および看護の役割について理解できる 3．現代医療における生命倫理の問題に対して、自分の意見を述べることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：1．該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 2．主体的に自己研鑽する 事後学修：1．当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする 2．当該テーマに沿った関連文献を読み、さらに内容を深める

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
課題レポート（100％）

教 科 書
講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
研究室または講義終了後

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康科学医療論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、西村 泰治、竹元 仁美、富永 隆治				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	医療制度・看護制度の発展と課題 4月8日（水） 3限（13：00～14：30）	日本の医療制度、日本の看護制度、諸外国における看護教育と看護制度	久木原 博子
2	生命倫理① 4月15日（水） 3限（13：00～14：30）	生命倫理とは、生命倫理の誕生とその背景、生命倫理学の確立、延命治療、他	久木原 博子
3	ワクチン接種による集団免疫と感染防御の確立 4月22日（水） 3限（13：00～14：30）	免疫系による感染性微生物の識別と排除のメカニズム、ワクチン接種による集団免疫の獲得による感染防御の確立、革新的なRNAワクチン開発が果たした社会貢献	西村 泰治
4	生命倫理② 5月13日（水） 3限（13：00～14：30）	診断・治療に伴う倫理的問題：着床前診断、出生前診断、他	竹元 仁美
5	24時間看守る看護の使命 5月20日（水） 3限（13：00～14：30）	急性期看護 回復期看護	横瀬 佳代子 萩尾 奈津子
6	終末期医療と尊厳死・安楽死 5月27日（水） 3限（13：00～14：30）	尊厳死・安楽死とその定義と起源	富永 隆治
7	脳死と臓器移植 6月3日（水） 3限（13：00～14：30）	脳死の定義、脳死は人の死か、脳死下での臓器移植に伴う課題	富永 隆治
8	がん免疫療法が可能とした、がんと人類の共存 6月10日（水） 3限（13：00～14：30）	免疫系によるがん細胞の識別と排除のメカニズム、がん免疫療法の著明な有効性と「がんと共に生きる社会」への貢献	西村 泰治

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護統計学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中野 正博				講義		

授 業 概 要
医療の分野で科学的根拠に基づくアプローチの浸透で分かるように、統計学は実用の学門として、人間集団を対象とした科学研究を推進する役割を担っている。看護の対象は個人、家族、集団であり、看護現象を統計学により効率的に記述し、特徴をつかみ、さらに集団の背後にある規則性・法則性を数的方法でつかむという意味で有用である。それらは科学的根拠の基盤になることを理解し、看護における研究の際に実際に使えるように学修する。

到 達 目 標
1. 看護における統計学の意義を説明できる 2. 質問紙による調査の場合の留意事項と倫理的配慮の説明ができる 3. 質問紙の作成ができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする 事後学習：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める

対応D P
◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。 ○ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
客観試験（90％）出席点（10％）

教 科 書
中野正博著 看護・保健・医療のための 新 楽しい統計学 ～看護研究実践編～ ISBN978-4-9901462-2-1

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護統計学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中野 正博				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	看護における統計学と統計調査	授業ガイダンス 統計分析を学ぶ理由、データとは データ収集法、母集団 ランダムサンプリングの重要、サンプル数、データの週類と統計法	中野正博
2	アンケート調査研究の方法	看護統計学の意味、看護研究のテーマ、アンケート調査研究の方法	中野正博
3	データの集計方法と表現方法	質問紙作成の注意点、回答紙作成の方法と選択回答および複数回答の集計の仕方、データ入力演習	中野正博
4	データ分布と代表値	データ分布の表し方、代表値、平均値と中央値、標準偏差、 度数分布と確率分布、確率分布を演習で作る、箱ひげ図の意味	中野正博
5	偏差値と検定の基本 検定の基礎	偏差値、仮説検定のやり方、帰無仮説の立て方、p値の解釈 パラメトリック検定、独立な2群の t 検定とその例題	中野正博
6	検定の応用	対応のある2群の t 検定とその例題 3群以上の差の F検定	中野正博
7	検定の発展	2 x 2表のカイ2乗検定とその例題 相関係数とその検定	中野正博
8	その他の検定 全体のまとめ	ノンパラメトリック検定、マンホイットニの U検定と例題 検定の色々な手法のまとめ	中野正博

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、竹元 仁美、田中 裕二、寺岡 祥子、池田 敏子、松本 宗賢、岩倉 真由美				演習	講義・演習	

授 業 概 要
保健・医療・福祉に携わる職種の専門性や関連性、チーム医療・ケアの理念と実践方法を理解し、各職種が連携して課題を解決し、患者・利用者中心の専門的サービスを提供する技能を修得する。ICFの概念を活用しチーム医療の中で自らの役割を発見し、メンバーとして協力の必要性を学ぶ。具体的には事例を通して、チームメンバーと協働し他職種のアプローチを尊重しながら、自職種としての意見やその根拠を明確に述べるとともに、各々の役割や責任についても学修する。

到 達 目 標
1． ICFの概念を活用して事例の課題を抽出することができる 2． 現実的・実践的な総合サービス計画が立案できる 3． 事例の検討を通して、チームビルディングのステップを踏んでチームを形成できる 4． チームにおける自らの役割を発見・理解し、メンバーシップを発揮できる 5． 他職種の意見を尊重しながら、自職種の意見を根拠に基づいて述べるができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って復習し、まとめを行いレポートを作成する

対応D P
○ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。
◎ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
課題レポートと事前事後課題

教 科 書
講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
水曜日（17時～19時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、竹元 仁美、田中 裕二、寺岡 祥子、池田 敏子、松本 宗賢、岩倉 真由美				演習	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	授業ガイダンス	授業の概要 グループワークの進め方	白石裕子
2	チームづくりの基礎的知識	ICF（国際生活機能分類）について講義と事例を用いた演習	白石裕子
3	チームビルディング演習①	・事例を用いたグループワーク ・事例の理解	全員
4	チームビルディング演習①	・各職種との協働作業におけるチームビルディングの基本演習 ・チームづくりのためのリーダーシップとフォロワーシップ	全員
5	チームビルディング演習②	・事例を用いたグループワーク② ・事例の支援において必要な職種とそれ以外の人々の役割と機能を明確化する。 ・自職種の立ち位置について考える。	全員
6	チームビルディング演習②	・グループワークの中でのコンフリクト（葛藤）場面を振り返る。 ・コンフリクトマネジメントについて（講義と演習）	全員
7	福祉と医療の連携を考える会参加	学術集会に参加し、リハビリテーションに向けた多職種連携の実際を学ぶ ・各グループでの体験の共有化	全員
8	福祉と医療の連携を考える会参加	学術集会に参加し、リハビリテーションに向けた多職種連携の実際を学ぶ ・各グループでの体験の共有化	全員
9	福祉と医療の連携を考える会参加	学術集会に参加し、リハビリテーションに向けた多職種連携の実際を学ぶ ・各グループでの体験の共有化	全員
10	多職種連携の実際からの学び	福祉と医療の連携を考える会での多職種連携講義と事例についてグループ討議	全員
11	多職種連携の実際からの学び	福祉と医療の連携を考える会での多職種連携講義と事例についてグループ討議の発表会	全員
12	チームビルディング演習③	事例を用いたグループワーク③ ・患者の目標の設定とその理由	全員
13	チームビルディング演習③	事例を用いたグループワーク③ ・非専門職、社会資源との連携	全員
14	チームビルディング演習まとめ	チームビルディング演習体験のまとめ グループ発表会の準備	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、竹元 仁美、田中 裕二、寺岡 祥子、池田 敏子、松本 宗賢、岩倉 真由美				演習	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	発表会	グループ発表会 全体発表会での優秀なグループを選出し、表彰する 講義の総括	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護倫理	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
児玉 裕美				講義		

授 業 概 要
看護実践においては、倫理的視点に基づいた判断と行動が求められる。本科目では、看護者の倫理綱領や看護の倫理的実践の基準、倫理的概念について学び、看護者としてあるべき姿について考える。また、基幹分野で学んだ倫理学と関連づけながら、倫理的感受性や道徳的推論を高め、看護の場において生じる倫理的問題について理解を深める。さらに、インフォームド・コンセントや患者の権利などを踏まえ、看護職の倫理的責任に基づいた意思決定と看護実践の基礎的能力を養う。加えて、倫理的視点を明確にするため、グループディスカッションを取り入れて学修を進める。

到 達 目 標
1. 看護倫理の定義や歴史、倫理原則、アドボカシーやケアリングなど、看護倫理における主要な概念について説明できる 2. 専門職としての社会的・倫理的責任について理解し、「看護者の倫理綱領」を基に看護職に求められる倫理的行動について説明できる。 3. 倫理的問題へのアプローチや倫理的意思決定の方法について、事例を用いて検討できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
☐
☐
☐
☐

評 価
筆記試験（70％）、課題レポート（30％）を総合して60点以上を合格とする。

教 科 書
系統看護学講座 別巻 看護倫理 第3版 医学書院 宮坂道夫

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
月曜日 16時～18時 研究室（2711室）

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、臨床現場における看護活動の実務経験を活かして講義する

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護倫理	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
児玉 裕美				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	看護倫理の基礎・歴史的経緯	①看護倫理の歴史的経緯 ②看護倫理の重要な概念 ③看護倫理を学ぶ意義 ④看護の倫理原則	児玉裕美
2	看護者の倫理綱領	①専門職の倫理綱領の意義と内容 ②実践現場における具体的な場面と「看護師の倫理綱領」との関連	児玉裕美
3	患者の権利と擁護	①患者の権利 ②インフォームドコンセント ③守秘義務と個人情報保護	児玉裕美
4	看護実践上の倫理的概念	①看護職の責任 ②アドボカシー ③協働 ④ケアリング	児玉裕美
5	倫理的問題へのアプローチ	①看護実践における倫理的問題 ②倫理的問題を議論する上での留意点 ③倫理的問題に対するアプローチ方法	児玉裕美
6	薬害問題の被害者の声を聞く	①薬害の原因，実態，歴史，偏見などの人権問題 ②医療専門職としての責任	ゲストスピーカー （児玉裕美）
7	事例分析	①看護実践上の倫理的問題に対する検討	児玉裕美
8	看護研究の倫理	①研究における倫理的課題 ②看護研究に必要な倫理的配慮	児玉裕美

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護過程	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
大村 由紀美、辻 慶子、児玉 裕美、松井 聡子、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵				演習		

授 業 概 要
看護を科学的に実践するために必要な問題解決思考の基本を学ぶ。その上で看護の対象となる人間の健康上の問題を明らかにし、問題解決に向けた援助を提供するためのアセスメント、問題の明確化、計画、実施、評価の看護過程の方法を学ぶ。看護過程においては対象を全人的に理解することが必要である。そのためにはどのように対象を捉えるか、全体的に対象をイメージしながら理解できるように事例を用いた看護過程の展開を行う。

到 達 目 標
1. 看護実践に看護過程を用いる意義を説明できる 2. 看護過程実践の基盤となる問題解決の基本的な考え方を説明できる 3. 看護過程の各構成要素の基礎的知識を説明できる 4. 事例を用いた情報収集・分析，看護問題の明確化，優先順位の決定、看護計画の立案ができる 5. 立案した看護計画に基づき看護援助を実施し、評価・修正ができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて教科書の該当するページを読む（Moodleに記載） 事後学修：講義終了時に提示される課題に取り組む（別紙で課題一覧表を配布するため、スケジュールに沿ってOneNoteにある記録用紙を記載し提出する）。関連する国家試験問題に取り組む。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（50％）、課題レポートとグループワークへの参加状況（50％）を総合して60点以上を合格とする。提出された課題レポート（記録用紙の記載内容）とグループワークへの参加状況はルーブリック評価表に沿って評価する。

教 科 書
1． 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 2 基礎看護技術1, 第19版, 医学書院 2． マージョリー・ゴードン：アセスメント覚え書 ゴードン機能的健康パターンと看護診断, 第1版, 医学書院

参 考 図 書
石川ふみよ：疾患別看護過程の展開, 第6版, 学研メディカル秀潤社 新見明子：根拠がわかる疾患別看護過程, 改定第3版, 南江堂 高木永子：看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント, 第5版, 学研メディカル秀潤社 石川ふみよ：看護過程の解体新書, 初版, 学研メディカル秀潤 多数あるため、Moodleのコースに別途、記載

留 意 事 項
本科目の単位修得が基礎看護過程実習の履修要件となる。架空事例の患者のカルテ、課題の記録用紙は、実習記録と同じ取り扱い（個人情報を含むもの）とする。

オフィスアワー等
水曜日(12時10分～13時)、場所：2 号館 7 階2715 大村の研究室 グループの担当教員から個別指導を受けたい場合は、事前に日時の予約をする。

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、臨床現場における看護活動の実務経験を活かして講義・演習を展開する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護過程	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
大村 由紀美、辻 慶子、児玉 裕美、松井 聡子、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	授業ガイダンス 看護過程とは	①看護過程の定義・意義 ②看護過程の構成要素 ③看護過程の基盤となる考え方	大村
2	アセスメント①	①アセスメンの枠組み・看護理論 ②ゴードンの機能的健康パターン	大村
3	アセスメント②	①アセスメントの方法（情報収集、情報の整理、解釈、分析、統合）	大村
4	演習：アセスメント①	①主観的情報と客観的情報の区別 ②情報の整理 ③情報の分析	大村、辻、児玉、松井、西原、野村、野田
5	看護問題の明確化 全体像（関連図）	①看護問題の明確化 ③看護問題の種類 ④看護問題の表記方法 ④全体像 ⑤関連図	大村
6	演習：アセスメント②	①主観的情報と客観的情報の区別 ②情報の整理 ③情報の分析	大村、辻、児玉、松井、西原、野村、野田
7	演習：アセスメント③	①主観的情報と客観的情報の区別 ②情報の整理 ③情報の分析	大村、辻、児玉、松井、西原、野村、野田
8	演習：アセスメント④	①情報の分析 ②関連図	大村、辻、児玉、松井、西原、野村、野田
9	演習：看護問題の明確化①	①情報の統合 ②看護問題の確定	大村、辻、児玉、松井、西原、野村、野田
10	演習：看護問題の明確化②	①情報の統合 ②看護問題の確定	大村、辻、児玉、松井、西原、野村、野田
11	看護計画立案	①優先順位 ②問題リスト ③看護計画立案 ④期待される成果	大村
12	演習：看護計画立案	①問題リストの作成 ②優先順位の確定 ③看護計画立案	大村、辻、児玉、松井、西原、野村、野田
13	実施・評価・記録、サマリー	①看護計画の実施時の留意点 ②実施内容の記録 ③実施内容の評価と記録（実施後の評価、看護目標に沿った評価）④看護サマリーの目的・内容・方法	大村
14	演習：実施・評価・記録	①実施内容の記録 ②実施後の評価・修正	大村、辻、児玉、松井、西原、野村、野田

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護過程	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
大村 由紀美、辻 慶子、児玉 裕美、松井 聡子、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	報告	①報告の目的・方法 ②報告の演習	大村

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
診療に伴う援助技術	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松井 聡子、辻 慶子、児玉 裕美、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				演習		

授 業 概 要
診療における援助に関連した基礎的知識を学ぶ。検査や治療過程における援助に必要な看護の基礎的知識を理解し、生活援助技術での学修と関連させながら標準予防策から無菌操作、創傷処置、採血、与薬、注射、排尿・排泄障害時の対処方法（導尿・浣腸）や吸引・吸入の技術を学ぶ。これらの技術は苦痛を伴うことが多く、健康課題のある対象者への安全面や苦痛緩和を考慮した基本的な診療援助技術を学修する。また、診療援助技術を行う上での倫理的配慮や看護者としての態度について学修する。

到 達 目 標
1. 診療を受ける対象者の身体的・心理的特徴を説明できる 2. 診療の援助における看護師の役割を説明できる 3. 診療援助にかかわる看護技術の原理原則や方法を説明できる 4. 診療援助にかかわる看護技術を正確に実施できる 5. 診療援助にかかわる看護技術を行う上での倫理的配慮・態度を遵守することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：教科書の該当する単元を事前に読み、授業に臨む 指定された事前学習（配布資料や動画の視聴、小テスト等）と、該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをし、看護技術については自主的に練習に取り組む

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（60％） 、課題レポート・身だしなみ(30 %) 、実技試験（10％）を総合して60点以上を合格とする

教 科 書
①系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ，第19班，医学書院，茂野香おる. ②系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ，第19班，医学書院，任和子.

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項
定期試験受験資格：出席回数が授業回数の4/5以上であること。欠席7回目で受験資格喪失となる。 技術試験受験資格：③④無菌操作の演習に参加し、事前課題を期限内に提出していること。

オフィスアワー等
金曜日（12時10分～13時） 7階 担当教員の研究室

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、臨床現場における看護活動の実務経験を生かして講義・演習を展開する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
診療に伴う援助技術	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松井 聡子、辻 慶子、児玉 裕美、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス・診療援助技術とは	①科目ガイダンス ②診療援助技術とは ③診療援助を受ける患者の看護	松井
2	感染防止に関する看護	①標準予防策 ②洗浄・消毒・滅菌 ③無菌操作 ④創傷処置 ⑤包帯法 ⑥医療事故発生時の対応	松井
3	演習：無菌操作	①滅菌手袋・ガウンの装着 ②滅菌物の取り扱い	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
4	演習：傷創処置・包帯法	①包帯法 ②傷創処置	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
5	安楽に関する援助技術	①安楽の意義 ②安楽を確保する援助	野村
6	演習：電法	①冷電法 ②温電法	野村、松井、辻、児玉、大村、西原、野田、荒木
7	技術試験①	①滅菌手袋の着脱 技術試験（１）	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
8	技術試験②	①滅菌手袋の着脱 技術試験（２）	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
9	検査を受ける患者の看護①	①検査の意義 ②検査の侵襲性 ③検査の種類 ④検査前・中・後の援助	野田
10	検査を受ける患者の看護②	①検体検査 ②生体検査 ③穿刺検査	野田
11	演習：採血①	①採血（１）	野田、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
12	演習：採血②	①採血（２）	野田、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
13	薬物療法を受ける患者の看護①	①与薬の基礎知識と看護師の役割 ②与薬の方法と援助	松井
14	薬物療法を受ける患者の看護②	①注射の基礎知識 ②注射の実施方法 ③点滴静脈内注射にかかわる看護技術 ④輸血の管理	松井

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
診療に伴う援助技術	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松井 聡子、辻 慶子、児玉 裕美、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	演習：点滴静脈内注射① 経皮外用薬	①点滴静脈注射に関する物品と基本操作 ②点滴静脈注射の刺入部の固定・ 滴下調節・抜去の観察（１）	松井、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
16	演習：点滴静脈内注射②	①点滴静脈注射に関する物品と基本操作 ②点滴静脈注射の刺入部の固定・ 滴下調節・抜去の観察（２）	松井、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
17	演習：筋肉注射	①注射薬の準備 ②筋肉注射部位の同定 ③筋肉注射	松井、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
18	演習：皮下注射	①皮下注射部位の同定 ②皮下注射	松井、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
19	呼吸障害のある患者の看護 ①	①呼吸に関する基礎知識 ②呼吸のメカニズム ③呼吸を楽にするための援助（１）効果的な呼吸法、排痰ケア	松井
20	呼吸障害のある患者の看護 ②	①呼吸を楽にするための援助（２）吸引・吸入、酸素療法	松井
21	演習：酸素吸入、吸引	①吸引 ②吸入	松井、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
22	演習：酸素吸入、吸引	①酸素療法	松井、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
23	排泄障害のある患者の看護 ①	①排尿の基礎知識 ②援助の選択 ③導尿の方法（一次的導尿・持続的導 尿）	松井
24	排泄障害のある患者の看護 ②	①排便の基礎知識 ②自然排泄、床上排泄、排泄用具を用いた援助方法 ③ グリセリン浣腸	野田
25	演習：便器・尿器	①尿器の当て方 ②便器の当て方 ③床上排泄の援助の実際（陰部洗浄）	野田、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
26	演習：浣腸	①浣腸	野田、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
27	演習：導尿①	①留置カテーテル(1) 一次的導尿・持続的導尿	松井、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木
28	演習：導尿②	①留置カテーテル(2) 一次的導尿・持続的導尿	松井、辻、児玉、大村、西 原、野村、野田、荒木

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
診療に伴う援助技術	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松井 聡子、辻 慶子、児玉 裕美、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
29	演習：シミュレーション①	①呼吸器疾患のある患者の看護	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
30	演習：シミュレーション②	①呼吸器疾患のある患者の看護	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				講義		

授 業 概 要
地域看護は、地域で生活しているさまざまな健康レベルの個人、家族、集団、コミュニティを対象に展開され、社会情勢や疾病構造の変化など社会のニーズに応じた形で活動の場が広がっている。昨今の少子高齢化の中、地域包括ケアシステムの構築が示され、看護職はその構築へ向け大きな役割を果たすことが求められる。この科目では、地域での生活（QOL）を支えるケア提供へ向けた基盤となる知識の修得を目指す。具体的には、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう保健医療福祉の多くの専門職と連携・協働を行い、地域での生活を支えるケア体制を整えていくことの必要性和求められる技術、活動の場に応じた看護職の機能と役割について学修する。

到 達 目 標
1．地域看護の概念、定義、対象と活動の場、活動を支える概念について説明できる 2．地域看護の歴史からみた地域看護活動の特性について説明できる 3．人々の健康と社会環境との関連について説明できる 4．ヘルスケアシステムの成り立ちと地域保健医療福祉行政について説明できる 5．地域看護活動としての行政、産業、学校、在宅看護活動の特性について説明できる 6．個と集団の支援、地域診断、地域ケアシステムづくりについて、地域看護技術について説明できる 7．地域包括ケアシステムについて、地域包括支援センターの活動の実際について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修： 1．該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 2．主体的に自己研鑽する 事後学修： 1．当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする 2．当該テーマに沿った関連文献を読み、さらに内容を深める

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
筆記試験（70％）、課題レポート（20％）、事後課題（10％）

教 科 書
1．河原加代子，系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 第6版【電子版】，医学書院，2026. 2．河原加代子，系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践 第6版【電子版】，医学書院，2026.

参 考 図 書
1．豊島泰子編，看護師のための地域看護学，PILAR PRESS， 2022. 2．木下由美子編，Essentials 地域看護学 第2版，医歯薬出版株式会社，2016. 3．岸恵美子・大木幸子，地域・在宅看護学，中央法規，2022. 4．神馬征峰，系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生 第14版【電子版】，医学書院，2026. 5．国民衛生の動向2025/2026 一般社団法人厚生労働統計協会，2025.

留 意 事 項
疾病や障害があっても地域で安心して生活することができるように看護職がどのような場でどのような活動を行っているか、また、特に求められる看護技術と看護職の役割が理解できるよう積極的に講義に参加し、学修することを望みます。

オフィスアワー等
水曜日（12時00分～13時00分）2717研究室

実 務 経 験
地域住民の健康づくり支援を行う看護職として保健所・保健センターにて約7年間の勤務経験あり。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	地域看護学とは	授業ガイダンス 地域看護学の定義、対象と活動の場	池田敏子
2	地域看護学の歴史	地域看護のはじまりとその変遷	池田敏子
3	社会環境の変化と健康① 社会環境の変化と健康影響	ヘルスケアシステムのなりたちと地域保健医療福祉行政 社会環境の変化と健康影響、健康格差と健康の社会的決定要因	池田敏子
4	社会環境の変化と健康②	健康の概念、ヘルスプロモーションの概念	池田敏子
5	地域看護技術① -相談技術-	生活者としての対象のとらえ方と支援技術① 健康相談の目的と対象、展開方法、コミュニケーション技法	池田敏子
6	地域看護技術② -教育技術-	生活者としての対象のとらえ方と支援技術② 健康教育の目的と対象、展開方法、プレゼンテーション技法	池田敏子
7	地域看護技術③ -地域診断-	生活の場としての地域のとらえ方と支援技術 地域のとらえ方と地域の機能 地域診断の意義と目的、地域アセスメントモデル	池田敏子
8	地域看護活動① -学校看護-	児童・生徒に対する看護：医療的ケア児を支援する看護職の活動 ※ゲストスピーカー	福岡県立福岡特別支援学校 看護職員コーディネーター 看護師
9	地域看護活動② -公衆衛生看護活動-	集団（地域、学校、職場）における看護活動：保健師の活動	池田敏子 間山一枝
10	地域看護活動③ -産業看護-	働く人や家族に対する看護：健診クリニックにおける看護職の活動 ※ゲストスピーカー	社会医療法人財団池友会 福岡和白総合健診クリニック看護部 檜橋有紀 師長
11	地域包括ケアシステムと制度	・高齢者を取り巻く現状と介護保険制度	池田敏子
12	地域包括支援センターの機能と役割	・地域包括支援センターの役割・機能	池田敏子
13	地域ケアシステムづくり	・地域包括支援センターの活動と地域ケアのシステムづくり	池田敏子
14	地域看護における倫理	・地域看護における倫理	池田敏子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	地域看護活動④ -病院・在宅-	・病院から地域生活へ移行する療養者に対する看護：退院調整支援 看護師の活動 ※ゲストスピーカー ・講義の振り返りとまとめ	社会医療法人財団池友会福岡和白病院看護部 入退院支援看護師

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学概論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				講義	講義	

授 業 概 要
地域看護における在宅ケアの位置づけを理解し、在宅看護の特徴や在宅看護の対象者の支援について学ぶ。在宅看護の対象は小児から老年まで幅広く、その目的も多岐にわたっている。また社会資源の活用など制度への理解も必要となる。在宅での看護の場合は対象者を理解するとともに、在宅療養を支える家族への援助や意思決定を支えることも必要になる。対象の状態に応じた在宅看護の提供の実際や在宅への移行支援、さらに在宅看護を取り巻く現状と問題を学修する。

到 達 目 標
1. 在宅看護の対象者や在宅看護の役割と目的を理解できる。訪問時の留意点を説明できる。 2. 在宅看護の制度やシステムを知り、対象の特性に応じた在宅看護活動の内容を理解できる。 3. 在宅看護を取り巻く課題について説明できる。 4. 地域包括ケアシステムを活用した退院支援・退院調整について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
筆記試験とレポートなどから総合的に評価する。

教 科 書
医学書院 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論Ⅰ 医学書院 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論Ⅱ

参 考 図 書
1. ナーシンググラフィカ 在宅看護論「地域療養を支えるケア」 メディカ出版 2. 厚生労働省、各市町村のホームページ

留 意 事 項

オフィスアワー等
水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学概論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	在宅看護の目的 暮らすということ	授業ガイダンス在宅ケア、在宅看護とは、在宅看護の目的在宅看護における看護の役割暮らすということを考えてみよう	馬場みちえ
2	在宅看護の歴史、社会的背景、在宅看護の特徴	在宅看護の社会的背景、歴史在宅看護の特徴臨床看護と在宅看護の共通点、相違点	馬場みちえ
3	在宅看護の対象者の理解	在宅看護の対象者の特性地域で療養しながら療養すること	馬場みちえ
4	家族介護者の介護力評価とその支援	在宅療養者を支える家族の特性在宅療養者を取り巻く地域、介護者支援、介護保険制度と訪問看護制度	馬場みちえ
5	在宅ケアシステム在宅療養を支える制度・訪問看護制度	在宅ケアシステムの概要法律や制度の概要、社会資源の活用、介護保険制度と医療保険制度公費負担制度 等訪問看護の定義、在宅看護と訪問看護制度	馬場みちえ
6	在宅療養の移行支援・継続看護	訪問看護の特性と法的根拠切れ目のない支援とは退院支援のプロセスと退院調整訪問看護ステーションの利用の流れ	馬場みちえ
7	在宅看護の制度と関連職種との協働	地域包括ケアシステムチーム医療とケアマネジメント多職種連携協働と統合、リスクマネジメントと権利擁護、在宅看護・医療における倫理	馬場みちえ
8	在宅医療の現状と課題 まとめ	訪問看護の実際、まとめ	馬場みちえ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学概論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
				講義	講義	

授 業 概 要
本授業は成人期にある人の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、成人期の健康に及ぼす要因、健康状態が生活や社会的役割に及ぼす影響を踏まえたうえで、その人にとって最適な健康を維持・促進するための看護援助を学ぶ。本授業では成人期にある人を理解するために必要な概念や理論について基礎的な知識を理解する。本授業を通して、成人期にある多様化・複雑化する人々の生活課題と健康問題に対処していく看護の役割や機能とはどのようなものかを理解し、その援助に必要な知識・技術・態度を身につける。

到 達 目 標
1. ライフサイクルにおける成人期の位置づけについて説明できる。 2. 成人期にみられる健康障害について、成人期の特徴・生活行動と関連づけて説明できる。 3. 成人期の健康レベルに応じた看護に有用な概念や理論にはどのようなものがあるか説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各講義内容に関する教科書の該当部分を学習する。 事後学修：講義最後に出題する国家試験過去問題を解き、その問題に関連する内容を調べる。

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（定期試験90％）、授業への参加状況（コメントシートの提出）10％

教 科 書
系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院

参 考 図 書
適宜紹介する。

留 意 事 項
毎回、講義終了後にコメントシートを提出。事前学修では、関連動画の視聴やテキスト等の該当ページを熟読するとともに理解できない箇所を明確にする。事後学修では、学習した内容を整理し、理解を深める。

オフィスアワー等
講義終了後、受け付ける。また、メールやコメントシートへの記載でも可。

実 務 経 験
本科目は臨床看護師としての十分な実務経験のある実務家教員による科目である。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学概論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス 成人期にある人の理解	健康、成人期、発達段階、発達課題	岡田純也
2	成人期にある人の健康課題と保健動向	成人期の特徴、発達課題、保健動向	岡田純也
3	成人期にある人の生活と健康	成人からとらえる健康 成人期の成長発達	岡田純也
4	成人期の健康障害	職業、セクシャリティ、余暇活動に関連する健康障害	岡田純也
5	成人期にある人の健康を守る保健・医療・福祉システムの概要と連携	保健医療システム	岡田純也
6	成人期の健康レベルの看護	- 生活習慣病 - 保健医療政策 - ヘルスプロモーション - 健康行動理論	岡田純也
7	成人の健康生活を促すための看護	- 成人の学習 - アンドラゴジー - 自己効力 - 意思決定 - エンパワーメント - 病みの軌跡	岡田純也
8	成人の健康生活を促すための看護	- ストレス - ストレスコーピング - 危機理論	岡田純也

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学概論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美				講義	講義	

授 業 概 要
高齢者観・倫理観を深化させるとともに、加齢に関連する諸概念と理論を学ぶことで、高齢者を身体的・心理的・社会的側面から統合的に理解し、高齢者の健康レベルに合わせた質の高い看護を提供するための基礎知識を修得する。さらに、高齢者への心理的支援方法を理解し実践する基礎能力を学習する。また、老年看護学の対象者の成長と発達の過程、人口統計および社会構造の変化、災害時のニーズ、高齢者への保健・医療・福祉サービスの現状と課題を捉え、老年看護実践における専門的な看護者の役割と機能を学修する。

到 達 目 標
1. 高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。□ 2. 我が国における超高齢社会の現況を統計的に説明できる。 3. 我が国における医療福祉制度を理解し、問題点と課題を説明できる。 4. 高齢者の倫理的課題や人権問題について理解し、考究することができる。 5. 高齢者看護の役割、理論、概念について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：各回の授業範囲（教科書のページ範囲）を第1回目の授業で伝えるので、授業範囲に該当する教科書・参考書を事前に読み、専門用語の意味を調べるなどして理解を深めておくこと。（30～60分） 事後学習：授業で配布した資料や教科書を使用して30～60分程度復習すること。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
☐ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
定期試験80％、小テスト20％

教 科 書
北川公子、他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第10版 医学書院 2026年、ISBN：978-4-260-03186-8 鳥羽研二、他「系統看護学講座老年看護 病態・疾患論」第6版 医学書院 2026年、ISBN：978-4-260-03172-1

参 考 図 書
エリザベス・キューブラー・ロス 『死ぬ瞬間』中央公論新社、ISBN-13：978-4122068285 佐藤愛子『九十歳。何がめでたい』小学館文庫、ISBN-13：9784094067668

留 意 事 項
新聞・テレビをはじめとする多くのメディアから発信される高齢者に関する制度・課題などに関心をもち、高齢者看護の発展、高齢者の幸福に寄与するために自分ができることを日頃から考える習慣を身につける。

オフィスアワー等
水曜日（12時～13時） その他の時間で相談が必要な場合、メールで事前にご連絡ください。 久木原（h.kukihara@kyoju.ac.jp）、岩倉（m.iwakura@kyoju.ac.jp）

実 務 経 験
本授業の担当教員は、大学病院、その他の医療機関での看護の経験が豊富である。現在も医療施設や介護施設の高齢者看護事例を研究するなど、臨床とのユニフィケーションを継続的に実施している。

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学概論		2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美					講義	講義	
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	老いるということ、老いを生きること	A. 老年看護学を学ぶ入り口 B. 「老いる」ということ C. 老いを生きること			久木原 博子		
2	超高齢社会と社会保障	A. 超高齢社会の統計的輪郭（超高齢社会の現況、高齢者と家族、高齢者の健康状態、高齢者の死亡、高齢者の暮らし）			岩倉 真由美		
3	超高齢社会と社会保障	B. 高齢社会における保健医療福祉の動向（高齢者のかかわる保健医療福祉制度のしくみ、地域共生社会と看護活動）			久木原 博子		
4	超高齢社会と社会保障	C. 高齢者の権利擁護（高齢者に対する差別と権利擁護、高齢者虐待、身体拘束、権利擁護のための制度）			久木原 博子		
5	老年看護のなりたち	A. 老年看護の発展と定義 B. 老年看護の役割 C. 老年看護における理論・概念の活用 D. 老年看護に携わる者の責務			久木原 博子		
6	高齢者のヘルスアセスメント	A. ヘルスアセスメントの基本 B. 身体の高齢変化とアセスメント（皮膚、視聴覚、循環器系、血液・造血器系、免疫系、呼吸器系）			久木原 博子		
7	高齢者のヘルスアセスメント	B. 身体の高齢変化とアセスメント（消化器系、代謝系、泌尿生殖器系、神経系、運動系）			久木原 博子		
8	総括	授業内容のまとめ			久木原 博子		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
菊原 美緒、上田 恵				講義	講義	

授 業 概 要
小児看護学概論では、子どもの成長・発達の特徴と健康の捉え方を理解し、小児看護の基盤となる理論と視点を学修する。子どもの権利や最善の利益の概念を踏まえ、子どもと家族を一体として捉える看護の重要性を理解する。また、小児の健康課題や生活背景を学び、看護師として果たすべき役割や専門性について基礎的理解を深める。これらを通して、小児看護学援助論や実習科目につながる基礎的知識と視点を身につける。

到 達 目 標
学生は以下の内容を理解し、実践につながる基礎的能力を身につける。 1. 子どもの成長・発達の特徴を説明できる。 2. 小児の健康の捉え方と、発達段階に応じた看護の視点を理解できる。 3. 子どもの権利と最善の利益の概念を説明できる。 4. 小児看護における家族の役割と家族支援の重要性を理解できる。 5. 小児の主要な健康課題と生活背景を説明できる。 6. 小児看護における看護師の役割と専門性を理解できる。 7. 小児看護学援助論や実習につながる基礎的知識を統合して活用できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：事前に提示する課題に取り組み、指定された期日までに提出する。該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：授業で配布する事後課題や国家試験問題に取り組み、指定された期日までに提出する。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。

評 価
筆記試験、提出物、グループワークや演習の参加度を合わせて総合的に評価する

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児看護総論 小児看護学① 医学書院

参 考 図 書
福岡地区小児科医会 乳幼児保健委員会：乳幼児健診マニュアル 医学書院 遠城寺式乳幼児分析的発達検査

留 意 事 項

オフィスアワー等
火曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
菊原 美緒、上田 恵				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	子どもとは 子ども観の変遷と子どもの権利	授業ガイダンス 1) 子ども観 子ども観の変遷 2) 子どもの権利、子どもの権利条約	菊原美緒
2	子どもの成長発達とは 小児看護で活用する理論	1) 成長発達の原則 2) 発達課題とは何か、Erikson. E. H等 3) 認知発達論とは Piaget. J 4) 愛着形成 Bowlby. J、Harou. H. F等	菊原美緒
3	新生児・乳児	1) 形態的特徴 身体生理の特徴 感覚機能、運動機能、知的機能 情緒・社会的機能等 2) 養育 抱っこ 栄養 (授乳、母乳栄養、離乳、離乳食) 排泄、睡眠、遊び 事故予防 SIDS	上田恵 菊原美緒
4	幼児 1	1) 形態的特徴、身体生理の特徴、感覚機能、運動機能、知的機能、コミュニケーション機能、情緒・社会的機能等 2) 幼児期のアニミズム、認知発達論 3) 遊びの意義と分類	菊原美緒
5	幼児 2	1) 栄養 (幼児食、おやつ) 2) 排泄 (トイレトレーニング)、3) 清潔 4) 睡眠 5) 遊び 6) 事故予防	菊原美緒
6	成長・発達の評価	1) 成長の評価 2) 発達の評価 DENVER II 遠城寺式乳幼児分析的発達検査等	菊原美緒
7	学童	1) 形態的特徴、身体生理の特徴、感覚機能、運動機能、知的機能 2) コミュニケーション機能、情緒・社会的機能 3) 発達の最近接領域、自己効力感 4) 心理・社会的適応 いじめ・不登校など	菊原美緒
8	思春期・青年期	1) 形態的特徴、身体生理の特徴、感覚機能、運動機能、知的機能 2) コミュニケーション機能、情緒・社会的機能 3) 自我同一性 (アイデンティティ) 4) 性に関する健康問題	上田恵 菊原美緒
9	家族の特徴とアセスメント	1) 子どもにとって家族とは 2) 子どもと家族の諸統計 3) 子どもの安全	菊原美緒
10	子どもの病気の理解	1) 子どもの病気の理解、受け止め方 2) 子どもにおける疾病の経過と看護 3) 発達段階別に見た子どもの病気の捉え方	菊原美緒
11	病気を持つ子どもの家族の思い (体験)	1) 病気の子どもの持つ家族の思い 2) 療養中の家族の体験 3) 緩和ケア、グリーフケア等	菊原美緒 外部講師
12	子どもの状況 (環境) に特徴づけられる看護1	1) 障がいのある子どもと家族の看護 2) 在宅療養中の子どもと家族の看護1	外部講師
13	子どもの状況 (環境) に特徴づけられる看護2	1) 災害時の子どもと家族の看護 2) 子ども虐待と看護	菊原美緒
14	子どもと家族を取り巻く社会	1) 子どもの福祉と保健に関する制度の基盤 2) 予防接種、子どもの医療などの施策 3) 子ども・子育て支援の新制度と取り組み	菊原美緒 上田恵

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
菊原 美緒、上田 恵				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	小児看護における倫理	1) 小児看護における倫理 2) インフォームドコンセント、インフォームドアセント まとめ	菊原美緒

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
竹元 仁美、寺岡 祥子				講義	講義	

授 業 概 要
リプロダクティブ・ヘルス／ライツおよびウィメンズヘルスの基本的かつ主要な概念を理解し、女性の身体的、心理社会的、文化的側面に着目して女性の生涯にわたる健康支援について学ぶ。また性と生殖のメカニズムとその意義および女性の各ライフステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）における健康の特徴・課題について学び、健康支援に関する看護方法について学修する。また、現代社会における女性の多様なライフコースの選択により派生する健康課題に関して、さまざまな模擬事例を用いて、女性とその家族への看護支援について総合的な視点で考察する。

到 達 目 標
【1】母性機能の発達、母性看護の役割と課題について説明できる。【2】リプロダクティブ・ヘルス／ライツおよびウィメンズ・ヘルスにおける主要概念について説明できる。【3】性差医療、性差にセンシティブな女性の健康を支える医療について説明できる。【4】女性の身体的、心理社会的、文化的側面を考慮し、女性の生涯を通した健康支援について考えを述べることができる。【5】女性の各ライフステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）における健康課題とその看護について説明できる。【6】セクシュアリティ、ジェンダー/セックス、性行動、LGBTQIA+への看護について説明できる。【7】母子保健統計から見た母子の健康問題、課題について説明できる。【8】多様なライフスタイルから派生する健康課題と看護について説明できる。【9】ワークを通して、さまざまな健康課題を持つ女性とその家族への看護について看護専門職としての議論ができる。【10】女性とその家族に対するよりよい健康を創造する発展的な看護について考察し表現できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行う

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（100％）

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院

参 考 図 書
1．ナーシンググラフィカ 母性看護学①概論 リプロダクティブ・ヘルスと看護 MCメディカ出版 最新刊 2．女性看護学 メジカルフレンド社、最新刊 3．助産師基礎教育テキスト第2巻 女性の健康とケア 最新刊 4．佐藤正勝・石村由利子編 ウエルネスからみた母性看護過程 医学書院 最新版 5．太田操 ウエルネス看護診断に基づく母性看護学課程 第3版（最新版） 他

留 意 事 項
母性や女性の健康に関連するトピックについて、日頃から興味関心をもって国内外のニュース等にアクセスし、自分ができる支援について考えて頂きたい。興味・関心・意欲をもって、主体的、自立的な参画を期待している。

オフィスアワー等
昼休み時間、研究室2710

実 務 経 験
助産師として実務経験12年があり、2015年からNP0法人においてリプロダクティブ・ヘルス支援相談員をしている（竹元）。 小児病棟での看護師、および助産師としての実務経験がある（寺岡）。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
竹元 仁美、寺岡 祥子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	科目ガイダンス 女性のライフサイクルにおける女性の健康①	科目ガイダンス 生殖機能・形態の特徴、内分泌環境・性ホルモンと女性の健康課題 性周期と女性の健康、月経と排卵のメカニズムなど基本的知識	竹元仁美 林広典（ゲストスピーカー）
2	女性のライフサイクルにおける女性の健康②	生殖機能・形態の特徴、内分泌環境・性ホルモンと女性の健康課題 性周期と女性の健康、月経と排卵のメカニズム、月経異常・月経随伴症状への医療ケア	林広典（ゲストスピーカー） 竹元仁美／寺岡祥子
3	思春期・成熟期の女性の健康と医療ケア①	思春期の健康課題とケア（予期しない妊娠、性感染症など）、プリコンセプションケア、受胎調節と家族計画、メンタルヘルスケア	林広典（ゲストスピーカー） 竹元仁美／寺岡祥子
4	思春期・成熟期の女性の健康課題と医療ケア②	マタニティサイクル（妊娠・分娩・産褥期）における合併症（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、産褥感染症、メンタルヘルス）への医療ケア	林広典（ゲストスピーカー） 竹元仁美／寺岡祥子
5	成人期における女性の健康課題と医療①	生殖器に関する疾患の診断と治療：子宮筋腫、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、子宮内膜症への医療①	林広典（ゲストスピーカー） 竹元仁美／寺岡祥子
6	成人期における女性の健康課題への看護②	生殖器に関する疾患の診断と治療：子宮筋腫、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、子宮内膜症への看護②	林広典（ゲストスピーカー） 竹元仁美／寺岡祥子
7	更年期・老年期における女性の健康課題と医療①	更年期の女性の性と健康：更年期障害・下部尿路機能障害・うつ病の医療と看護	林広典（ゲストスピーカー） 竹元仁美／寺岡祥子
8	更年期・老年期における女性の健康課題と看護②	老年期の女性の性と健康 子宮脱・骨粗しょう症・脂質異常症・うつ病・萎縮性膣炎の診断・治療と看護	林広典（ゲストスピーカー） 竹元仁美／寺岡祥子
9	母性看護の概念 女性のライフサイクルと生き方 DV、性暴力、子ども虐待へのケア	母性看護、性差に基づく医療の概念と変遷 女性のライフサイクルと生き方、セクシュアル・ハラスメント、セクスティング、性暴力、デートDV／ドメスティック・バイオレンス、子ども虐待への医療と看護	竹元仁美
10	女性の健康に関する社会保障制度、法律・施策	女性とその家族を取り巻く社会環境における現状と課題 女性・母子に関する法律と施策（母子保健法、母体保護法、男女雇用機会均等法、育児介護休業法等）	寺岡祥子
11	ウィメンズ・ヘルス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、セクシュアリティ	ウィメンズ・ヘルス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、エンパワメント、自己決定を支える支援、性分化のメカニズム、セクシュアリティ、性の多様性、LGBTQIA+と看護	竹元仁美
12	母性保健統計	母子保健統計にみる母子保健の現状と課題（日本、海外）	寺岡祥子
13	出生前診断 産む・産まないの選択と意思決定	不妊、卵活・妊活、不妊治療と意思決定を支える医療と看護	寺岡祥子
14	母性看護学における健康教育	包括的セクシュアリティ教育（Comprehensive Sexuality Education）、女性の生涯にわたる生と性に関わる教育／Sexuality Education） 周産期における健康教育、教育スキル	竹元仁美

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
竹元 仁美、寺岡 祥子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	女性とその家族のQOLを高めるウエルネス型看護診断とケア	QOLを高めるウエルネス型看護診断と看護過程の基本的な考え方 Evidence-Based Nursing Practice 科目のまとめ	竹元仁美 寺岡祥子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
齋藤 嘉宏、脇崎 裕子				講義	講義	

授 業 概 要
精神の健康（メンタルヘルス）の概念や心の発達と社会生活における危機的状況について学修し、精神的健康の保持増進と精神障害を持つ人々の歴史や社会的環境について理解する。また、こころの動き（心理学的側面）、心と身体との関連性（生物学的側面）、人々とのつながりの有り様（社会的側面）を基盤とした精神看護の基本的な機能とケアの原則について理解することで、対象の健康の保持・増進に寄与できるように学修する。

到 達 目 標
学生は、本講義を通して以下の点に到達するものとする。 1. 精神の健康と機能および危機的状況を理解し、看護のかかわりを説明できる 2. 精神看護の対象とその看護を説明できる 3. 精神保健医療福祉の歴史から倫理、権利擁護、法律の変遷と看護について説明できる 4. 多様な地域精神保健活動を理解して説明できる 5. 精神障害者の体験を理解し、感じたことを言語化して共有できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
○事前学修：事前課題は該当講義前日までに提出する ○事後学修：講義後は事後課題に取り組み、次の講義前日までに提出する

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
試験（80％）、課題提出（20％）

教 科 書
○系統的看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 武井麻子ら ○系統的看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院 武井麻子ら

参 考 図 書

留 意 事 項
評価として、課題提出が20%を占めています。 事前課題による予習、事後課題による復習を行ってください。

オフィスアワー等
○曜日・時間：火曜日（14時～17時）・金曜日（14時～17時） ○場所：2704齋藤研究室

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、大学病院の精神科での実務経験を活かし、精神保健医療福祉の実態と課題などについて講義を展開する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
齋藤 嘉宏、脇崎 裕子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション 精神看護学の理解	精神看護学の目的、精神看護学の機能、精神看護学を支える技術	齋藤嘉宏 脇崎裕子
2	精神（こころ）の健康①	精神の健康、精神保健の考え方、脳とこころ	齋藤嘉宏 脇崎裕子
3	精神（こころ）の健康②	人間生活と精神機能、身体の健康と精神の健康の関係	齋藤嘉宏 脇崎裕子
4	精神看護のケアの基本	精神看護倫理、家族への対応、心理教育、リエゾン看護	齋藤嘉宏 脇崎裕子
5	精神保健医療福祉の歴史と看護①	精神障害者の処遇と歴史	齋藤嘉宏 脇崎裕子
6	精神保健医療福祉の歴史と看護②	精神保健福祉と関連法規	齋藤嘉宏 脇崎裕子
7	患者－看護師関係の発展	ペプロウ・トラベルビー理論	齋藤嘉宏 脇崎裕子
8	危機的状況と看護の関わり	発達の危機、状況的危機	齋藤嘉宏 脇崎裕子
9	地域精神保健活動①	学校・職場におけるメンタルヘルス	齋藤嘉宏 脇崎裕子
10	地域精神保健活動②	地域におけるメンタルヘルス、ストレングスとリカバリーの概念、多様な地域保健活動A C T	齋藤嘉宏 脇崎裕子
11	精神看護の安全と倫理①	精神科におけるリスクマネジメント	齋藤嘉宏 脇崎裕子
12	精神看護の安全と倫理②	暴力の予防（CVPPP）	齋藤嘉宏 脇崎裕子
13	看護師のメンタルヘルス	感情労働、転移、逆転移	齋藤嘉宏 脇崎裕子
14	災害における精神医療の役割	被災者に対する支援－精神医療における役割、今後の課題－	齋藤嘉宏 脇崎裕子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学概論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
齋藤 嘉宏、脇崎 裕子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	精神障害者の体験を理解する	当事者の語り	ゲストスピーカー

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
社会福祉学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	選択	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
阿部留美子				講義	講義	

授 業 概 要
人間は誕生から死まで生活していくのに、個人や家族の努力だけでは対応できない困難な状況に直面する。そのようなときに最低生活を保障する公的な制度が社会保障制度であるが、それぞれの社会で歴史的に形成されてきた制度であり、その意味は時代や社会によって異なる。本科目では社会福祉の思想、理論、制度、支援などの基礎について学ぶ。また、ヒューマンサービスに携わる者としての倫理と人間の尊厳の尊重を基礎においた生活支援についても学び、地域や医療現場における保健・医療・福祉の連携について考え、実践できるようになるための基礎知識の修得をめざす。

到 達 目 標
1. 現代社会における社会福祉の理念と意義について説明できる 2. 社会福祉の対象とICFの考えに基づいた支援の形態及び方法について説明できる 3. 社会保障と社会福祉サービス体系の概要について説明できる 4. 社会福祉をめぐるわが国および諸外国の動向について説明できる 5. 地域の高齢化および地域包括ケアの必要性について述べることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
定期試験90％、授業の取り組み10％

教 科 書
健康支援と社会保障制度[3]社会保障・社会福祉 医学書院eテキスト

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業中、または授業後

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
社会福祉学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	選択	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
阿部留美子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	社会保障制度	社会保障の概要を体系的に理解し、具体的な保障内容を学ぶ。 教科書：2-11頁	阿部留美子
2	社会福祉の法制度	現在の社会福祉制度の歴史や背景を理解し、社会福祉を実際に担う組織や従事者について学ぶ。 教科書11-26頁	阿部留美子
3	現代社会の変化	わが国の社会保障制度に影響を及ぼす社会や経済の変化を理解する。 教科書28-42頁	阿部留美子
4	社会保障・社会福祉の同行	社会保障・社会福祉の動向について学ぶ。 教科書42-50頁	阿部留美子
5	医療保障①	わが国の医療保障制度の沿革、現在の制度の内容、今後の動向について学ぶ。 教科書52-70頁	阿部留美子
6	社会保障②	高齢者医療制度の内容や保険診療のしくみを理解する。 教科書71-82頁	阿部留美子
7	介護保障	介護保険制度成立の経緯や現在の制度の概要、今後の課題と展望について学ぶ。 教科書84-110頁	阿部留美子
8	所得保障①	所得保障制度のうち、年金保険について学ぶ。 教科書112-127頁	阿部留美子
9	所得保障②	所得保障制度のうち、社会手当、労働保険について学ぶ。 教科書127-137頁	阿部留美子
10	公的扶助	生活保護制度を中人に、現代社会における貧困・低所得問題に対応する公的扶助制度を学ぶ。 教科書140-158頁	阿部留美子
11	社会福祉の分野とサービス①	高齢者福祉の施策について学ぶ。 教科書160-167頁	阿部留美子
12	社会福祉の分野とサービス②	障害者福祉の理念や障害者福祉制度の歴史的展開について学ぶ。 教科書167-190頁	阿部留美子
13	社会福祉の分野とサービス③	児童家庭福祉の理念や施策について学ぶ。 教科書190-210頁	阿部留美子
14	社会福祉実践と医療・看護	社会福祉援助技術と職種間での連携の重要について学ぶ。 教科書212-251頁	阿部留美子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
社会福祉学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	選択	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
阿部留美子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	社会福祉の歴史	現代の社会福祉施策を本質的に理解するため、社会福祉の歴史について学ぶ。 教科書254-274頁	阿部留美子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
保健医療福祉制度論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	選択	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
鎌田 厚志				講義		

授 業 概 要
医療福祉分野の専門職として知っておくべき基本的な法令の概要とその役割について学ぶ。また、我が国における国民の健康維持・増進に寄与する各種法令と社会資源について学び、医療を取り巻く現状の諸問題や将来展望について理解する。

到 達 目 標
1. 因療福祉に関係する法令の名称を挙げ、その概要について説明することができる 2. 自身が目指す資格（職種）に関係する法令の名称を挙げ、その概要について説明することができる 3. 国民の健康のために各種法令が果たす役割について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨む 事後学習：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める

対 応 D P

評 価
定期試験（100%）

教 科 書
1. 府川哲夫・磯部文雄（著）『保健医療福祉行政論〔第三版〕』ミネルヴァ書房、2025年2月刊 2. 配布資料

参 考 図 書
系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問は、授業の前後に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
保健医療福祉制度論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	選択	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
鎌田 厚志				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	法の概念 衛生法	法の概念、衛生法、厚生労働行政のしくみについて	鎌田厚志
2	医療サービス①	医療保険制度の概要	鎌田厚志
3	医療サービス②	診療報酬、医療保険の実施体制	鎌田厚志
4	医療サービス③	医療提供体制 医療提供の状況 地域医療構想などについて	鎌田厚志
5	医療サービス④	高齢者医療 後期高齢者医療制度 日本医療サービスの特徴と課題	鎌田厚志
6	介護サービス①	介護保険成立の事情 介護保険制度の概要	鎌田厚志
7	介護サービス②	介護提供体制 介護マンパワー 現行介護提供体制の課題	鎌田厚志
8	社会福祉サービス①	社会福祉制度の歴史 福祉行政の実施体制	鎌田厚志
9	社会福祉サービス②	生活保護制度の歴史 生活保護制度の実態	鎌田厚志
10	社会福祉サービス③	高齢者福祉と制度 主な高齢者福祉サービス	鎌田厚志
11	社会福祉サービス④	障害者福祉 障害者総合支援法	鎌田厚志
12	社会福祉サービス⑤	児童家庭福祉 母子・寡婦福祉	鎌田厚志
13	社会福祉サービス⑥	地域福祉 社会福祉法 福祉事務所	鎌田厚志
14	保健医療福祉財政	国の保健医療福祉予算 日本の社会保障の規模	鎌田厚志

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
保健医療福祉制度論	2026年度	看護学科	2単位	30時間	選択	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
鎌田 厚志				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	環境法、労働法	環境基本法 労働基準法 まとめ	鎌田厚志

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
公衆衛生学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
吉田 大悟、石田 有紀				講義	演習	

授 業 概 要
医学・医療を通して疾病予防や健康増進を図るために必要な公衆衛生学の基礎知識について学ぶとともに、代表的な保健活動（環境保健・母子保健・学校保健・産業保健・高齢者保健・精神保健・国際保健）の概要を理解し、個人または社会における保健医療福祉を多面的視点で捉える。

到 達 目 標
1. 公衆衛生の理解に必要な基礎知識について説明することができる 2. 様々な対象の保健概要について説明することができる 3. 保健医療制度の概要について説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと 事後学習：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

対応DP
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。

評 価
定期試験（100%）

教 科 書
1. 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度② 公衆衛生学 医学書院 2. 国民衛生の動向2023/2024 厚生労働統計協会

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業終了後

実 務 経 験

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
公衆衛生学		2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
吉田 大悟、石田 有紀					講義	演習	
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	公衆衛生とは	ガイダンス 公衆衛生とは何か、公衆衛生の歴史・理念			吉田大悟		
2	公衆衛生の仕組み	日本の公衆衛生システムの特徴および国と地方自治体の役割、保健師の活動			吉田大悟		
3	産業保健	職場における健康、職場における健康を守る仕組み、産業保健活動について			石田有紀		
4	健康危機管理、災害保健	わが国の健康危機管理体制、災害の定義と保健活動			石田有紀		
5	母子保健	母子保健の活動理念と仕組み、行政施策、現代の子どもに関する問題			寒水章納		
6	高齢者保健	高齢者保健の活動理念、高齢化の現状と対策、介護保険法			寒水章納		
7	疫学	疫学とは、疫学研究の手法、エビデンスと因果関係			吉田大悟		
8	保健統計	保健統計指標の種類と特徴、保健統計指標の活用			吉田大悟		
9	成人保健、歯科保健	成人保健の意義と目的、成人の健康問題と課題、生活習慣病対策、成人保健活動（栄養・運動・喫煙・がん等）、歯科保健について			寒水章納		
10	環境保健	環境と健康、地球環境と健康、身の回りの環境と健康、日本の環境行政			寒水章納		
11	障害者保健、難病保健	精神保健福祉の目的・意義 システム・制度、主な対象の特徴と活動			石田有紀		
12	精神保健	精神保健福祉の目的・意義 システム・制度、主な対象の特徴と活動			石田有紀		
13	感染症	感染症とは、感染症の種類とその対策、感染症予防対策			寒水章納		
14	学校保健	学校保健の仕組み、児童生徒の健康課題と健康管理、健康管理対策			寒水章納		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
公衆衛生学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
吉田 大悟、石田 有紀				講義	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	公衆衛生学まとめ	吉田大悟

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅲ（専門職連携における尊重）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岡 真一郎、松井 聡子、佐々木 孝、大村 由紀美、西原 かおり、野村 あす美、間山 一枝、野田 佳奈恵、齊藤 貴文、北村 匡大、濱地 望、野中 嘉代子、澤田 誠、松本 典久、岡本 伸弘、江口 喜久雄、角田 孝行、山根 伸吾、谷川 良博、太田 研吾、川崎 一平、脇崎 裕子、上田 恵				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション	コースガイダンス（授業概要、到達目標、評価方法、グループ編成、スケジュール、指定事例の提示）	岡 科目担当全教員
2	事例検討	＜グループワーク＞ 各職種の紹介（自職種の役割、これまで学んだこと、実習の経験）の共有、事例の疾患、健康状態（症状、障害）、主訴のアセスメントと問題点の整理、事例検討の振り返り	科目担当全教員
3	事例検討	＜グループワーク＞ 事例のニーズの確認、各職種の目標を設定、チーム目標の提案	科目担当全教員
4	事例検討	＜グループワーク＞ 事例のニーズの確認、各職種の目標を設定、チーム目標の提案 事例検討の振り返り	科目担当全教員
5	事例検討	＜グループワーク＞ 各専門領域における専門用語の共通理解、チームの目標設定と自職種の目標設定	科目担当全教員
6	事例検討	＜グループワーク＞ 各専門領域における専門用語の共通理解、チームの目標設定と自職種の目標設定 事例検討の振り返り	科目担当全教員
7	事例検討	＜グループワーク＞ 職種間で連携した治療・ケアプランの作成	科目担当全教員
8	事例検討	＜グループワーク＞ 職種間で連携した治療・ケアプランの作成 事例検討の振り返り	科目担当全教員
9	中間報告	＜グループワーク＞ 中間報告の準備	科目担当全教員
10	中間報告	中間報告 リフレクション	科目担当全教員
11	全体報告会準備	＜グループワーク＞ 全体報告会（プレゼンテーション）の準備	科目担当全教員
12	全体報告会準備	＜グループワーク＞ 全体報告会（プレゼンテーション）の準備	科目担当全教員
13	全体報告会	全体報告会（プレゼンテーション）の予選	科目担当全教員
14	全体報告会	全体報告会（プレゼンテーション）の投票による本選発表（5事例）	科目担当全教員

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅲ（専門職連携における尊重）		2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
岡 真一郎、松井 聡子、佐々木 孝、大村 由紀美、西原 かおり、野村 あす美、間山 一枝、野田 佳奈恵、齊藤 貴文、北村 匡大、濱地 望、野中 嘉代子、澤田 誠、松本 典久、岡本 伸弘、江口 喜久雄、角田 孝行、山根 伸吾、谷川 良博、太田 研吾、川崎 一平、脇崎 裕子、上田 恵					演習	演習	
回数	単 元	内 容				担当教員	
15	全体報告会	リフレクション				科目担当全教員	

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				演習	演習	

授 業 概 要
人々の健康は、地域の文化や慣習、地理や交通、政治や経済、社会資源の状況といった人々を取り巻く環境の影響を受ける。この科目では、地域の人々の健康の維持・増進を支援するために地域はどのような人々で構成され、どのような生活条件の中で生活をしているのか、人々の生活実態と地域の健康問題との関連を検討し、地域の健康課題の解決へ向け看護職としてどのような働きかけを行うことが必要かを学修する。具体的には、大学近隣校区の人口統計など既存資料から分析し、地区の概況をとらえた後、地区踏査を行う。さらに、地域の住民組織の代表者にインタビューを行い、住民組織の活動を知るとともに住民組織活動から見える住民の健康生活の特徴や課題について把握し、地域の健康問題の解決方法について学修する。そして、地域の健康課題を捉える視点を育成し、看護職として地域の人々の健康の維持・増進、QOLの向上を目指した行動ができることを目指していく。

到 達 目 標
1. 地域看護活動を展開する上で特に必要となる技術について説明することができる。 2. コミュニケーション技術を駆使して必要な情報収集を行い、対象者のニーズを把握することができる。 3. 地域で暮らす人々の行動を理解するために必要な保健行動と行動変容理論について知ることができる。 4. 地域で暮らす人々の健康づくりを支援するために必要なヘルスプロモーションの概念、理論モデルを知ることができる。 5. 対象者が行動変容を行うために必要となる知識をプレゼンテーション技術を用いてわかりやすく説明することができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
小テスト（30％）、課題レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）、講義の学び・感想（10％）、演習への参加態度（10％）

教 科 書
1. 河原加代子，系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 第6版【電子版】，医学書院，2026. 2. 河原加代子，系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践 第6版【電子版】，医学書院，2026.

参 考 図 書
1. 国民衛生の動向2025/2026 一般社団法人厚生労働統計協会，2025 2. 神馬征峰，系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生 第14版【電子版】，医学書院，2026. 3. 岸恵美子・大木幸子，地域・在宅看護 看護判断のための気づきとアセスメント，中央法規出版株式会社，2022.

留 意 事 項
演習はグループでの活動が大部分を占めます。このため遅刻欠席をするとグループメンバーに迷惑をかけることになります。ロールプレイを用いた技術演習、健康教育のプレゼンテーション時の欠席は減点となりますので気を付けてください。

オフィスアワー等
金曜日（12時～13時）池田研究室（2号館7階2717室）

実 務 経 験
地域住民の健康づくり支援を行う保健師として約7年保健所・保健センターにて勤務経験あり。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	地域で暮らす人々の健康と生活を支援する技術	・授業ガイダンス ・地域看護活動と対象者を支援する技術 ・健康教育のテーマと今後の演習内容について	池田敏子
2	保健行動とヘルスプロモーション①	・保健行動の理解とヘルスプロモーション（講義） ・ヘルスビリーフモデルとトランスセオレティカルモデル	池田敏子
3	保健行動とヘルスプロモーション②	・プリシード・プロシードモデルを用いた事例紹介 ・事例分析（個人、グループ） ・対象者の健康課題の解決と健康教育（講義）	池田敏子
4	地域で健康に暮らすことを支える技術 地域づくり①	・地域で健康に安心・安全な生活をおくるための地域づくり ・地域づくりの担い手としての看護職（講義）	池田敏子
5	地域で健康に暮らすことを支える技術 地域づくり	・取り組み事例と求められる技術（講義） ・小テスト（1～5回までのふり回り）	池田敏子
6	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習①	・健康教育計画①-1 ・健康教育のテーマに関する知識、対象理解（講義） ・対象理解と健康教育のテーマに関連する知識の整理（個人）	池田敏子
7	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習②	・健康教育計画①-2 ・対象理解と健康教育のテーマに関連する知識の整理（グループ）	池田敏子
8	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習③	・健康教育計画②-1 ・健康教育の種類と方法（講義） ・企画書と原稿の作成（個人）	池田敏子
9	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習④	・健康教育計画②-2 ・企画書と原稿の作成（グループ）	池田敏子
10	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習⑤	・媒体づくり（グループワーク） ・デモンストレーションとシナリオ・媒体の修正（演習）	池田敏子
11	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習⑥	・媒体づくり（グループワーク） ・デモンストレーションとシナリオ・媒体の修正（演習）	池田敏子
12	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習⑦	・プレゼンテーション技術演習（ロールプレイ）	池田敏子
13	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習⑧	・プレゼンテーション技術演習（ロールプレイ） ・ふり回り	池田敏子
14	地域で健康に暮らすことを支える技術 健康教育演習⑨	・健康教育の振り返りとシナリオ、媒体の修正	池田敏子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	地域看護学演習まとめ	・講義のまとめ	池田敏子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				演習	演習	

授 業 概 要
在宅看護は健康問題や障害を抱えながら在宅で生活している人々と家族が、その人らしく生活を送ることができるように支援をすることである。そのためには対象とする人々を身体的・精神的・社会的側面からとらえ、発生しやすい健康課題に向き合い、家族も含めてどのような健康な生活を望むのか相談しながら、資源を活用しあるいは多職種と協働しながら看護することが必要となる。事例を通してシミュレーションで訪問看護に必要な倫理的側面や問題解決能力を養う。また関係職種との連携・チームケアについて学修する。

到 達 目 標
1. 在宅看護を必要とする人々を身体的・精神的・社会的側面から理解できる 2. アセスメントを通して生活課題を見出し、在宅療養者と家族が自立できるような具体策を提示できる 3. 療養者や家族に対して倫理的配慮について説明できる 4. 多職種と連携する必要性について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
筆記試験（80％）、課題レポート（20％）

教 科 書
医学書院 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論Ⅰ 医学書院 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論Ⅱ

参 考 図 書
1. ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア メディカ出版 2. 在宅看護技術 メヂカルフレンド社 3. 基礎看護技術 メヂカルフレンド社 4. よくわかる在宅看護 学研 5. 訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル 第3版 日本看護協会出版会

留 意 事 項

オフィスアワー等
水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	訪問看護ステーションとは	授業ガイダンス 訪問看護ステーションとは 在宅における看護師の役割とあり方 事例展開の方法：情報収集の方法（復習）	馬場みちえ
2	在宅における慢性心不全患者の看護①	慢性心不全の疾患を通じた訪問看護に必要なヘルスアセスメントと自立支援、リハビリ	間山一枝 馬場みちえ
3	在宅における慢性心不全患者の看護②	ゴードンに沿ったアセスメント～関連図	間山一枝 馬場みちえ
4	在宅看護におけるシミュレーション準備	在宅場面で必要な臨床判断の講義とシミュレーション説明	馬場みちえ 間山一枝
5	臨床判断シミュレーション①	在宅で暮らす心不全患者想定し、臨床判断シミュレーション	馬場みちえ 間山一枝
6	臨床判断シミュレーション②	在宅で暮らす心不全患者想定し、臨床判断シミュレーション	馬場みちえ 間山一枝
7	グループワーク振り返り	振り返り アセメント～関連図、看護計画への導入	馬場みちえ 間山一枝
8	在宅看護と主な医療的ケア（消化器系、腎臓系）	在宅における胃瘻、内服薬注入、中心静脈栄養、ストマ（大腸、膀胱含む）の管理と工夫 人工透析、腹膜透析	間山一枝 馬場みちえ
9	在宅看護と主な医療的ケア（バイタルサイン、呼吸器系、皮膚トラブル）	在宅におけるHOT、人工呼吸器、吸引等の管理と工夫 褥瘡等皮膚トラブル	間山一枝 馬場みちえ
10	在宅看護と感染予防、災害対策	在宅療養者がかかりやすい感染症、在宅で療養する人のための災害対策と工夫	馬場みちえ
11	在宅看護での社会資源活用：介護保険と医療保険	在宅で療養者が利用できる介護保険および医療保険	馬場みちえ
12	在宅看護での介護保険と医療保険 ケアプランの立て方	ケアプランのシミュレーション演習	馬場みちえ
13	在宅看護と教育的援助：服薬管理	服薬管理の講義と演習、（事例展開の演習）	馬場みちえ
14	在宅における慢性心不全患者の看護③	事例展開の演習；関連図の発表 情報、アセスメント、看護計画、および多職種連携	馬場みちえ 間山一枝

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	在宅看護におけるエンドオブライフケア・看取り・グリーフケア	がん、看取り、エンドライフケア、動向、経過、症状、看取り期に退院、看護師の役割と機能	馬場みちえ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、大水 あずさ、別城 佐和子、岡田 純也				演習	講義演習	

授 業 概 要
成人看護学概論、成人看護学慢性期援助論の学修と関連させながら、慢性の経過をたどる健康障害の慢性期(回復期を含む)の健康障害や機能障害を有する対象及びその家族の特徴をふまえ、健康障害を持つ対象や家族に対する看護援助のスキルを学ぶ。ここでは呼吸機能障害、代謝機能障害、運動機能障害の事例から、健康障害を持つ人とその家族の援助に必要な援助技術について、看護の思考過程にそってシミュレーションを用いながら臨地に即した状況で具体的に学修する。

到 達 目 標
1. 慢性期にある対象者の健康問題とそれが及ぼす身体的・精神的・社会的側面への影響について説明できる 2. 慢性期にある対象者及び家族に対する看護について根拠を示して説明できる 3. 慢性期にある対象者への看護の思考プロセスとスキルを修得する 4. 慢性期にある対象者及び家族に対する倫理的側面を説明できる 5. 慢性期にある対象者及び家族にセルフマネージメントを促す援助について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各単元に関する教科書の該当部分を予習する。提示された事前課題に取り組み、講義演習前に提出すること。 事後学修：単元ごとに疑問点を明らかにし、自ら学修し解決する。提示された事後課題に取り組み、提出すること。

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（70％）、課題レポート・提出物・態度の（30％）とし、60点以上を合格とする。

教 科 書
1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学①～⑯ 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 3. M. ゴードン：アセスメント覚え書きゴードン機能別健康パターンと看護診断 医学書院

参 考 図 書
各回で提示する。

留 意 事 項
・定期試験欠格要件：科目の全講義時間の1／3を超える欠席。 ・カードリーダーとは別に講義・演習中に出席を確認する。

オフィスアワー等
教員の在室時随時対応する。また、メールやコメントシートへの記載でも可。

実 務 経 験
担当教員全員が臨床での看護師としての実務経験を持つ。

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期演習		2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、大水 あずさ、別城 佐和子、岡田 純也					演習	講義演習	
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	成人看護学慢性期演習コースガイド	科目のスケジュールと内容について 演習の事前事後学習について			梅木彰子		
2	慢性疾患のある患者への援助	講義：慢性疾患患者のセルフマネジメント支援			別城佐和子		
3	慢性疾患のある患者への援助（演習）	演習A：インスリン自己注射・血糖自己測定の実践トレーニング ※第3, 4回はグループに分かれてローテーションで行う			別城、岡田、島村、梅木、 宮本、大水、大園、久保田		
4	慢性疾患のある患者への援助（演習）	演習B：消化器ストマのある患者のセルフマネジメント支援 ※第3, 4回はグループに分かれてローテーションで行う			別城、岡田、島村、梅木、 宮本、大水、大園、久保田		
5	呼吸機能障害のある患者の看護	講義：呼吸器疾患患者の看護			梅木彰子		
6	第7・8回シミュレーション演習事前準備	演習：グループワーク			梅木彰子		
7	シミュレーション演習	演習C：シチュエーション・ベースド・シミュレーション			梅木、岡田、島村、宮本、 別城、大水、大園、久保田		
8	シミュレーション演習	演習C：シチュエーション・ベースド・シミュレーション			梅木、岡田、島村、宮本、 別城、大水、大園、久保田		
9	第7・8回シミュレーション演習振り返り	演習Cの振り返り			梅木彰子		
10	透析療法を受ける患者の看護	講義：透析療法が必要な患者の看護			別城佐和子		
11	慢性疾患患者の看護と思考プロセス	講義：看護過程と臨床判断			梅木彰子		
12	肝機能障害のある患者の看護	講義：肝機能障害のある患者の看護			島村美香		
13	運動機能障害のある患者の看護	講義：運動器疾患患者の看護			梅木彰子		
14	循環機能障害のある患者の看護	講義：循環器疾患患者の看護			宮本毅治		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、大水 あずさ、別城 佐和子、岡田 純也				演習	講義演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	看護記録の書き方	講義：SOAP記録の書き方 まとめ	島村美香

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学急性期演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、別城 佐和子				演習	演習	

授 業 概 要
周手術期の看護を中心に、手術侵襲からの回復を促す援助に対する看護について学修する。成人急性期援助論で修得した知識を活用して、事例を用いて看護過程展開を行い、対象の健康回復に必要な知識および状況に応じた援助方法及び家族に対する看護について学修する。また、急性の状況にある対象者へ看護援助を行うための基本的技術を修得する。看護の思考過程にそってシミュレーションを用いながら臨地に即した状況で具体的に学修する。

到 達 目 標
1. 急性期にある対象者の健康問題とそれが及ぼす身体的・精神的・社会的側面への影響について説明できる 2. 急性期にある対象者及び家族に対する看護について根拠を示して説明できる 3. 急性期にある対象者への看護の思考プロセスとスキルを修得する 4. 急性期にある対象者及び家族に対する倫理的側面を説明できる 5. 急性期にある対象者及び家族に侵襲からの回復を促す援助について実践できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
①事前学修：各単元に関する教科書の該当部分を予習する。事前課題として小テストを実施する。 ②事後学修：単元ごとに疑問点などを明らかにし、自ら学修し解決する。事後課題として小テストを実施する。 ③事前・事後のテストの成績は成績に関連する（詳細は評価の項目参照）。

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
定期試験（70％）／事前・事後テスト（10％）／演習課題（10％）／演習・授業態度（10％）で評価する。 演習・授業態度が悪かった場合は0～－10までの間でその都度減点する。

教 科 書
●医学書院eテキスト：専門分野 「臨床看護学総論」「成人看護学総論」「成人看護学2：呼吸器」「成人看護学5：消化器」「成人看護学7：脳神経」「成人看護学：●医学書院eテキスト：系統看護学講座「別巻：臨床外科看護総論」「別巻：臨床外科看護総論」「別巻 クリティカルケア看護」

参 考 図 書
・EVO教材丸善出版「Educational Video Online：臨床看護技術シリーズ」 ・Medi-EYE（模擬電子カルテ） ・その他講義中に適宜提示する。

留 意 事 項
・定期試験欠格要件：科目の全講義時間の1／3を超える欠席・原則カードリーダーによる出席確認とする。・カードリーダーとは別に講義・演習中に出席を確認することがある。

オフィスアワー等
・時間：水曜日（16時～18時） ・2号館2716研究室

実 務 経 験
本科目の担当する教員は、臨床現場における看護活動の実務経験を活かして講義・演習を展開する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学急性期演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、別城 佐和子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	コースガイド	演習説明 講義：侵襲と術後合併症	宮本毅治
2	消化器の手術を受ける患者の看護	講義：胃切除術を受ける患者の看護	宮本毅治
3	周術期の看護過程①	講義：周術期の看護過程① 演習：看護過程①情報の分類/アセスメント	宮本毅治 梅木彰子
4	周術期の看護過程②	講義：手術期の看護過程② 演習：看護過程②アセスメント/関連図	宮本毅治 梅木彰子
5	周術期演習①	講義：エコーの原理と使い方 演習：演習内容の説明	別城佐和子 宮本毅治
6	周術期の看護過程③	<周術期演習> 演習：術後の観察（個人ワーク＋グループワーク）	宮本毅治 梅木彰子
7	周術期演習②	<周術期演習> 演習A：エコーの演習 演習B：術後の観察シミュレーション 演習C：看護過程	宮本毅治、梅木彰子、島村美香、別城佐和子、大水あずさ、大園久美子、久保田多見子
8	周術期演習③	<周術期演習> 演習A：エコーの演習 演習B：術後の観察シミュレーション 演習C：看護過程	宮本毅治、梅木彰子、島村美香、別城佐和子、大水あずさ、大園久美子、久保田多見子
9		講義：手術期の看護過程③ 演習：看護過程③関連図	宮本毅治 梅木彰子
10	周術期の看護過程④	講義：手術期の看護過程④ 演習：看護過程④関連図/看護問題	宮本毅治 梅木彰子
11	周術期の看護過程⑤	看護過程⑤看護問題/看護計画 グループ発表	宮本毅治 梅木彰子
12	手術を受ける患者の看護①	性・生殖器の手術を受ける患者の看護/ボディイメージ変化を受ける患者の看護	島村美香
13	手術を受ける患者の看護②	循環器の手術を受ける患者の看護	宮本毅治
14	手術を受ける患者の看護③	運動器の手術を受ける患者の看護	宮本毅治

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学急性期演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、別城 佐和子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	まとめ	宮本毅治

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
終末期看護論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岡田純也				講義	講義	

授 業 概 要
我が国はこれまでにない多死社会を迎えている。医療機関や施設あるいは居宅においてさまざまな状況にある人々がどのような最期を迎えるか、誰がどのように終末期にある対象に対して自分らしく生きることを支援していくかは大きな課題である。成人看護学概論での学修と関連させながら、終末期にある対象や家族の看護について看護職者は対象の意思決定にどのように関わり、支援したらよいのかエンドオブライフにおける生命倫理やケアに活かす理論など、根拠に基づく看護実践に取り組めるように学修する。

到 達 目 標
1．終末期における日本人の死のとらえかたについて説明できる。 2．死の受容理論を説明できる。 3．患者の意思決定支援について説明できる。 4．臨死期の身体的ケアについて説明できる。 5．グリーフケアについて説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む。 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする。

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（定期試験90％）、授業への参加状況（コメントシートの提出）10％

教 科 書
系統看護学講座 別巻 緩和ケア（第2版） 医学書院

参 考 図 書
適宜紹介する。

留 意 事 項
毎回、講義終了後にコメントシートを提出。事前学修では、関連動画の視聴やテキスト等の該当ページを熟読するとともに理解できない箇所を明確にする。事後学修では、学習した内容を整理し、理解を深める。

オフィスアワー等
講義終了後、受け付ける。また、メールやコメントシートへの記載でも可。

実 務 経 験
本科目は臨床看護師としての十分な実務経験のある実務家教員による科目である。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
終末期看護論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岡田純也				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス 終末期とは	終末期とは、日本における終末期医療、諸外国の終末期医療	岡田純也
2	終末期ケアにおける生命倫理と意思決定支援	日本人の死のとらえ方、終末期医療における生命倫理 患者の意思決定支援、事前指示書、アドバンスケアプランニング	島村美香
3	終末期ケアに活かす理論	死の受容理論、ソーシャルサポートシステム	岡田純也
4	終末期患者の環境	終末期患者の環境、病棟、自宅、ホスピス	岡田純也
5	終末期ケアの看護の実際 1	トータルペイン、補完代替療法	緩和ケア認定看護師
6	終末期ケアの看護の実際 2	スピリチュアリティ	緩和ケア認定看護師
7	終末期ケアの看護の実際 3	臨死期の身体的ケア、エンゼルケア、グリーフケア	緩和ケア認定看護師
8	まとめ	授業のまとめ	緩和ケア認定看護師

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
がん看護学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岡田純也 成清優子				講義	講義	

授 業 概 要
国民全体の2人に1人が、がん疾患で死亡することから現代の国民病とも言われ、社会におけるがん看護のニーズとその重要性が高まっている。病理学・放射線医学などの既習の内容と関連させながら、がんの疫学、予防、診断・治療の基礎的知識と緩和ケアの最新の動向を理解する。診断・治療の段階における倫理的課題を知り、がんの進行による経過の特徴を全人的苦痛（身体的・精神的・社会的・スピリチュアル）の視点で理解し、対象の自己決定権を尊重しその人らしく生活するための支援について学修する。

到 達 目 標
1. がん医療の動向と疫学からみたがんの特徴を説明できる 2. がんの治療を受ける患者・家族の看護について説明できる 3. がんのリハビリテーションの必要性について説明できる 4. がん看護における倫理問題について理解できる 5. がんとともに生きる患者・家族が抱える問題について理解できる 6. 対象が治療を継続しながらその人らしく生活するための資源の活用と必要な援助について説明できる 7. 緩和ケアの定義と患者と家族の QOL の支援について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む。 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする。

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。

評 価
筆記試験（定期試験90％）、授業への参加状況（コメントシートの提出）10％

教 科 書
系統看護学講座　がん看護学 医学書院

参 考 図 書
適宜紹介する。

留 意 事 項
毎回、講義終了後にコメントシートを提出。事前学修では、関連動画の視聴やテキスト等の該当ページを熟読するとともに理解できない箇所を明確にする。事後学修では、学習した内容を整理し、理解を深める。

オフィスアワー等
講義終了後、受け付ける。また、メールやコメントシートへの記載でも可

実 務 経 験
本科目は臨床看護師としての十分な実務経験のある実務家教員による科目である。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
がん看護学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岡田純也 成清優子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス がんの動向とがん看護の概要	授業ガイダンス がん看護の歩み がんの疫学データ がん医療が直面する課題と施策 予防と早期発見 、がん医療・看護の現状と動向、がん看護における看護師の役割 がん看護における倫理的配慮（告知・意思決定・ インフォームド Consent）	岡田純也
2	がんの治療を受ける患者・家族の看護	抗がん剤治療を受ける患者（がん薬物療法含む）・家族の看護、	がん薬物療法看護師
3	がんの治療を受ける患者・家族の看護	手術療法を受ける患者・家族の看護 放射線療法を受ける患者・家族の看護、 がんリハビリテーション	岡田純也
4	がんサバイバーシップ・がん患者・家族の心理	がんサバイバーと家族がたどる段階 がんとともに生きる患者・家族の心理問題	島村美香
5	症状マネジメント	症状マネジメントの統合的アプローチ（IASM）：全人的苦痛（トータルペイン）	成清優子
6	早期からの緩和ケア	緩和ケアの定義： 緩和ケア病棟における看護の役割 患者・家族の QOL の支援	成清優子
7	在宅におけるがん看護	在宅への退院計画、在宅ケアチームにおける訪問看護師の役割 家族へのケア・社会資源の活用	成清優子
8	まとめ	授業の振り返り がんと共に生きる人々の包括的支援	成清優子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岩倉 真由美、久木原 博子、喜多 麻衣子、佐々木 孝				演習	講義・演習	

授 業 概 要
高齢者体験を通して加齢による変化と行動の関係を具体的に学ぶ。その上で、多様で複雑な健康問題を持ちながら日常生活を送る高齢者への看護ケアのあり方や、療養生活を送る高齢者の残存機能を活かした活動と休息・移動・食事・排泄・清潔などの生活援助技術、安全に療養できる環境を整える技術、高齢者に対するヘルスアセスメント技術、回想法によって、高齢者の個別性を尊重した効果的な看護を提供するための知識と技術を修得する。また、事例を用いて高齢者とその人を支える家族や支援者を対象とした適切な看護過程を展開する能力を修得する。

到 達 目 標
1. 高齢者の身体的加齢変化を理解し説明できる 2. 高齢者を対象とした回想法の必要性を理解し実施できる 3. 高齢者の歩行・移動を支える看護技術の基本を理解し実施できる 4. 高齢者の食生活や摂食嚥下障害を支える看護技術の基本を理解し実施できる 5. 高齢者の排泄を支える看護技術の基本を理解し実施できる 6. 高齢者を対象としたヘルスアセスメント技術を理解し実施できる 7. 高齢者のリスクマネジメントの基本を理解し実施できる 8. 高齢者を対象とした（家族や支援者を含む）看護過程を展開できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各単元についての予習、事前課題に取り組む 事後学修：各単元についての知識、技術の復習をする

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
筆記試験（50％）、課題レポート（50％）

教 科 書
1. 北川公子、他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第10版 医学書院 2025年 2. リンダ J. カルペニート著「看護診断ハンドブック」医学書院

参 考 図 書
鳥羽研二、他「系統看護学講座老年看護 病態・疾患論」第6版 医学書院 2025年

留 意 事 項
各論実習前の重要な科目です。演習は必ず出席することが必要です。

オフィスアワー等
岩倉：m.iwakura@kyoju.ac.jp（水曜日10時～13時） 喜多：m.kita@kyoju.ac.jp（水曜日10時～13時） 佐々木：ko.sasaki@kyoju.ac.jp(水曜日10時～13時) 久木原：h.kukihara@kyoju.ac.jp（水曜日10時～13時）

実 務 経 験
本授業の担当教員は、大学病院、その他の医療機関での看護の経験が豊富である。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岩倉 真由美、久木原 博子、喜多 麻衣子、佐々木 孝				演習	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション 回想法	コースオリエンテーション 回想法について	岩倉 喜多、佐々木、久木原
2	高齢者体験	高齢者体験（講義）	喜多、岩倉、久木原、佐々木
3	高齢者体験	高齢者体験（演習）	喜多、岩倉、久木原、佐々木
4	歩行・移動を支える看護技術	体位変換、車椅子移乗、車椅子による移動支援、杖歩行（講義）	佐々木、岩倉、喜多、久木原
5	歩行・移動を支える看護技術	体位変換、車椅子移乗、車椅子による移動支援、杖歩行（演習）	佐々木、岩倉、喜多、久木原
6	食生活を支える看護技術	栄養のアセスメント、摂食・嚥下機能評価、食事に関する健康問題と看護ケア（講義・演習）	岩倉、喜多、佐々木、久木原
7	摂食嚥下障害を支える看護技術	嚥下機能評価、嚥下体操、トロミ食と介助（演習）	岩倉、喜多、佐々木、久木原
8	排泄を支える看護技術	排泄機能のアセスメント、排泄に関する健康問題と看護ケア（講義・演習）	喜多、岩倉、佐々木、久木原
9	ヘルスアセスメント	認知機能、神経系、運動器系（講義）	佐々木、岩倉、喜多、久木原
10	ヘルスアセスメント	認知機能、神経系、運動器系（演習）	佐々木、岩倉、喜多、久木原
11	高齢者のリスクマネジメント	高齢者と医療安全、KYT	喜多、岩倉、佐々木、久木原
12	高齢者を対象とした看護過程の展開 1	高齢者の事例を用いた看護過程の展開（看護診断について・事例）（演習）	岩倉、喜多、久木原、佐々木
13	高齢者を対象とした看護過程の展開 2	高齢者の事例を用いた看護過程の展開（情報の整理・アセスメント・看護計画）（演習）	岩倉、久木原、喜多、佐々木
14	高齢者を対象とした看護過程の展開 3	高齢者の事例を用いた看護過程の展開（介入と評価、記録）（演習）	岩倉、久木原、喜多、佐々木

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岩倉 真由美、久木原 博子、喜多 麻衣子、佐々木 孝				演習	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	高齢者を対象とした看護過程の展開4・まとめ	高齢者の事例を用いた看護過程の展開（発表）、まとめ	岩倉、久木原、喜多、佐々木

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
認知症看護論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子、佐々木 孝				講義	講義	

授 業 概 要
認知症者および介護家族へのケアおよび保健医療福祉サービスについての今日の課題について理解を深める。また、認知症の診断や予防を含めた治療の理解、偏見による影響、人権尊重のあり方、個別性を尊重したケアのあり方、介護家族へのケアのあり方などについて理解を深め課題の解決策を探究する基礎能力を修得する。さらに、認知症者を取り巻く多職種連携、地域包括ケアシステムについても学修する。

到 達 目 標
1．認知症者と介護家族への保健医療福祉サービスの今日の課題について理解する 2．認知症の診断と治療および認知症予防のケアについて理解し説明できる 3．認知症者の心理とニーズについて理解し説明できる 4．認知症者のアセスメントについて理解し説明できる 5．パーソンセンタードケアについて理解し説明できる 6．個人の尊厳を尊重し生活の質向上を目指した認知症者へのケア方法について理解し説明できる 7．認知症者の家族介護者のケアについて理解し説明できる 8．認知症者と家族を支援する地域包括ケアシステムについて理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：単元の内容について教科書、参考図書、資料から予習し、事前課題に取り組む 事後学修：授業の内容について復習する

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。

評 価
定期試験80％、レポート20％

教 科 書
1．北川公子、他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第10版 医学書院 2026年、ISBN：978-4-260-03186-8 2．鳥羽研二、他「系統看護学講座老年看護 病態・疾患論」第6版 医学書院 2026年、ISBN：978-4-260-03172-1

参 考 図 書
1．トム・キットウッド著 認知症のパーソン・センタード・ケア、クリエイツかもがわ 2．ドーン・ブルッカー著 V I P Sで進めるパーソン・センタード・ケア、クリエイツかもがわ 3．六角遼子他著 看護師のための認知症のある患者さんのアセスメントとケア、ナツメ社 4．清水裕子著 コミュニケーションからはじまる認知症ケアブック第2版、Gakken 2025年

留 意 事 項
後期の各論実習に備えるための重要な科目です。予習・復習をしっかりと行ってください。

オフィスアワー等
水曜日（12時～13時）。その他の時間で相談が必要な場合、メールで事前にご連絡ください。 久木原（h.kukihara@kyoju.ac.jp）、岩倉（m.iwakura@kyoju.ac.jp）、喜多（m.kita@kyoju.ac.jp）、佐々木（k.sasaki@kyoju.ac.jp）

実 務 経 験
本授業の担当教員は、大学病院、その他の医療機関での看護の経験が豊富である。現在も医療施設や介護施設の高齢者看護事例を研究するなど、臨床とのユニフィケーションを継続的に実施している。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
認知症看護論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子、佐々木 孝				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	認知症者の心理・ニード・アセスメント	認知症者への保健医療福祉サービスの特徴と看護師の役割、アセスメントとケアの方法	久木原 博子
2	認知症者のケア	コミュニケーション方法、認知症者の心理の理解、認知症者の多様なニードに対するケア方法	久木原 博子
3	認知症者家族ケア	介護家族の背景、介護者のアセスメントとケアニード、地域包括ケアシステムと共生社会	久木原 博子
4	認知症ケアの実際 3	タッチケアの実際（ユマニチュード、タクテイルケア、他）	岩倉 真由美、佐々木 孝
5	認知症ケアの実際 1	レクリエーション活動（運動、音楽、美術、芸術など）	喜多 麻衣子
6	認知症ケアの実際 2	パーソン・センタード・ケアの概要、人権を尊重するケアの方法	岩倉 真由美
7	認知症家族の会	家族の心理・家族としての向き合い方、コミュニケーションのとりかた	久木原 博子、岩倉 真由美、喜多 麻衣、佐々木 孝
8	総括		久木原 博子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松本 宗賢				演習	演習	

授 業 概 要
小児看護学概論、小児看護学援助論と関連させながら、健康を障害された小児の健康問題・障害の段階と入院に対する影響因子、快適な入院生活に向けた看護、家庭療養中の看護や学習支援について学ぶ。急性期にある小児と家族、回復期にある小児と家族、終末期にある小児と家族など、健康のレベルに応じた事例を検討しながら、成長発達を続ける子どもの生活や学習支援、健康障害や入院によって影響される家族への支援について生活の質の保持・向上ができるように学修する。

到 達 目 標
① 小児看護に必要な知識、思考過程、看護技術を学び、具体的に行動に表すことができる。 ② 看護の対象をイメージし、その子どもの状況に合わせた看護技術について問いを挙げることができる。 ③ 子どもや家族にとって、治療上必要となる処置や介助の必要性を説明できる。 ④ 臨床に近い小児看護技術を学び、実践的なイメージを言語化できる。 ⑤ 主体的に小児看護技術の確認および修得に参加できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：演習で取り扱う内容について自主的に調べて授業に臨む。 事後学修：演習で取り扱った内容のまとめをする。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
☐
☐
☐
☐

評 価
筆記試験（約20%） グループ討議時発言や態度(約40%)、演習参加度（約40%）

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院

参 考 図 書
適宜授業中に紹介する

留 意 事 項

オフィスアワー等
場所：2号館7階2718研究室で行う。 時間：随時（事前に教員にアポイントを取ること）。

実 務 経 験
科目責任者は小児看護専門看護師で、実践と教育を含め約20年小児看護に携わっている。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松本 宗賢				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション 小児看護における医療安全	小児看護における医療安全について学ぶ。	松本宗賢
2	小児看護における感染予防対策	小児看護における感染予防対策について学ぶ。	松本宗賢
3	演習①	3, 4回、5, 6回、7, 8回、11～14回は2グループローテーションで行う。グループで、ワークシート・動画・教材資料を用いて以下の演習を行いながら、子どもとその家族の理解、提供する技術の判断過程や看護方法について学ぶ。	松本宗賢
4	演習①	人権尊重と、安全安楽な技術、事故防止の実践を含む。 演習①：児の身体状況の把握に必要な技術 1 1) 成長発達についての発育の評価 2) バイタルサインズの測定とフィジカルアセスメント	松本宗賢
5	演習②	演習②：治療上必要となる処置や介助 1 1) 留置針による静脈内注射の穿刺、固定、輸液中の生活状況の理解と輸液管理	松本宗賢
6	演習②	同上	松本宗賢
7	演習③	演習③：治療上必要となる処置や介助 2 1) 小児の経口与薬および吸入の方法 2) 採尿、尿比重、テストテープ等尿検査の方法とアセスメント	松本宗賢
8	演習③	同上	松本宗賢
9	小児への清潔ケア	小児への清潔ケアの必要性、および、技術を学ぶ。	松本宗賢
10	全身清拭導入	小児への全身清拭方法を学ぶ。	松本宗賢
11	演習④	演習④：日常生活にかかわる看護技術 1) 清潔ケア（全身清拭・沐浴・陰部洗浄とおむつ交換・インアウト測定）	松本宗賢
12	演習④	同上	松本宗賢
13	演習④	同上	松本宗賢
14	演習④	同上	松本宗賢

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松本 宗賢				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	講座のまとめ	小児看護技術について振り返り、学びを深める。	松本宗賢

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
寺岡 祥子、竹元 仁美				実習	演習	

授 業 概 要
母性看護学概論、母性看護学援助論の学修内容を踏まえ、PBL（Problem Based Learning）およびCBL（Case Based Learning）の方法論を基盤とし、シミュレーション教材を活用しながら妊娠・分娩・産褥期にある女性および胎児・新生児への基本的な看護援助技術を学ぶ。周産期にある対象の特性を理解し、事例を用いて看護過程の展開を行い、対象の健康を保持・増進するための身体的、心理社会的アセスメント能力、および科学的根拠に基づいた看護実践能力を養う。

到 達 目 標
1. 妊娠期にある対象（胎児を含む）の科学的根拠に基づいた看護技術について説明できる。 2. 分娩期にある対象の科学的根拠に基づいた看護技術について説明できる。 3. 産褥期にある対象の科学的根拠に基づいた看護技術について説明できる。 4. 新生児期にある対象の科学的根拠に基づいた看護技術について説明できる。 5. 産褥期にある対象をアセスメントし、看護過程について理解し事例展開できる。 6. 新生児期にある対象をアセスメントし、看護過程について理解し事例展開できる。 7. グループワークを通して学びを共有し、リーダーシップ・メンバーシップを発揮した学習のまとめができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：提示した事前課題をまとめ概要を整理しておく。 事後学習：看護技術の習得のために、繰り返しグループ学習や自己学習を行う。振り返りに基づき、課題レポートをまとめる。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
看護過程記録（30％）、看護技術課題（30％）、課題の提出状況・演習の参加態度（40％）を総合的に評価する。

教 科 書
1. 系統看護学講座専門 母性看護学概論 医学書院 2. 系統看護学講座専門 母性看護学各論 医学書院 3. 石村由利子編 根拠と事故防止からみた母性看護技術第3版 医学書院

参 考 図 書
1. ナーシンググラフィカ 母性看護学②母性看護の実践 MCメディカ出版 最新刊 2. ナーシンググラフィカ 母性看護学③母性看護技術 MCメディカ出版 最新刊 3. 母性看護学 1 妊娠・分娩 医歯薬出版KK 最新刊 4. 母性看護学 2 産褥・新生児 医歯薬出版KK 最新刊 5. 助産師基礎教育テキスト 妊娠期・分娩期・産褥期のケアのシリーズ 最新刊

留 意 事 項
出席回数が授業回数の5分の4以上を満たしている場合に成績評価を行う。欠席が4回以上となった場合、この科目の単位修得を認めない。なお、30分以上の遅刻・早退・不在は欠席とする。演習時は実習時と同様に髪をまとめ、爪を短く切っておくこと。

オフィスアワー等
水曜日（17時～18時）・金曜日（17時～18時）寺岡研究室 事前にメール等で連絡を頂ければ、上記以外でも対応可能です。

実 務 経 験
看護師（小児病棟）、助産師（産婦人科病棟、LDR、婦人科外来）の実務経験を有す。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
寺岡 祥子、竹元 仁美				実習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	科目ガイダンス	科目ガイダンス、母性看護学概論・援助論における学修知識の振り返り 看護過程の事例展開	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
2	妊産褥婦に必要な看護技術①	演習室および視聴覚教材の使用ガイダンス 分娩時の看護技術；産痛緩和法（マッサージ、リラクゼーション、安楽な体位）	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
3	妊産褥婦に必要な看護技術②	妊娠期・産褥期の保健相談（保健指導） パンフレット作成	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
4	妊産褥婦に必要な看護技術③	妊娠期・産褥期の保健相談（保健指導） パンフレット作成、発表、提出	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
5	妊産褥婦に必要な看護技術④	妊娠期の看護技術；レオポルド触診法、子宮底長・腹囲の測定、児心音聴取、NST 妊婦疑似体験 内診台体験	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
6	妊産褥婦に必要な看護技術⑤	産褥期の看護技術；退行性変化・進行性変化の観察とケア（子宮復古状態の観察とケア・乳房の観察とケア）、子宮底輪状マッサージ、乳管開通法、産褥体操	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
7	新生児に必要な看護技術①	新生児期の看護技術；ケアの原則、バイタルサインの測定、沐浴、身体計測、安全な抱っこと移動の方法、オムツ交換、更衣	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
8	新生児に必要な看護技術②	新生児期の看護技術；ケアの原則、バイタルサインの測定、沐浴、身体計測、安全な抱っこと移動の方法、オムツ交換、更衣	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
9	周産期における看護過程の展開①	正常分娩をした褥婦と新生児を対象とする看護過程の展開 Case Based Learning①	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
10	周産期における看護過程の展開②	正常分娩をした褥婦と新生児を対象とする看護過程の展開 Case Based Learning②	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
11	周産期における看護過程の展開③	正常分娩をした褥婦と新生児を対象とする看護過程の展開 Case Based Learning③	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
12	周産期における看護過程の展開④	正常分娩をした褥婦と新生児を対象とする看護過程の展開 Case Based Learning④	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
13	周産期における看護過程の展開⑤	正常分娩をした褥婦と新生児を対象とする看護過程の展開 Case Based Learning⑤	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹
14	周産期における看護過程の展開⑥	正常分娩をした褥婦と新生児を対象とする看護過程の展開 Case Based Learning⑥	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
寺岡 祥子、竹元 仁美				実習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	リフレクションと総括	看護過程の事例展開演習 発表・講評 科目で学んだことの振り返りと統合	寺岡祥子 竹元仁美 福田沙樹

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
協崎 裕子、齋藤 嘉宏				実習	演習	

授 業 概 要
精神疾患を持つ対象者やその家族をBio-Psycho-Socialモデルから理解し、精神症状や健康面が日常生活に及ぼす影響と治療との関連性に着目しながら、セルフケアを高めるための看護実践を学ぶ。また、対象者との治療的関係を理解し、対象者との協働的なかわりと介入の実践方法を学ぶ。

到 達 目 標
学生は、本講義を通して以下の点に到達するものとする。 1. 発達理論やBio-Psycho-Socialモデルから対象を理解できる 2. オレムのセルフケア理論の基礎知識を述べることができる 3. 精神疾患をもつ対象者の看護過程の展開を通して、介入の必要や協働的なかわりを理解できる 4. 対象者に合わせた治療的コミュニケーションの理論と実際を理解することができる 5. 演習を通して認知行動療法などの精神科看護の効果的な介入方法を理解することができる 6. 地域で生活する対象者へのストレングスモデルを用いた看護介入を理解できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
○事前学修：事前課題は該当講義前日までに提出する ○事後学修：講義後は事後課題に取り組み、次の講義前日までに提出する

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
試験（80％）、課題提出（20％）

教 科 書
○ 系統的看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 武井麻子ら
○ 系統的看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院 武井麻子ら

参 考 図 書
○ 他科に誇れる精神科看護の専門技術 メンタルステータスイグザミネーション Vol.1 精神看護出版 武藤教志ら
○ 他科に誇れる精神科看護の専門技術 メンタルステータスイグザミネーション Vol.2 精神看護出版 武藤教志ら

留 意 事 項
事前課題・事後課題の内容をもとに、個人ワークとグループワークを含めた演習を行います。 そのため、演習参加学生の『事前課題・事後課題の提出を必須』とします。

オフィスアワー等
○ 曜日・時間：火曜日（14時～17時）・金曜日（14時～17時）
○ 場所：2704齋藤研究室

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、大学病院の精神科での実務経験を活かし、精神科看護師が看護ケア対象者に実践するスキルなどを演習を通して教授する。

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学演習		2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
脇崎 裕子、齋藤 嘉宏					実習	演習	
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	オリエンテーション 実習アセスメント①	発達理論（エリクソン理論）、ソーシャルシステム			齋藤嘉宏 新任教員		
2	実習アセスメント②	薬物療法、MSE, 症状理解			齋藤嘉宏 新任教員		
3	実習アセスメント③	セルフケアアセスメント			齋藤嘉宏 新任教員		
4	治療的コミュニケーション の基本①	基本的・アドバンスなコミュニケーションの技法 ープロセスレコードー			齋藤嘉宏 新任教員		
5	治療的コミュニケーション の基本②	プロセスレコード演習			齋藤嘉宏 新任教員		
6	精神科看護の具体的スキル ①	認知行動療法に基づく計画の立案 シミュレーション学習オリエンテーション			齋藤嘉宏 新任教員		
7	統合失調症の事例検討①	シミュレーション学習 ー情報収集・アセスメントー			齋藤嘉宏 新任教員		
8	統合失調症の事例検討②	シミュレーション学習 ー介入ー			齋藤嘉宏 新任教員		
9	統合失調症の事例検討③	シミュレーション学習 ーデブリーフィングー			齋藤嘉宏 新任教員		
10	うつ病の事例検討①	シミュレーション学習 ー情報収集・アセスメントー			齋藤嘉宏 新任教員		
11	うつ病の事例検討②	シミュレーション学習 ー介入ー			齋藤嘉宏 新任教員		
12	うつ病の事例検討③	シミュレーション学習 ーデブリーフィングー			齋藤嘉宏 新任教員		
13	精神科看護の具体的スキル ②	ストレングスに着目した看護ケア			齋藤嘉宏 新任教員		
14	地域の対象者の事例検討①	地域に生活する精神障がい者のストレングスを活用した介入 ー情報収集・アセスメント・看護ケア立案ー			齋藤嘉宏 新任教員		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
脇崎 裕子、齋藤 嘉宏				実習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	地域の対象者の事例検討②	地域に生活する精神障がい者のストレングスを活用した介入ーデブリーフィングー	齋藤嘉宏 新任教員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護臨床推論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
増山 純二、後小路 隆				講義	講義	

授 業 概 要
看護師は、健康課題を持つ対象者を全人的にとらえなければならない。その中でも、急性発症した対象者に対して全人的ケアを提供するためには、フィジカルアセスメントの能力を修得する必要がある。そのためには、臨床推論の概念が重要である。急性症状を呈する対象者への臨床推論、フィジカルアセスメント、そして、緊急度の判断について学修する。臨床推論の能力を高めていくことは、健康課題を持つ対象者とその家族の健康の保持と健康の質に関わる重要な力となるように学ぶ。

到 達 目 標
1. 入院患者急の変対応時の臨床推論について述べることができる。 2. 患者急変対応フローチャートについて説明できる 3. 一次評価の観察ができる 4. 二次評価の観察ができる 5. 二次評価から臨床推論ができる 6. 緊急度の判断ができる 7. 患者急変の対応ができる（救急処置の対応ができる、緊急検査の準備ができる、場の調整ができる。） 8. SBAR報告ができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（50％）1回目シミュレーション演習前学習（5％）2回目シミュレーション演習前学習（5％） 症例①②③④eラーニング総合テスト（各症例5％）8回目事前課題（5％）患者急変症例の看護展開レポート（15％）

教 科 書
山勢博彰，山勢善江，増山純二 他（2024）：救急看護学 第7版．医学書院 増山純二，苑田裕樹 編（2023）：急変時，何をみる？ どう判断する？病棟ナースの臨床推論．医学書院

参 考 図 書
1．日本救急看護学会：救急初療の看護に活かすフィジカルアセスメント第2版　へるす出版, 2024 2．増山純二編：救急初療フィジカルアセスメント，Emer-Log（エマログ）2022年秋季増刊号 3．増山純二：看護師の判断が患者を救う!!急性症状・外傷の初期対応　メヂカルフレンド社, 2019 4．日本救急看護学会：トリアージナースガイドブック 5．伊藤敬介, 大西弘高：ナースのための臨床推論で身につく院内トリアージ

留 意 事 項
2－7コマは3つのチーム（A、B、C）に分かれ、2・5コマ（Aチーム：シミュレーション教育）3・6コマ（Bチーム：シミュレーション教育）4・7コマ（Cチーム：シミュレーション教育）シミュレーション教育以外時はeラーニングで学習する。

オフィスアワー等
月曜日（12時～13時）・火曜日（12時～13時）臨床シミュレーションセンター

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護臨床推論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
増山 純二、後小路 隆				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	看護と臨床推論①	オリエンテーション/看護と臨床推論について	増山 純二 後小路 隆
2	患者急変時のフィジカルイ グザミネーション	患者急変時の臨床推論、看護実践に必要な看護技術についてタスクトレー ニングの実施（ABCDEアプローチ、問診、呼吸音/心音、腹部） Aチーム：2コマ目 Bチーム：3コマ目 Cチーム：4コマ目	増山 純二 後小路 隆
3	症例① 患者急変症例の看護展開①	症例①の症例基盤型学習（eラーニング）① Aチーム：3コマ目 Bチーム：2コマ目 Cチーム：2コマ目	増山 純二 後小路 隆
4	症例① 患者急変症例の看護展開②	症例①の症例基盤型学習（eラーニング）② Aチーム：4コマ目 Bチーム：4コマ目 Cチーム：3コマ目	増山 純二 後小路 隆
5	患者急変時の看護（臨床推 論）の実際	患者急変時の看護の実際（呼吸困難、腹痛、胸痛） Aチーム：5コマ目 Bチーム：6コマ目 Cチーム：7コマ目	増山 純二 後小路 隆
6	症例② 患者急変症例の看護展開①	症例②の症例基盤型学習（eラーニング）① Aチーム：6コマ目 Bチーム：5コマ目 Cチーム：5コマ目	増山 純二 後小路 隆
7	症例② 患者急変症例の看護展開②	症例②の症例基盤型学習（eラーニング）② Aチーム：7コマ目 Bチーム：7コマ目 Cチーム：6コマ目	増山 純二 後小路 隆
8	まとめ	心不全患者の急性増悪時の看護について省察 アンケート	増山 純二 後小路 隆

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リスクマネジメント論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
黒木智鶴				講義	講義	

授 業 概 要
看護者は最も患者に近いところにいて治療に伴う処置や看護を実施するが、治療・処置の最終の実施者であることが多く、医療事故の当事者になる可能性が高い。安全への配慮を欠くと、患者の健康を損なうだけでなく自分自身の看護職としても責務を問われることになる。看護職者は医療専門職として安全で質の高い医療を提供する責務を負っている。そのためにも医療安全に関する最近の動向を知り、医療安全に対する取り組みやその対策について知識を身につけ、安全に看護が実践できるように学修します。

到 達 目 標
1. 医療安全にかかわる最近の動向を説明できる 2. 国の医療安全への取り組みについて説明できる 3. 医療安全のための対策を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
1. 医療安全にかかわる最近の動向を説明できる 2. 国の医療安全への取り組みについて説明できる 3. 医療安全のための対策を説明できる

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験 レポート評価

教 科 書
系統看護学講座 看護の統合と実践② 医療安全 医学書院

参 考 図 書
1. 医療におけるヒューマンエラー 河野龍太郎 医学書院 2. 医療安全ワークブック 川村治子 医学書院

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リスクマネジメント論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
黒木智鶴				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	なぜ医療安全を学ぶのか	授業ガイダンス 医療安全を学ぶことの大切さ	黒木智鶴
2	医療安全への取り組み	医療安全の基礎知識 医療事故の定義	黒木智鶴
3	事故発生のメカニズム	ヒューマンエラー ヒューマンエラー分析方法	黒木智鶴
4	組織としての医療安全対策	医療事故の種類（診療補助の事故防止、療養上の世話の事故防止） 事例分析の実際①	黒木智鶴
5	看護における医療事故と安全対策 患者・家族との協同	リスク感性とクリティカルシンキング 事例分析の実際② 患者・家族との協同	黒木智鶴
6	組織としての医療安全対策	医療機関における医療安全の取り組み、チーム医療と医療安全 医療安全管理者の役割	黒木智鶴 甲斐和代
7	医療事故の対応 医療安全における看護職の役割	事故発生時の初期対応の考え方と方法 看護師の労働安全衛生上の事故防止 医療安全にかかわる動向 医療安全における看護職の役割	黒木智鶴
8	まとめ	まとめ	黒木智鶴

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護管理学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
倉岡 有美子				講義	講義	

授 業 概 要
近代管理学と看護管理学の発展過程から、看護管理学の基礎を学ぶ。そのうえで、看護管理に求められる能力（知識、技術、態度）について、組織論、資源管理、多職種協働、看護の質保証、医療安全の観点から具体的に学修する。看護活動を取り巻く法律・制度では看護行為を診療報酬制度につなげる例を通して実践的に学び、安全で質の高い看護ケアの提供について考察する。

到 達 目 標
1. マネジメントプロセスについて説明できる。 2. 看護管理に求められるリーダーシップ・マネジメントについて説明できる。 3. 看護提供に必要な資源（人・もの・カネ・情報）について説明できる。 4. 多職種との協働のあり方について説明できる。 5. 看護管理と倫理の考えかた、医療・看護の質と評価について説明できる。 6. 医療安全の概要と医療事故防止のためのコミュニケーション、報告制度について説明できる。 7. 看護活動を取り巻く法律・制度について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：1. 該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 2. 主体的に自己研鑽する 事後学修：1. 当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする 2. 当該テーマに沿った関連文献を読み、さらに内容を深める

対応DP
◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
○ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
評 価筆記試験（80％）、授業への参加度（20％）

教 科 書
ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践①看護管理第5版，吉田千文他編，メディカ出版，2025

参 考 図 書
上泉和子他：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践（1）第11版．医学書院，2024． 他、授業中に適宜紹介する。

留 意 事 項
特になし

オフィスアワー等
日時：毎週月曜日の昼休み（左記以外も対応可能です。メールにてアポイントをとってください。y.kuraoka@kyoju.ac.jp） 場所：倉岡研究室

実 務 経 験
病院で看護管理者として勤務した教員が経験をふまえて講義します。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護管理学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
倉岡 有美子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	管理の基本となるもの	授業ガイダンス 管理とは何か マネジメントプロセス 看護管理の定義	倉岡有美子
2	組織論	組織論の変遷 リーダーシップ・マネジメント 組織文化	倉岡有美子
3	資源管理	看護提供に必要な人・もの・カネ・時間の管理	倉岡有美子
4	多職種協働	市民・多職種との連携・協働	倉岡有美子
5	看護の質保証	看護管理と倫理の考えかた 医療・看護の質と評価	倉岡有美子
6	医療安全	医療安全の概要 医療事故防止のためのコミュニケーション、報告制度	倉岡有美子
7	看護活動を取り巻く法律・制度	医療保険制度 看護管理に関連する法律	倉岡有美子
8	まとめ：ワークショップ	学生によるプレゼンテーション：看護管理の知識を自身の経験に引き寄せて考える	倉岡有美子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護職のキャリア発達とプロフェッショナリズム	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
倉岡 有美子				講義	講義	

授 業 概 要
医療の高度化や多様化等、時代の要請に応える看護職のキャリア発達についてその特徴を学び、自らのキャリアを発達させるために必要な基盤づくりを行う。看護職のキャリアの多様な展開について国内外の事例から具体的に学修する。看護職のキャリア発達に必要な知識・技術・態度を修得し、看護職としての思考と行動について考察する。

到 達 目 標
1. キャリアに関する主要理論の概要について説明できる 2. 看護職としてキャリア形成していくうえで必要な基礎的知識を獲得できる 3. 看護職のキャリアについて探求し説明することができる 4. 自己のキャリアについて考察することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修： 1. 該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 2. 主体的に自己研鑽する 事後学修： 1. 当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする 2. 当該テーマに沿った関連文献を読み、さらに内容を深める

対応DP
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
☒ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
プレゼンテーション（20％），学びのレポート（10％），課題レポート（70％）

教 科 書
看護師のキャリア論，勝原裕美子著，照林社，2024.

参 考 図 書
金井壽宏：働くひとのためのキャリア・デザイン．PHP新書，2002. 金井壽宏，鈴木竜太：日本のキャリア研究-専門技能とキャリア・デザイン．白桃書房，2013. Shein, E./金井壽宏訳：キャリア・アンカー 自分のほんとうの価値を発見しよう．白桃書房，2003.

留 意 事 項
特になし

オフィスアワー等
日時：毎週月曜日の昼休み（左記以外も対応可能です。メールにてアポイントをとってください。y.kuraoka@kyoju.ac.jp） 場所：倉岡研究室

実 務 経 験
病院で看護管理者として、または診療看護師として勤務した教員が経験をふまえて講義します。国際救援活動の経験をもつゲストスピーカーが講義します。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護職のキャリア発達とプロフェッショナリズム	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	3年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
倉岡 有美子				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	キャリアとは何か	キャリアの定義、キャリア・ドリフト、キャリア・トランジション、キャリア・アンカー	倉岡有美子
2	看護師としてのキャリアとその発達	新人看護師が抱える課題と卒後臨床研修制度、看護師の技能習得レベル、看護師の継続教育、卒後教育	倉岡有美子
3	実践看護師の専門的教育・活動①	認定看護師、専門看護師、特定行為研修を修了した看護師、診療看護師他の専門的教育・活動について、自身の関心テーマや分野について調べる 演習・個人ワーク	倉岡有美子
4	実践看護師の専門的教育・活動②	認定看護師、専門看護師、特定行為研修を修了した看護師、診療看護師他の専門的教育・活動について、グループを形成しプレゼン資料を作成する 演習・GW	倉岡有美子
5	日本の高度看護実践例	ナース・プラクティショナーとしての活動	倉岡有美子 後小字 隆
6	海外の高度看護実践例	看護師としての国際救援活動	倉岡有美子 ゲストスピーカー
7	実践看護師の専門的教育・活動③	認定看護師、専門看護師、特定看護師、診療看護師他の専門的教育・活動について、グループごとに発表	倉岡有美子
8	成人学修論と看護師のキャリア	成人学修論、看護師の経験学習	倉岡有美子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学急性期実習	2026年度	看護学科	3単位	135時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、別城 佐和子、大水 あずさ、岡田 純也				実習	実習	

授 業 概 要
急性期の健康レベルにある対象とその家族について多面的・科学的視点でアセスメントし、健康レベルに応じた援助を実践するための看護過程を展開する能力を養う。実践を通して既存の知識・技術・態度を統合して、心身の危機的状況から退院後を予測した支援ができる看護実践能力を養う。また、救急処置を必要としている対象者とその家族に実施されているプレホスピタルケアにおける看護師の役割について理解する。さらにERにおけるクリティカルな状況にある患者・家族のケアをととして看護の継続性について理解する。急性期の実習をととして、専門職連携協働について看護師の役割を学ぶ。

到 達 目 標
1. 急性期にある患者の健康問題を理解し、個別性をふまえた看護過程の展開ができる。 2. 急性期にある患者及びその家族に対して、個別性に応じた看護実践ができる。 3. 生命の危機状態にある対象およびその家族の特徴について理解し、関わる専門職の役割と連携・協働について理解できる。 4. 専門職として倫理に基づく基本的態度を持ち行動できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：成人看護学関連の講義、演習で学習した内容の復習を行う 事後学習：毎日の実習の振り返りを行い、不足の学修の追加をする。日々のカンファレンスで次の学習課題を明らかにする。

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
事前課題、実習内容、実習態度、実習レポートから実習目標の到達度について総合的に評価する。 実習内容と実習記録70%、実習態度20%、中間カンファレンスおよび最終カンファレンス10% 成績評価は、実習時間4/5以上出席することを前提とする。

教 科 書
専門基礎分野、専門分野、成人看護学など関連科目の授業・演習で使用したテキスト

参 考 図 書
随時紹介する

留 意 事 項
4/8に事前オリエンテーションを行います。Teams上で諸連絡を行いますので必ず確認してください。

オフィスアワー等
必要に応じて相談する

実 務 経 験
担当教員は、看護師としての実務経験をもつ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学終末期実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
島村 美香、梅木 彰子、宮本 毅治、別城 佐和子				実習	実習	

授 業 概 要
本科目においては終末期・緩和ケアにおける患者について身体的・精神的・社会的・スピリチュアルの4つの苦痛の側面からアセスメントし、終末期・緩和ケアに特有の苦痛に対する支援の重要性と、その具体的な援助方法を理解することを目指す。実習では、受け持ち患者を通して、患者の苦痛症状についての看護の実際に触れ、患者理解を深めていく。また、患者に関する日々の看護チームにおけるカンファレンスに参加し、家族への看護や、患者が「自分らしく生きること」を支えるためのチームアプローチの方法を体験的に学ぶ。さらに、緩和ケアチームなど多職種による医療チーム活動に同行・見学をすることで、終末期・緩和ケアにおける専門職連携協働の実際と、看護が果たす役割を把握する。加えて、終末期・緩和ケア期特有の倫理的課題やQOLの向上のための支援の重要性について理解を深める。これらの学びを通して、自らの死生観についても考察する機会とする。

到 達 目 標
1. 終末期・緩和ケアの対象である患者・家族の状況を踏まえた援助の人間関係を構築する重要性を理解できる 2. 終末期・緩和ケアの対象である患者・家族についての全人的苦痛をアセスメントし、看護ケアの意味（根拠）を考えることができる 3. 終末期・緩和ケアの専門職連携協働を理解できる 4. 終末期・緩和ケアにおける看護の役割について説明できる 5. 実習を通して自己の死生観について考察できる 6. 専門職としての倫理観に基づく基本的態度で行動できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
・ がん看護学と終末期看護の科目の復習を行い、事前学習のレポートを作成する。 ・ IPOS（Integrated Palliative care Outcomes Scale）日本語版について、事前学習しておく。 ※掲示および実習要項とオリエンテーションで詳細な指示があります

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
・ 実習時間の4/5以上の出席した学生に対して実習評価を行い、60点以上を合格とする。 ・ 追実習の対象者がいる場合は、学生便覧Ⅲ-4-2)-(1)-④に沿って実施する。なお、再実習は実施しない。 ・ 評価はルーブリックを用いる。

教 科 書
系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 〔電子版〕 系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院 〔電子版〕

参 考 図 書
ヴィクトール・E・フランク著、池田香代子訳、夜と霧（新版）．みすず書房，2002． エリザベス・キューブラーロス，鈴木晶訳．「死の瞬間」と死後の生．中公文庫，2020．

留 意 事 項
4月8日2限に事前のオリエンテーションがあります（1週間の実習とは別のORです）。 週に祝日が入る場合、実習1日目の学内日は事前の別の週に設定されますので掲示に注意してください。

オフィスアワー等
教員の在室時随時（都合の悪い時以外）対応する。

実 務 経 験
すべての実習担当教員が病院での実務経験をもつ。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学終末期実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
島村 美香、梅木 彰子、宮本 毅治、別城 佐和子				実習	実習	

内 容
実習内容および方法 1. 対象学生 ：4年次生 2. 実習期間 ：2025年4月～2025年8月 4年次前期 1週間 （詳細は実習配置表参照） 3. 実習施設 ：独立行政法人国立病院機構九州がんセンター、社会医療法人財団池友会福岡和白病院 9階病棟 4. 実習時間 ：08:30～17:00 〈詳細〉 08:30～09:00 ：実習計画、実習記録、事前学習 09:00～15:30 ：病棟実習 15:30～17:00 ：実習記録・指導 5. 実習方法 1) 1クール実習開始前に科目全体のオリエンテーション（4月9日）を、実習初日に各クールオリエンテーションおよびグループ別オリエンテーションを行う。 2) 実習期間は1週間（5日間）であり、うち病院実習を3日、学内実習を2日行う。 3) 病棟実習では患者を受け持ち、全人的苦痛の理解と看護実践について学修する。 4) 実習期間に緩和ケアチームもしくは多職種カンファレンスなど多職種連携・協働の実際を見学する。 5) 実習初日および最終日の学内で、もしバナゲーム®をグループで行い、最終日に選択したカードのガイドで実習後の自己の死生観についてまとめる。 6) 実習スケジュール：1日目学内ORなど、2日目～4日目臨地実習、5日目学内振り返りとまとめ ※実習までのながれ 3月中に事前学習の提示→4月中成人看護学実習全体OR→事前学習の提出（期限など別途指示）→各クール実習（1日目学内OR、2－4日目臨地実習、5日目学内まとめ）

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
寺岡 祥子、竹元 仁美				実習	実習	

授 業 概 要
生命・人権の尊重・擁護を基本理念とし、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象者とその家族の科学的根拠に基づいた、より健康な状態を目指した支援（家族も含めた）について学ぶ。対象者のもてる力を引き出せるように促し、母子とその家族が新たな家族関係を構築し、母子の生活を整える具体的な援助を実践できる能力を養う。さらに、母性看護における専門職連携、協働における看護師の役割を明確にする。

到 達 目 標
1. 生命の尊厳の遵守、倫理的配慮について理解し、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期（胎児期を含む）にある対象者とその家族を尊重した行動ができる。2. ケアの対象者の心理・社会的特性を考慮したコミュニケーションを通して、看護の展開が可能となる信頼関係を構築できる。3. 褥婦と新生児およびその家族を対象として看護過程を展開し、科学的根拠のある看護に取り組むことができる。4. 健康教育の見学を通して対象者とその家族が健康的な生活を整え対象者のセルフケア能力を高める支援の方法を説明できる。5. 看護実践を体験的に学びながら対象者の周産期、育児期の経験を理解し母親と胎児／新生児の相互作用の促進、周囲のサポートシステムのあり方について説明できる。6. チーム医療の中での看護師の役割を理解し女性とその家族の生涯にわたるよりよい健康支援のあり方について説明できる。7. 健全なリーダーシップ・メンバーシップを発揮しグループダイナミクスを活用した相互支援的な学びができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
【事前学習】 1. 母性看護学概論、母性看護学援助論、母性看護学演習の講義内容（看護技術を含む）を復習する。 【事後学習】 1. 毎日の実習のまとめを行い、不足している知識・技術の学修を追加する。 2. 生命の誕生について学んだことを整理しておく。 3. 実習の学びを振り返り、自己の課題を明確し、次の学習課題に取り組む。

対応D P
◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。
○ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
実習記録一式・課題レポート（40％）カンファレンスにおける参加状況や実習に取り組む姿勢（60％）、臨地実習指導者の評価などをふまえて、総合的に評価する。

教 科 書
1. 系統看護学講座専門 母性看護学概論 医学書院 2. 系統看護学講座専門 母性看護学各論 医学書院 3. 石村由利子編 根拠と事故防止からみた母性看護技術第3版 医学書院

参 考 図 書
1. ナーシンググラフィカ 母性看護学②母性看護の実践 MCメディカ出版 最新刊 2. 母性看護学 1 妊娠・分娩 医歯薬出版KK 最新刊 3. 母性看護学 2 産褥・新生児 医歯薬出版KK 最新刊 4. 新生児学入門 医学書院 最新刊 5. 太田操 ウエルネス看護診断に基づく母性看護学過程 第3版（最新版）

留 意 事 項
自分自身のライフコースと重なる部分（妊娠・分娩・子育て支援等）が多いので、興味関心をもって能動的に学修することを期待する。分娩に立ち会わせていただける機会は大変貴重なので、事前学修をした上で、誠意をもって対象者に寄り添うこと。

オフィスアワー等
水曜日（17時～18時）金曜日（17時～18時） 事前にメール等で連絡いただければ、上記以外でも可能です。

実 務 経 験
臨床現場で助産師として周産期の対象へのケア実務経験のある教員が、看護学実習指導を行う。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
寺岡 祥子、竹元 仁美				実習	実習	

内 容
【実習時間】 ・臨地での実習時間は、原則8時30分～15時とする。 ・学内実習の実習時間は、原則9時～16時とする。 【実習施設】 医療法人社団わかば会 そらレディースクリニック 【実習内容】 病棟実習 1週間、外来実習 1週間の計 2週間の実習である。 1. 病棟実習（1週間） (1) 褥婦・新生児、または産婦を受け持ち看護過程の展開を行う。 (2) 原則として学生 2～3 名で 1 事例の褥婦と新生児を受け持ち、お互いの情報交換を積極的に行う。 (3) 看護問題に沿った看護計画を臨地実習指導者に相談し、助言を受け実践する。 (4) 原則、受持ち褥婦の退院指導は見学する。 (5) 分娩見学実習は、許可が得られた場合、産婦の情報を得る。また、分娩進行状況に応じて実習時間の延長は、振り返りを含めて原則 17 時まで、最大 18 時までとする。 (6) 新生児室実習は、正常新生児の 1 日のケアスケジュールにそって、バイタルサイン測定や日々の観察等を実践する。 (7) 沐浴は見学実習とする。 (8) 新生児室への入退室はナースステーション側のみとし、入室時には必ず手洗いと消毒を行い、入退室時はスタッフに声をかけを行う。 2. 外来実習（1週間） (1) 妊婦健康診査・産後2週間健康診査の目的・内容を理解し、看護の役割を学ぶ。 (2) 妊婦と胎児、褥婦と新生児の経過についてアセスメントする。 (3) 紙カルテと母子健康手帳を見るときは、スタッフに声をかける。 (4) 妊婦健康診査見学の学びを活かし、妊娠週数に応じた妊婦の保健指導を学内実習で実施する。 (5) 産後健康診査見学の学びを活かし、母子ともに健康的な生活を送るための保健指導を学内実習で実施する。 【評価面接】 1. 原則、実習最終日の14時30分から個別面接（1人5分程度）を実施する。 2. 母性看護学実習評価表の自己評価の欄、および自己評価点を記入し提出する。 3. 母性看護学実習看護技術評価表を提出する。 【実習上の注意点】 1. 欠席・遅刻の場合は、実習施設への連絡はせず、7時30分までに実習担当教員に連絡する。無断欠席および無断遅刻は単位取得を認めない。 2. 実習開始2週間前から、毎日朝と夕の1日2回の検温、健康状態、体調を確認し、ポートフォリオと体調管理シートに記入する。自覚症状がある場合は、登校する前に実習担当教員に連絡する。 3. 実習中はマスクを着用し、院内の感染症対策に従い、感染症対策を積極的に行う。特に、新生児に直接ケアを行う際は、手洗いや手指消毒を確実に行う。また、新生児室や病室等への入室・退室時の手指消毒は確実に行う。 4. 患者様に行う看護ケアはその都度同意を得ながら実施する。 5. 学生の実習は、指導下での実施であることを常に意識した行動をとる。スタッフへの報告・連絡・相談は学生のほうから積極的に行い、常に患者様の安全・安楽を第一に考え、自己判断で勝手な行動をとらない。 6. 患者様やご家族とトラブルがあった場合は速やかにスタッフと教員に報告する。 7. 実習の終了時、または実習場をいったん離れ学内に戻る場合は、スタッフにその旨報告する。勝手に実習場を離れた場合は、実習放棄とみなす。 8. 電子カルテの閲覧ができるのは、同意書を頂いた対象者のみである。また、スタッフのパソコン使用に支障がないようにする。 9. 個人情報の保護については、「令和8年度臨地実習要項」を熟読し、実習に関する記録類の取り扱いには十分注意する。SNS・ブログ等インターネット上の書き込みは一切禁止する（個人情報の漏えいは不法行為）。 10. 実習で使用するメモ帳は、リング等でしっかり綴じられているものを使用する。また、実習で使用する記録物はファイルに綴じ、手提げカバンに入れて持ち運ぶ。 11. 髪、爪はきちんと整え、化粧、身だしなみ、言葉遣い、態度等、専門職として相応しい行動をする。患者様、スタッフ、教員の前で、学生同士愛称で呼ばない。 12. 名札等、落とし物に注意する。 13. 「看護技術項目と卒業時の到達目標」記録表は随時記入し、実習に活用する。 【実習担当教員】 寺岡祥子、竹元仁美、福田沙樹

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統合実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
倉岡 有美子、田中 裕二、児玉 裕美、馬場 みちえ、久木原 博子、寺岡 祥子、池田 敏子、齋藤 嘉宏、菊原 美緒、松井 聡子、岩倉 真由美、松本 宗賢、大村 由紀美、島村 美香、宮本 毅治、西原 かおり、別城				実習	実習	

授 業 概 要
これまでに学んできた知識と技術を統合して、看護の対象がもつ健康課題を総合的に捉え、看護管理者と共に行動し、リーダーとしての役割、看護チームメンバー間や他職種とのコミュニケーションを図る。複数患者の受け持ち等を通して、ケアの調整やタイムマネジメントなど高度な臨床判断を持ち、看護を実践する能力の基礎を培う。医療機関をシステムとしてとらえ、その中の看護サービスの組織と運営についての理解を深める。さらに、夜間の患者の過ごし方を観察し、必要なケアを考えられる力を培う。看護職が果たす役割と責任感、倫理観、自己の看護観を深め、社会の要請に応答できる能力の基礎を培うことを目標としている。IPWに向けて専門職連携、協働を通して、看護師の専門性を明確にする。

到 達 目 標
1.これまで学んだ看護の知識と技術を統合し、複数の患者のアセスメントから看護問題を抽出・優先度を判断し、タイムマネジメントを行なうことで多重課題を対処できる。 2.夜間の患者の状態をアセスメントし、必要なケアを提案できる。 3.チームリーダーの役割を考察できる。 4.看護管理者を役割モデルとして、病棟看護チームの管理業務について考察できる。 5.看護の専門職として連携・協働する姿勢を修得できる。 6.これまでの学びから自己の課題を明確にし、看護の専門性を探求する姿勢を修得できる。 7.専門職としての倫理観に基づく基本的態度で行動できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：複数患者の看護過程が展開できるように、受け持ち患者の疾患・治療を調べ、関連図に整理しておく。看護管理について復習しておく。専門職連携との協働について復習しておく。緊急時の対応や判断についてシュミレーションしておく。 事後学修：毎日の実習のまとめを行い、不足の学修を追加する。次の学修課題を明らかにし、学修に取り組み実習の準備を行う。専門職連携との協働について整理する。

対応D P	
◎	多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。
○	自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
評価表に基づき、実習内容、実習記録、実習態度等で総合的に評価する。

教 科 書
指定しない。

参 考 図 書
指定しない。

留 意 事 項
特になし。

オフィスアワー等
日時：毎週月曜日の昼休み（左記以外も対応可能です。メールにてアポイントをとってください。y.kuraoka@kyoju.ac.jp） 場所：倉岡研究室

実 務 経 験
病院、保健所、訪問看護ステーション等で勤務した教員が経験をふまえて指導します。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統合実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
倉岡 有美子、田中 裕二、児玉 裕美、馬場 みちえ、久木原 博子、寺岡 祥子、池田 敏子、齋藤 嘉宏、菊原 美緒、松井 聡子、岩倉 真由美、松本 宗賢、大村 由紀美、島村 美香、宮本 毅治、西原 かおり、別城 佐和子、喜多 麻衣子、後小路 隆、野村 あす美、間山 一枝、野田 佳奈恵、佐々木 孝				実習	実習	

内 容
1．実習期間：2週間 2．実習場所：福岡和白病院等 3．実習内容：領域ごとに以下の1）～3）の内容を複数組み合わせる 1）複数患者受け持ち （1）実習初日に施設の概要と構造についてオリエンテーションを受ける （2）同時に複数（2名）の受け持ち患者を持ち、情報をアセスメントし、看護過程を展開する （3）日々のケアは、指導者の監督のもとに、優先度を判断し、患者及び家族の反応を確認しながら実践する （4）タイムマネジメントを考慮し、安全で質の高いケアを展開する （5）実習の振り返りを行う 2）リーダー実習 （1）臨床指導者ないしはリーダー看護師から管理業務についてオリエンテーションを受ける （2）看護管理者と行動を共にし、病棟看護チームの管理業務を見学する （3）実習後に自己のリーダーシップアプローチについて振り返りのカンファレンスを行う 3）夜間実習 （1）臨床指導者から夜間業務についてオリエンテーションを受ける （2）夕方の申し送りから夜勤勤務の看護師と行動を共にし、患者ケアの実際を知る （3）夜間の日常生活援助の一部を実施し、その目的や援助の工夫・根拠を考える （4）夜間の病棟管理体制について説明を受け、可能であれば当直師長への報告場面を見学し、報告内容や夜間帯の病院全体における組織の連携について学ぶ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅳ（専門職連携における協働）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 悟郎、辻 慶子、田中 裕二、久木原 博子、池田 敏子、寺岡 祥子、岩倉 真由美、大村 由紀美、齋藤 嘉宏、松井 聡子、西原 かおり、喜多 麻衣子				演習	演習	

授 業 概 要
患者を全人的にアセスメントし、患者中心の専門職連携によってケアプラン・リハビリプログラムの立案ができる能力を育成する教育プログラムである。専門職連携教育Ⅰ，Ⅱ，Ⅲで培ったIPEに関する学びと他学部分野の学びを応用実践する。そして、グループワークを通し専門職の役割を活用しながら、対象者の健康上の問題を明らかにし、問題解決に向けてチームでケアプラン・リハビリプログラムの作成に取組み全体で討議を行う。さらに臨床における専門職連携の実際についての講義・シンポジウム等を通して、質の高い医療を提供できるように学修する。2026年度は、9／15（火）、9／16（水）、9／17（木）の3日間（予定）の集中講義で実施する。

到 達 目 標
1. 各専門分野における患者の問題を明確にすることができる 2. チームメンバーと良好な人間関係の下、話しやすい雰囲気を作ることができる 3. チームの目標達成のためにチーム状況を評価し、自己の実践を決定できる 4. 患者への全人的評価に基づいたケアプラン・リハビリプログラムを立案できる 5. 実習指導者及び教員等の支援を受けて、最新の専門知識をケアプラン・リハビリプログラムに反映できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：専門職連携教育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの復習をして該当テーマについて調べる 事後学修：当日の該当テーマに沿ってまとめを行いレポートを作成する

対応D P

評 価
課題レポート(100%)

教 科 書
講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
9／15（火）・9／16（水）・9／17（木）の16：20－17：50、各担当教員の研究室。

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、臨床現場における看護・リハビリテーション活動の実務経験を生かして講義・演習を展開する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅳ（専門職連携における協働）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 悟郎、辻 慶子、田中 裕二、久木原 博子、池田 敏子、寺岡 祥子、岩倉 真由美、大村 由紀美、齋藤 嘉宏、松井 聡子、西原 かおり、喜多 麻衣子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	授業オリエンテーション	授業オリエンテーション 個人ワーク・グループワーク等の説明	全員
2	個人ワーク	プレゼンテーション資料の作成	全員
3	個人ワーク	プレゼンテーション資料の作成、グループメンバー自己紹介・発表順番等の決定	全員
4	グループワーク①	30分／人（20分プレゼン＋10分討論）×2～3人	全員
5	個人ワーク	初日（9／15）の学びのレポート作成・提出	全員
6	グループワーク②	30分／人（20分プレゼン＋10分討論）×2～3人	全員
7	グループワーク③	30分／人（20分プレゼン＋10分討論）×2～3人	全員
8	グループワーク④	30分／人（20分プレゼン＋10分討論）×2～3人	全員
9	グループワーク⑤	30分／人（20分プレゼン＋10分討論）×2～3人	全員
10	個人ワーク	2日目（9／16）の学びのレポート作成・提出	全員
11	講義①	「専門職連携の実際」	全員
12	講義②	「専門職連携の実際」	全員
13	シンポジウム①	「専門職連携の実際・コツ」	全員
14	シンポジウム②	「臨床実習での学び」	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅳ（専門職連携における協働）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	4年前期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 悟郎、辻 慶子、田中 裕二、久木原 博子、池田 敏子、寺岡 祥子、岩倉 真由美、大村 由紀美、齋藤 嘉宏、松井 聡子、西原 かおり、喜多 麻衣子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	個人ワーク	3日目（9／17）の学びのレポート作成・提出	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ理論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
小西 裕之				講義		

授 業 概 要
学生の健康管理の一環ともなるようスポーツについて学修する。人間にとって体を動かすことがどのような意義があるのか、スポーツがもたらす心や体への影響を考え、体力づくりや健康づくりや、スポーツ理論について学ぶ。 さらに障害者のスポーツに関しても学修する。障害には身体障害、知的障害、精神障害、発達障害などがある。 初めてスポーツに参加する障害者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツ活動の導入を支援できるように学修する。

到 達 目 標
1. スポーツが身体・精神に及ぼす影響について説明できる 2. 健康と体力づくりの関係について説明できる 3. スポーツに取り組む際の安全への配慮について説明できる 4. 障がい者スポーツの概要を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
テストの結果により評価 （テストは8回目授業内で行う）

教 科 書
なし

参 考 図 書
適宜配布する。

留 意 事 項
携帯電話等モバイル機器の無断使用を禁止する

オフィスアワー等
授業終了後、もしくはメールにて問い合わせること

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ理論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
小西 裕之				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	スポーツの意義と役割	授業ガイダンス 健康の概念 運動・スポーツが健康に及ぼす影響	小西裕之
2	ライフステージによる運動・スポーツ	ライフステージ別にみた運動・スポーツ及びそれらの健康に及ぼす影響	小西裕之
3	運動指導と運動観察	運動学習と指導法、	小西裕之
4	安全管理	安全管理の考え方、安全上の約束と指導、レクリエーションの工夫	小西裕之
5	運動処方	運動処方の原則、運動処方についての留意点	小西裕之
6	障害別指導の特徴	身体別障害、知的障害、精神障害、発達障害	小西裕之
7	障がい者スポーツ	障がい者スポーツ振興の経過	小西裕之
8	まとめ	ノーマライゼーションの考え方、授業の振り返り	小西裕之

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
教育学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
木村 栞太				講義		

授 業 概 要
教育は歴史・社会・文化のすべての全体的な関連の中で営まれる。そこで、教育の目的と内容を理解し、近代の学校の成立と西欧や日本の歴史的変遷を概観し、「人間のための教育」という視点から、そこに見られる主な問題、とりわけ現代的課題である貧困や福祉の現状、医療と教育について検討していく。さまざまな具体的な教育思想や実践事例などを紹介しながら医療教育についても現状や課題などを考える。本科目では教育学の基本的な概念や知識、現代の教育における問題について学修する。

到 達 目 標
1. 教育の基本概念が理解できる 2. 人間の成長と教育の意義・目的について説明できる 3. 教育の抱える現代的課題について具体的に説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめる

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
○ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
原則、受講態度（10点）、授業事の小レポートの提出（30点）、期末試験（60点）の項目・配点に基づき評価します。

教 科 書
なし

参 考 図 書
木村元編（2021）『教育学 第8版』医学書院（ISBN：978-4-260-04215-4）

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、原則授業時か授業後に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
教育学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
木村 葉太				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション	授業概要の説明、看護と教育の関係	木村 葉太
2	教育学の基礎概念①	近代化に伴う教育と子ども概念の変化	木村 葉太
3	教育学の基礎概念②	社会構造と教育の関係	木村 葉太
4	教育を構成する要素①	教授と学習の関係	木村 葉太
5	教育を構成する要素②	福祉と教育の現状	木村 葉太
6	教育の現代的課題①	不登校	木村 葉太
7	教育の現代的課題②	社会教育・生涯学習	木村 葉太
8	まとめ	まとめ	木村 葉太

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
発達心理学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山口 雄介				演習		

授 業 概 要
既修の「心理学」と関連させながら、心はいつからどのように変化していくのか。受精から死を迎えるまでのライフサイクルを視野にいれながら、ここでは胎児期から乳児期、幼児期、児童期、青年期までを中心に時間の経過とともに質的及び量的に変化するさまざまな発達の特徴を理解する。発達心理学という学問大系を学ぶだけでなく、身近な子育て、教育、人としての生き方等を考える機会とし、医療の対象である人間の誕生から老年期に至る生涯発達の過程において、各期の発達と課題を学ぶことで、医療に還元できる知識や探索の仕方を学修する。

到 達 目 標
1．人間の生涯発達の理論について説明できる 2．乳幼児期の発達と課題について説明できる 3．児童期の発達と課題について説明できる 4．青年期の発達と課題について説明できる 5．成人期の発達と課題について説明できる 6．中年期の発達と課題について説明できる 7．老年期の発達と課題について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
☐
☐
☐
☐

評 価
ミニレポート（20％）と定期試験（80％）により評価する。

教 科 書
発達心理学 15講 北大路書房

参 考 図 書
授業中に適宜紹介する。

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
発達心理学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山口 雄介				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	発達心理学の基礎	授業ガイダンス 「発達の概念」、「人間発達の特殊性」、「発達段階と発達課題」について	山口雄介
2	発達心理学の理論①	人間の成長と成熟の過程、「学習理論」、「認知発達理論」、「社会的関係の中での発達理論」の観点	山口雄介
3	発達心理学の理論②	発達のプロセスと発達課題に関する「ライフサイクル論」と「ライフコース論」について	山口雄介
4	胎生期から新生児期まで	胎生期から新生児期までの発達 「個体発生のメカニズム」、「胎児への環境からの影響」「誕生と新生児の特徴」	山口雄介
5	乳児期の発達	乳児期の発達 「乳児期の特徴と身体発達」、「乳児期の認知的発達」、「対人関係の始まりと母子関係」について	山口雄介
6	幼児期の機能と発達	幼児期における基本的生活習慣の獲得 「知能」と「情動」と関連付けながら学習	山口雄介
7	幼児期の社会性	幼児期の社会性 「ことばの発達」や「親子関係から仲間関係」への対人関係の広がりに関連付けながら学習	山口雄介
8	児童期の発達	児童期における他者との関わりを通じた発達の様相 「身体的変化と成熟」、「学校生活の始まり」、「対人関係の発達」の観点から	山口雄介
9	乳児期から幼児期に生じる発達に関わる問題	乳児期から幼児期に生じる「発達障害」 発達障害に含まれる精神障害の分類や発達障害児への「合理的配慮」の実際について	山口雄介
10	青年期の発達	青年期の特徴と「自我同一性の獲得」について、青年期の「友人関係」「恋愛関係」	山口雄介
11	成人期の発達	青年期から成人期への移行に伴う「キャリア発達と社会生活」「キャリア発達理論」「家族の形成」	山口雄介
12	青年期以降のメンタルヘルスと精神保健	思春期・青年期の問題行動（「いじめと不登校」など）や精神病理 成人期の危機と職場のメンタルヘルス（「バーンアウト」など）	山口雄介
13	中年期の発達と危機	中年期の発達課題、「中年期のライフイベント」、そして「老い」の兆候が表れることによる心理過程	山口雄介
14	老年期の発達	老年期の発達に関して、「老いの特徴」、「老年期のパーソナリティと適応」、「老年期の不適応と障害」	山口雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
発達心理学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山口 雄介				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	「死」への対応、まとめ	「死に対する態度の発達」、「死の受容」、「残されたものの悲嘆」、「幸福な老いと最期」について 授業のまとめ	山口雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
ジェンダー論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
宮崎 聖子				講義		

授 業 概 要
多様性に富むグローバルな文化・社会を理解する上でジェンダーは重要な視点の一つである。医療、健康、保健に関わる人材は、人間の生と性に関するジェンダーへの深い理解が求められる。ここでは文化・社会的なありようとしてのジェンダーがどのように構築されてきたか、具体的な歴史やトピックをとりあげながら、ジェンダーに関わる諸相を理解する。自己のジェンダー観に気づき理解を深め、人権問題、社会問題にも広く対処できるような素養を身に着けることを目的とする。

到 達 目 標
1. 囚間の生と性の歴史や現状について知る 2. 囚間の生と性の多様性について理解し、自らの専門性との関連について考えることができる。 3. 現代のジェンダーをめぐる課題を知り、それについての対応を考えることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って復習・まとめをする

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。

評 価
授業中に提出する小レポート4割、レポート6割で評価する。

教 科 書
講師資料

参 考 図 書
伊藤公男、牟田和恵編；ジェンダーで学ぶ社会学 （全訂新版） 世界思想社 2015

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業の後、またはメールによる。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
ジェンダー論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
宮崎 聖子				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス、ジェンダーとは	ガイダンス、ジェンダー研究の課題、性をめぐる概念、歴史について考える。	宮崎聖子
2	SDGsとジェンダー男／女らしさ	SDGsにおけるジェンダーの役割について理解する。男／女らしさがどのように構築されてきたか考える。	宮崎聖子
3	多様な性と生	セクシャリティの多様性や、LGBTといわれる性的少数者について理解する。	宮崎聖子
4	ドメスティック・バイオレンス1	親密な間柄におきる暴力の現状と課題について理解する。	宮崎聖子
5	ドメスティック・バイオレンス2 生殖の歴史	DV防止法について知り、理解する。 明治以降における日本の生殖の歴史について理解する。	宮崎聖子
6	リプロダクティブ・ヘルス・ライツ	リプロダクティブ・ヘルス・ライツの概念、その歴史的経緯について考える。	宮崎聖子
7	グローバル化とジェンダー	グローバル化の中でどのようなジェンダーの問題が出現しているのか、アジアなどの具体的事例を通して考える。	宮崎聖子
8	まとめ	これまでの振り返りとレポートの提出。	宮崎聖子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
社会学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
横田尚俊				講義		

授 業 概 要
社会学の観点からみると人間は社会的存在である。私たちは、現代社会のしぐみに拘束され、その動向・潮流に流されていく存在だが、同時に他者と結びつきながら社会のしぐみ・動向を左右し創り出す存在でもある。この授業では、そのような社会学の視点から、現代の災害現象・災害問題にアプローチし、災害社会学における研究成果の一端に触れていく。災害と人間行動・社会との関係について理解を深めることを授業の目的とする。

到 達 目 標
1. 現代社会における災害の特質や災害問題について理解を深める。 2. 現代の災害現象・災害問題がどのような社会的背景と結びついているかを考察し説明することができる。 3. 現代日本における災害問題や防災対策等に関心をもち、それらに関する資料や文献を調べることができる。 4. 社会学の視点から、現代の災害の特質や災害対応に関する諸問題を説明することができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。

評 価
平常点（出席+受講態度）、レポート、定期試験により総合的に評価する。 出席は毎回とることとする。また欠席3回以上の者は、その後の受講資格を失うものとする。

教 科 書
使用しない。講義資料を配付する。

参 考 図 書
講義中に提示する。時間に余裕があれば、映像資料も活用したい。

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業中。あるいはE-mailにて連絡すること。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
社会学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
横田尚俊				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	社会学から災害をどうとらえるか	授業ガイダンス 社会学の特徴、および社会学からみた災害のとらえ方を理解する。	横田尚俊
2	都市災害の特質	都市災害における被害とその特質について理解する。	横田尚俊
3	災害と避難行動	災害時における避難行動の特質を理解する。	横田尚俊
4	大規模災害における避難行動	大規模災害における避難行動の実態と、避難行動の促進要因・阻害要因について理解する。	横田尚俊
5	災害とコミュニティ	コミュニティの概念と災害時におけるコミュニティの機能について理解する。	横田尚俊
6	災害と社会的支援	災害時および災害後におけるボランティア、NPOの被災者・被災地支援活動と、さまざまな主体による連携・協働型支援の意義について理解する。	横田尚俊
7	災害支援ネットワークの形成と展開	連携・協働型支援の発展型として、市民活動団体（ボランティア団体、NPO等）を中心とした災害支援ネットワークのしくみと機能について理解する。	横田尚俊
8	まとめと試験	授業内容全体の理解度を問う試験を実施する。	横田尚俊

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
倫理学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
国越 道貴				講義		

授 業 概 要
看護職において倫理的問題について適切な判断ができるための基本となる知識を学び、合わせて、人が生きることのなかでの価値観について考える。

到 達 目 標
倫理的問題を含む医療上の事柄について、一般に採用されているあるいは専門家に支持されている対処方法、およびその対処方法が取られる理由を説明することができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の講義を復習し、要点の確認をする

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。

評 価
学期末試験の点数に積極的な質問など平常の態度を加えて評価する。

教 科 書
使用しない。

参 考 図 書
玉井 真理子・大谷 いづみ編著『はじめて出会う生命倫理』有斐閣，2011.

留 意 事 項
とくになし。

オフィスアワー等
moodle のメッセージにより質問などの連絡をする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
倫理学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
国越 道貴				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	インフォームド・コンセント	医療のなかで新しく確立された最も重要な価値である「自己決定権の尊重」について学ぶ。	国越道貴
2	人生の最終段階	今日「人生の最終段階の医療」といわれる領域について、その先駆者キューブラ・ロスからその意味を学ぶ。	国越道貴
3	安楽死と尊厳死	安楽死と尊厳死が日本の現行法で容認されるための条件を確認し、特に本人の意思尊重の扱い方を学ぶ。	国越道貴
4	臓器移植と脳死	臓器移植にかかわるなかで、人の死が脳死判定によって決められることの意味を学ぶ。	国越道貴
5	出生前診断と人工妊娠中絶	人工妊娠中絶のうち、出生前診断による「選択的」と呼ばれる中絶について学ぶ。	国越道貴
6	生殖補助医療	容認されうる範囲、そして実施されて初めて明らかになった諸問題を学ぶ。	国越道貴
7	障害者施策/ 医療資源の配分	近年大きく変更された障害者施策について、また、希少な医療資源を公正に配分する仕方について学ぶ	国越道貴
8	職業倫理 まとめ	医療者の職業倫理として守秘義務について学ぶ。 これまでの講義の要点を確認する。	国越道貴

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
国際関係論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山根 健至				講義		

授 業 概 要
グローバル化が急速に進行している現在、世界各地で発生している問題は1国のみの問題ではなく、複数の国々や組織などの関係の上で成り立っている。他国や他地域で起きた様々な問題は、自分の身近なところに直結し生活に影響している。こうした状況を踏まえて、本科目では、国際関係論の理論的背景、歴史的経緯を理解し、紛争問題や貧困と格差など具体的な国際問題を検討することを通して、世界で起きている問題や日本の果たす役割について学修する。

到 達 目 標
1. 国際社会の仕組みや国際機関の役割を説明できる 2. 世界が抱える紛争問題について説明できる 3. 世界が抱える貧困と格差について説明できる 4. 国際的な人の移動について説明できる 5. 世界の抱える問題と日本が抱える問題の相互関連について説明できる 6. 問題解決の取組みにおける日本の役割について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の講義の該当テーマに沿って復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
期末レポート（80％）、出席などの平常点（20％）

教 科 書
毎回レジュメを配布します。

参 考 図 書
1. 佐渡友哲他編著『国際関係論 第3版』弘文堂 2. 藤原帰一他編著『平和構築・入門』有斐閣 3. 福田保編『アジアの国際関係』春風社 4. 坂本治也編『市民社会論』法律文化社

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
国際関係論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山根 健至				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	国際関係論概要	授業ガイダンス 国際関係論とは、国際社会の成立、国際社会を形成するアクター	山根健至
2	国際機関とその役割	国際連合の組織と役割、その他の国際機関	山根健至
3	世界が抱える紛争問題	紛争多発地の状況・テロ（事件）の事例を通して	山根健至
4	世界が抱える貧困と格差	各国が抱える貧困と格差、日本の抱える貧困	山根健至
5	国際的な人の移動	国際労働力移動、移民、難民、日本の外国人労働者	山根健至
6	アジアの地域情勢	中国の台頭、米中の対立とアジア	山根健至
7	平和構築と日本の役割	紛争と平和構築、PKOの仕組みと活動状況、日本の取り組み	山根健至
8	国際協力とODA	ODAの仕組みと日本の国際協力、授業のまとめ	山根健至

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
文化人類学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
王 貞月				講義		

授 業 概 要
「国際化」や「グローバル化」が進む中、自文化と異文化の理解は私たちにとって必須なものとなっている。世界各国との交流が活発な現在、医療に関わる人材には、文化による考え方や価値、生活習慣の違いなど理解し対応する必要があり、特にその能力が必要とされている。文化人類学はそのための有力なツールである。本科目では、「文化とは何か」「人間とは何か」を、多様で具体的事象や理論を紹介しながら考えていく。それにより文化理解に必要な総合的な知識を学修し、今日の世界を洞察する力を身につける。

到 達 目 標
1. 国化の多様性を理解することで、他者理解の姿勢を持つことができる 2. 家族の捉え方の視点を説明できる 3. 病気や死の捉え方の普遍性と多様性を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って復習・まとめをする

対応D P
○ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
○ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
授業中に行う小テスト5割、期末テスト5割で評価する。

教 科 書
波平恵美子編：文化人類学〔カレッジ版〕第4版 （医学書院）

参 考 図 書

留 意 事 項
小テストと期末テストはMoodelのテスト機能で行い、その方法は初回で説明する。

オフィスアワー等
授業の後質問を受け付ける。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
文化人類学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
王 貞月				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	文化と文化人類学	ガイダンス、第1章人間と文化・小テスト説明・練習	王 貞月
2	文化人類学と質的研究	第2章質的研究とエスノグラフィー・小テスト説明・練習	王 貞月
3	家族と親族	第3章個人・家族・家族をこえたつながり・小テスト	王 貞月
4	人生と通過儀礼	第4章人生と通過儀礼・小テスト	王 貞月
5	宗教と病	第5章宗教と世界観・小テスト	王 貞月
6	健康と医療人類学	第6章健康と医療・小テスト	王 貞月
7	いのちと生きる	第7章いのちと文化・小テスト	王 貞月
8	まとめ 期末テスト	まとめ、期末テスト	王 貞月

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統計学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山下 貴範、藤村 直美				演習		

授 業 概 要
本科目は基礎的な話が中心となる。統計学は、1つ1つの基礎を積み上げながら自分の中でイメージを描き、理解をしていくことが大事である。特に、扱うデータの種類や性質などが分かっていると、そこから先の統計学の理解が難しくなる。そのため、最初に医療データの種類や医療データ解析事例を説明する。そして前半は基礎となる特徴記述統計の理解を中心に解説する。後半の推測統計では標本の扱い、推定、検定の手法についての理解を中心に解説する。統計学は各分野での学修の基礎となる、今後の研究的思考に活かせるように学修する。

到 達 目 標
1. 因療データの種類、性質を理解できる 2. データを収集するための計画・立案ができる 3. データの種類を把握し、基本統計量を求めることができる 4. 統計検定の流れを把握し、正しく検定の判断ができる 5. 統計解析デザインの重要性を理解できる 6. 目的に沿った検定手法を用いることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP
☐ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
出席 + 試験結果

教 科 書
講師資料、基礎医学統計学改訂第7版

参 考 図 書

留 意 事 項
1～5コマ目はExcel実習を行う。タブレットを持参すること。

オフィスアワー等
質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統計学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山下 貴範、奥井 佑				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	概論 医療データの現状	医療データの種類、特徴	山下貴範
2	医療データ解析の目的	解析の目的（医療データ解析事例を元に）	山下貴範
3	医療データ解析の目的	統計分析の目的、基本的な用語、研究種類、解析方法の概要	山下貴範
4	記述統計1 1変量データの記述（代表値、散布度）	代表値（最頻値・中央値・平均値）、散布度（範囲・分位点、パーセンタイル、分散、標準偏差）	山下貴範
5	記述統計2 2変量データの記述	クロス表、散布図	山下貴範
6	記述統計3 2変量データの記述	2変量データの関連指標（カイ二乗値、クラメール関連指数、相関係数）	奥井 佑
7	推測統計 1 確率・確率分布	確率、確率分布（離散型、連続型）	奥井 佑
8	記述統計のまとめ	記述統計および確率について、演習問題	奥井 佑
9	推測統計 2 推定	母集団と標本、推定（点推定、区間推定）	奥井 佑
10	推測統計 3 検定	検定（帰無仮説、対立仮説）、独立性の検定、ノンパラメトリック検定	奥井 佑
11	推測統計のまとめ	推測統計1－3について、演習問題	奥井 佑
12	推測統計4 解析手法	単変量解析～多変量解析	奥井 佑
13	統計デザイン	統計解析におけるデザインの重要性	奥井 佑
14	統計学と医療データ	いままでの授業のまとめ、演習問題	奥井 佑

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統計学	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
山下 貴範、藤村 直美				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	統計と機械学習	機械学習手法の説明と統計手法の違い	奥井 佑

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語Ⅱ（医療文献読解）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
Aleles Jonathan				演習		

授 業 概 要
“Medical English 2” is the first in a series of two courses intended for 1st year students in the Faculty of Health Sciences as part of their integrated English curriculum. Through the medium of English, students will integrate vocabulary building and recycling, reading & notetaking, controlled grammar practice, and short writing tasks via healthcare scenarios in a Japan-specific context.

到 達 目 標
・Understand longer (relative to spring semester), level-appropriate reading texts about healthcare scenarios and be able to understand the gist of each as well as important details. ・Achieve mastery of the medical vocabulary encountered in Medical English 1 and relative control of newly-introduced terms. ・Achieve complete mastery of basic- and intermediate-level English grammatical forms and constructions encountered in Medical English 1. ・Write grammatically correct paragraphs that synthesize concepts, grammar, and vocabulary in end-of-unit short writing assignments.

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
pre-study : Prepare for class by reviewing the relevant sections of the textbook beforehand. post-class study : Use textbooks, lecture materials, and reference materials to organize what you have learned and deepen your understanding.

対応DP
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
○ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
Quizzes & tests 67%
Attendance 15%
Homework 18%

教 科 書
Vital Signs 2: Reading & Writing by Vivian Morooka & Terri Sugiura (Nan’ un-do) (ISBN978-4-523-17755-5)

参 考 図 書
Additional materials may be made available online.

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語Ⅱ（医療文献読解）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
Aleles Jonathan				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	Introduction / Unit 2		Aleles Jonathan
2	Unit 3		Aleles Jonathan
3	Unit 4		Aleles Jonathan
4	Review		Aleles Jonathan
5	Test 1		Aleles Jonathan
6	Unit 5		Aleles Jonathan
7	Unit 6		Aleles Jonathan
8	Unit 7		Aleles Jonathan
9	Review		Aleles Jonathan
10	Test 2		Aleles Jonathan
11	Unit 9		Aleles Jonathan
12	Unit 11		Aleles Jonathan
13	Unit 12		Aleles Jonathan
14	Review		Aleles Jonathan

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語Ⅱ（医療文献読解）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
Aleles Jonathan				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	Test 3		Aleles Jonathan

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人体機能学	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 裕二				演習		

授 業 概 要
人体構造学を基礎として、生体の生命活動や恒常性（ホメオスタシス）の維持に関与する事象を解剖学・生理学的な視点から学ぶ。生物は体内に物質を取り込み、外部からの刺激に反応して生活を営んでいる。また成長し種の保存をはかり、老化し死を迎える。このように生体内で生じる種々の反応や、その反応系に異常を来して生じた事象について形態機能学的に説明する。人体の構造と機能を関連させて学ぶことにより、看護の対象の健康の保持・増進を科学的根拠に基づいて支援できるように学修する。

到 達 目 標
1. 人体の構造および機能について関心をもち、積極的に学修する態度を身につける。 2. 細胞および各器官系の機能について、形態と関連づけて説明できる。 3. 各機能が障害されたときに出現する症状や回復機序について説明できる。 4. 高次脳機能について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：事前に提示された講義資料を確認し、該当する範囲のテキストを熟読して授業に臨む。 事後学修：講義内容を復習し、重要な項目については各自、ノートにまとめる。また、次の講義で実施される確認テストの準備を行う。

対応DP
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（80％），国家試験対策問題解答（10％），小テスト(10%)

教 科 書
人体の構造と機能 第6版：上田晃，内田さえ，鍵谷方子，原田彰宏（編著），医歯薬出版，2023.

参 考 図 書
1. 生理学テキスト 第9版：大地陸男（編集），文光堂，2022. 2. 目でみるからだのメカニズム 第2版：堺 章（著），医学書院，2016. 3. ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能①；解剖生理学：武田裕子，林正健二（編集），第5版，メディカ出版，2023. 4. ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進①；病態生理学：山内豊明（編集），第7版，メディカ出版，2023. 5. ○×問題でマスター 生理学 第5版：志村まゆら，大沢秀雄（監修），医歯薬出版，2024.

留 意 事 項
人体機能学は人体構造学（前期に学習）とともに看護師国家試験の試験科目である「人体の構造と機能」に該当する重要な科目である。連続した2コマで講義が行われるので、欠席しないように注意してください。

オフィスアワー等
基本的にはいつでも大丈夫ですが、事前にメールでアポイントを取ってください。 研究室：2号館7階 2719研究室 メールアドレス：yu.tanaka@kyoju.ac.jp

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人体機能学	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 裕二				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	序章 生理学総論	授業ガイダンス 人体の構成，細胞機能の基礎	田中裕二
2	序章 生理学総論	細胞の物質的基礎，細胞膜の興奮	田中裕二
3	第1章 血液(1)	血液の成分，血液の作用，血液量，血液の物理化学，赤血球，黄疸	田中裕二
4	第1章 血液(2)	白血球，血小板による止血，血液凝固，血液型	田中裕二
5	第2章 循環(1)	心臓・血管系の概要，心臓の機能的構造，興奮伝導系	田中裕二
6	第2章 循環(2)	心電図，心臓の機械的活動，血管系（動脈）	田中裕二
7	第2章 循環(3)	血管系（動脈），血圧測定，血管系（静脈），リンパ管系， 循環調節，特殊部位の循環，循環系の障害（心不全，ショック）	田中裕二
8	第3章 呼吸(1)	呼吸器系の概要，呼吸器系の機能的構造	田中裕二
9	第3章 呼吸(2)	呼吸運動（横隔膜および肋骨の運動，呼吸気量）， 肺の張力と肺胞表面活性物質	田中裕二
10	第3章 呼吸(3)	ガス交換，呼吸運動の調節機構，異常呼吸パターン	田中裕二
11	第4章 消化・吸収(1)	消化・吸収系の概要，消化管の構造と神経支配	田中裕二
12	第4章 消化・吸収(2)	消化管の運動，排便	田中裕二
13	第4章 消化・吸収(3)	消化液の分泌とその作用，肝臓の構造と機能， 小腸での消化・吸収，大腸での吸収	田中裕二
14	第5章 腎機能(1)	泌尿器系の概要，尿細管の機能（濾過，再吸収と分泌）	田中裕二

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人体機能学		2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
田中 裕二					演習		
回数	単 元	内 容			担当教員		
15	第5章 腎機能(2)	水の代謝と浸透圧調節，ナトリウム代謝と体液量調節， 体液の酸塩基平衡の調節，排尿			田中裕二		
16	第6章 神経(1)	神経系の要素，神経系の発生・発達・老化			田中裕二		
17	第6章 神経(2)	興奮の発生（活動電位），興奮の伝導と伝達			田中裕二		
18	第6章 神経(3)	末梢神経系（脳神経，脊髄神経），自律神経系			田中裕二		
19	第6章 神経(4)	中枢神経系（脊髄，脳幹，間脳，小脳）			田中裕二		
20	第7章 筋肉・運動(1)	中枢神経系（大脳基底核，大脳辺縁系，終脳（大脳皮質））			田中裕二		
21	第7章 筋肉・運動(2)	運動神経系の概要，神経筋接合部の興奮伝達，骨格筋の収縮			田中裕二		
22	第7章 筋肉・運動(3)	筋収縮の調節，脊髄反射，姿勢と運動の調節， 運動の発現（運動準備電位と運動電位，随意運動）， 二足歩行の生後発達			田中裕二		
23	第8章 感覚(1)	感覚の一般的性質（感覚総論）， 体性感覚（皮膚感覚，深部感覚）			田中裕二		
24	第8章 感覚(2)	内臓感覚，特殊感覚（視覚）			田中裕二		
25	第8章 感覚(3)	特殊感覚（聴覚，平衡感覚，味覚，嗅覚）			田中裕二		
26	第9章 体温調節	体温，体熱の産生と放散，体温調節，発熱と解熱，高温と低温			田中裕二		
27	第10章 内分泌(1)	ホルモン総論，ホルモンの種類と作用機序， ホルモン各論：視床下部ホルモン，下垂体ホルモン， 甲状腺ホルモン，副甲状腺（上皮小体）ホルモン			田中裕二		
28	第10章 内分泌(2)	ホルモン各論：膵臓ホルモン，副腎皮質ホルモン（糖質コルチコイド， 性ホルモン（生殖機能，性周期と妊娠），消化管ホルモン， サイトカイン			田中裕二		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人体機能学	2026年度	看護学科	2単位	60時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 裕二				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
29	第11章 高次脳機能(1)	連合野（連合野の区分，前頭連合野，頭頂連合野，側頭連合野，視覚機能，言語機能）	田中裕二
30	第11章 高次脳機能(2)	学習と記憶，睡眠と覚醒	田中裕二

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
栄養代謝学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中村 強				講義	講義	

授 業 概 要
人間は食物として取り込んだ栄養素を体内で消化吸収し、それらを化学変化させ体が必要とするものを合成し、エネルギーや生体構成成分として利用したのち、不要となったものを体外に排泄して『バランスを維持』している。この『バランスが崩れる』と健康状態に障害が発生し、日常生活にも支障をきたす。これら人間に不可欠な栄養素と栄養素の吸収などを学ぶことにより、看護を実践する際に対象の健康保持に貢献できるように基礎的知識を学修する。 加えて、栄養学的な異常と密接に関連して発症するとされると疾患についても、その概要を解説する。

到 達 目 標
1．栄養素と栄養価について説明できる。 2．食物の消化と吸収について説明できる。 3．日本人の食事摂取基準を説明できる。 4．栄養と疾患との関連を説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
定期試験、小テスト、出席などを総合的に加味する。

教 科 書
人体の構造と機能[3] 栄養学 第14版 (株)医学書院 ISBN978-4-260-03861-4

参 考 図 書
女子栄養大学栄養クリニックが教える イラストでゆる〜くわかる栄養の本 (宝島社) ISBN：978-4-299-06339-7 一生役立つ きちんとわかる栄養学 (西東社) ISBN：978-4-7916-2622-9 https://www.tyojyu.or.jp/net/kenkou-tyoju/tyojyu-shakai/sekaiichi.html (公益財団法人長寿科学振興財団)

留 意 事 項
小テストは前回の授業内容を試験範囲とする。

オフィスアワー等
質問等は、授業時、授業前後に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
栄養代謝学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中村 強				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	栄養とは. . .	ガイドンス（シラバス） 栄養と生化学 消化と吸収、同化・異化作用	中村 強
2	栄養素とは. . .	栄養の概念 生体内における代表的な化学反応 代謝マップ（エネルギー産生）	中村 強
3	糖質とは. . .	炭水化物と糖質（でんぷん） グルコース食物繊維	中村 強
4	たんぱく質とは. . .	たんぱく質、必須アミノ酸、非必須アミノ酸 食品とたんぱく質の栄養価	中村 強
5	脂質とは. . .	脂質（油脂） 必須脂肪酸、非必須脂肪酸 多価不飽和脂肪酸、飽和脂肪酸	中村 強
6	ビタミン、無機質とは. . .	ビタミンの種類と機能 無機質の種類と機能	中村 強
7	食事摂取基準	日本人の食事摂取基準 成長・生活と栄養	中村 強
8	栄養療法 まとめ	栄養障害と疾患 経管栄養の注入液	中村 強

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
病理学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中川 和憲				講義		

授 業 概 要
人体構造学、人体機能学、微生物学などの学びを基に、病気の原因、病気の発症・進展の過程、炎症、腫瘍などの知識を学び、それらの病変が組織や臓器に現れた場合の健康障害の成り立ちについて学修する。病気は器官・組織・細胞に特徴的な変化をもたらすため、それを調べることで病気の原因と成り立ちを知ることができる。本科目では病気になった人の身体に生じている変化について学び、この病理学の学びから疾病を理解し、疾病に罹患したヒトを看護するうえでの基礎的知識を学修する。

到 達 目 標
1. 病気の原因、誘因、転帰を説明できる 2. 循環障害による主な疾患の病理を説明できる 3. 感染症の定義と主な免疫、自己免疫疾患の病理を説明できる 4. 主な感染症の病原体の病理を説明できる 5. 先天異常と遺伝子の病理を説明できる 6. 代謝障害や加齢に伴う諸臓器の変化、死の定義について説明できる 7. 腫瘍の定義と分類を説明できる 8. 臓器の特徴に応じた疾患の特徴を理解できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し理解を深めておくと同時に、難解な箇所を明確にして授業に臨む 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深く関連分野の過去問を解くなどして、自己の知識の再確認に努める

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（100%）最終試験で60%以上の得点を単位取得の必須要件とする。 評価が「D（不可）」であった場合は、1度に限り再試験を実施する。

教 科 書
1. 医学書院 病理学 疾病のなりたちと回復の促進① 2. 配布資料

参 考 図 書
1. 医学書院 病態生理学 人体の構造と機能① 2. メディカ出版 ナーシンググラフィカ 病態生理学 疾病の成り立ち①

留 意 事 項
理解度は、指名して確認する場合もあるので、スライドや資料での要点項目、キーワードは、自己の言葉で説明できるようまとめておくこと。扱いテーマに関連の国試を演習としてMoodleに設定するので、積極的に利用のこと。

オフィスアワー等
オフィスアワー：講義前後および昼休み。時間を取る場合、事前連絡が望ましい。 連絡先メール：Moodleメッセージ機能にて連絡可能です。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
病理学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中川 和憲				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	病理学で学ぶこと	病理学で学ぶこと、病気の内因と外因、傷害と適応	中川和憲
2	循環障害 1	浮腫 充血・うっ血、出血、血栓と塞栓	中川和憲
3	循環障害 2	側副循環、ショック、高血圧、DIC	中川和憲
4	炎症	炎症要因、主徴、炎症のメディエーター、炎症の各型	中川和憲
5	免疫 1	免疫とは、免疫に関する細胞、液性免疫、細胞性免疫	中川和憲
6	免疫 2	アレルギー、免疫不全、移植と拒絶反応、再生医療	中川和憲
7	感染症 1	病原体と毒素、感染経路、主な病原体と感染症	中川和憲
8	感染症 2	主な病原体と感染症、菌交替症、薬剤耐性菌と医療関連感染	中川和憲
9	代謝障害	脂質、糖質、タンパク代謝異常、痛風、黄疸	中川和憲
10	老化と死	加齢に伴う諸臓器の変化、個体の死、植物状態	中川和憲
11	先天異常	先天異常の分類、外因と先天疾患	中川和憲
12	遺伝子の異常と疾患	遺伝子の変異と多型、遺伝子異常・染色体異常と疾患	中川和憲
13	腫瘍 1	腫瘍の定義：分類・特徴、腫瘍の増殖と浸潤・転移	中川和憲
14	腫瘍 2	悪性度と病期、腫瘍の発生病理（原因と発生機序）、マーカー	中川和憲

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
病理学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中川 和憲				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	代表的疾患、まとめ	代表的な臓器疾患の病態概要とまとめ	中川和憲

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
微生物学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中山 浩次				講義	講義	

授 業 概 要
感染症は医学上もっとも重要な疾患の一つである。最近では新型コロナウイルスによる感染症(COVID-19)が世界を震撼させ、生活スタイルまでもが変化を余儀なくされた。さらに新たな病原体による感染症や院内感染などが社会的に危惧されている。病原体の種類と、これらがどのようにヒトと関わり感染症を引き起こすのかについて学ぶ。さらに感染症の予防および制御の重要性と方法を理解する。これらの知識を活かして、看護の現場で感染症に対して適切に対応できるようにする。微生物学の知識が看護の対象者のより良い健康に寄与できるように学修する。

到 達 目 標
1. 微生物の分類と特徴を説明できる 2. 病原体に対する宿主の非特異的および特異的生体防御機構を説明できる 3. 消毒・滅菌の意味を理解し、具体的な方法を説明できる 4. 主な病原体の性状、病原性、治療、予防について説明できる 5. 感染症の予防対策について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：教科書等で該当箇所を目を通してから授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする（学習ポイントのプリントを中心に）

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験を行い、授業内容の理解度と目標到達度を確認する。100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

教 科 書
南嶋 洋一、吉田 眞一、永淵 正法、齋藤 光正、大野 真治：「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4 微生物学」第14版（医学書院）

参 考 図 書
1. 柳 雄介、林 哲也、山崎 晶：「戸田新細菌学」改訂35版 南山堂 2. 齋藤 光正：「イラストでわかる微生物学超入門 病原微生物の感染のしくみ」 南山堂

留 意 事 項
講義スライドの中で特に重要なものを配信する。

オフィスアワー等
講義開始前・終了後

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
微生物学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
中山 浩次				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	微生物学の基礎	ガイダンス 微生物と微生物学、細菌の性質、ウイルスの性質、真菌の性質	中山 浩次
2	感染とその防御 1	感染と感染症（感染とは、微生物感染の機構） 感染症に対する生体防御機構（自然免疫、獲得免疫）	中山 浩次
3	感染とその防御 2	滅菌と消毒、感染症の検査と診断、感染症の治療、感染症の現状と対策	中山 浩次
4	病原細菌と細菌感染症 1	グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌、グラム陰性通性桿菌、カンピロバクター属、ヘリコバクター属	中山 浩次
5	病原細菌と細菌感染症 2	グラム陽性桿菌、抗酸菌と放線菌、嫌気性菌、スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア	中山 浩次
6	病原ウイルスとウイルス感染症 1	DNAウイルス、RNAウイルス 1（オルトミクソウイルス、パラミクソウイルスなど）	中山 浩次
7	病原ウイルスとウイルス感染症 2	RNAウイルス 2（レトロウイルス、肝炎ウイルス、腫瘍ウイルスなど）、プリオン	中山 浩次
8	病原真菌と真菌感染症 寄生虫と衛生動物 まとめ	真菌、寄生虫（原虫・蠕虫）、衛生動物、まとめ	中山 浩次

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
薬理学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
小林 英幸				講義		

授 業 概 要
多数の薬が使用されている臨床の現場では、薬の特徴や作用を理解することは非常に重要である。 ①薬物の体内動態と作用部位、 ②薬物の作用機序と薬理作用（どうして薬が効くのか）、 ③薬物の臨床適用（どのような効果を示すか）、 ④薬物の副作用とその対策（副作用の出現を察知し、看護師としてどう対応するか）、以上について薬理学の基礎知識と薬物治療の基本について学修して看護に活かせるようにする。薬物は人間にとっては毒にも薬にもなり得る。薬物療法を受ける人の健康の質を支えられるように学ぶ。

到 達 目 標
1. 人体(各器官)のしくみとそれに関連する薬物の種類について説明できる。 2. 薬の作用機序・薬理作用・有害作用についての知識を活用することができる。 3. 薬剤を扱ううえで、薬の作用・副作用等の看護業務に必要な知識について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：講義内容に関連する項目を予習して授業に臨む。 事後学修：講義資料を参照して各章末ゼミナールを用いて復習する。

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験、授業態度及び出席状況等により総合的に判定する。 100点中60点以上が合格。

教 科 書
吉岡充弘他【著】系統看護学講座 専門基礎分野 『疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学』 第15版 医学書院2023 講義資料を配付する。

参 考 図 書
田中千賀子・加藤隆一【編】 2017。

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問は随時受け付けます。口頭、メール等で質問して下さい。

実 務 経 験

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
薬理学		2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
小林 英幸					講義		
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	薬理学総論1	薬理学を学ぶにあたって、薬が作用するしくみ			小林 英幸		
2	薬理学総論2	薬の体内挙動、薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子			小林 英幸		
3	薬理学総論3	薬物使用の有益性と危険性、薬と法律、看護業務に必要な薬の知識			小林 英幸		
4	抗感染症薬	感染症治療に対する基礎事項、抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス・抗寄生虫薬			小林 英幸		
5	抗がん薬・免疫治療薬	がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論、免疫系の基礎知識、免疫抑制薬・免疫増強薬・予防接種薬			小林 英幸		
6	抗アレルギー薬・抗炎症薬	抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬、炎症と抗炎症薬、関節リウマチ・痛風・抗尿酸血症治療薬			小林 英幸		
7	末梢での神経活動に作用する薬物 1	神経系による情報伝達			小林 英幸		
8	末梢での神経活動に作用する薬物 2	自律神経系作用薬・筋弛緩薬・局所麻酔薬			小林 英幸		
9	中枢神経系に作用する薬 1	中枢神経系の働きと薬物、全身麻酔薬・催眠薬・抗不安薬・麻薬性鎮痛薬			小林 英幸		
10	中枢神経系に作用する薬 2	抗精神病薬・抗うつ薬・パーキンソン症候群・抗てんかん薬			小林 英幸		
11	循環器系に作用する薬物 1	降圧薬・利尿薬・狭心症治療薬・心不全治療薬			小林 英幸		
12	循環器系に作用する薬物 2	抗不整脈等治療薬・脂質異常症治療薬・血液凝固系・血液に作用する薬物			小林 英幸		
13	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	呼吸器系・消化器系・生殖器系に作用する薬			小林 英幸		
14	物質代謝に作用する薬物	ホルモンとホルモン拮抗薬・甲状腺疾患治療薬、視床下部・下垂体ホルモン、骨粗鬆症治療薬、治療薬としてのビタミン			小林 英幸		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
薬理学	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
小林 英幸				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	薬物療法の実際	救急に用いられる薬、薬理学のまとめ	小林 英幸

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション概論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
				講義		

授 業 概 要
日本の医療の高度化により死亡率は低下した反面、障害をもつ人は増加した。また、高齢化によっても障害をもつ人は増加している。障害をもつ人々の生活の質を高めるリハビリテーションの概念は、当事者およびその家族にとって重要である。リハビリテーションにおける看護は対象である人間を、健康障害や障害を持ちながらも生活者としてとらえ、その人らしく生きることを支援し生活の質（QOL）を高めていけるように援助することにある。リハビリテーションの必要な人を支援するための基礎的知識として、リハビリテーションの定義や歴史、倫理、種類およびリハビリテーションに関連する概念や、看護におけるリハビリテーションについて学修する。

到 達 目 標
1．リハビリテーションとは何か説明できる 2．リハビリテーションの種類と特徴を説明できる 3．看護におけるリハビリテーションについて説明できる 4．リハビリテーションの対象を生活者として捉えるICFについて説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：事前に提示する配布資料を読んでおく。 事後学修：疑問点、不明点について調べ解消しておく。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（100％）

教 科 書
系統看護学講座 リハビリテーション看護（医学書院）

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション概論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	リハビリテーションとは	ガイダンス リハビリテーションの歴史・定義、障害とは	
2	リハビリテーションにおける倫理、法律、施策	リハビリテーションの領域、障がい者の権利、法律とサービス	
3	国際生活機能分類（ICF）とは	ICIDHとICF、ICFで人間の生活を考える	
4	リハビリテーション看護	リハビリテーション看護とは、リハビリテーション看護の対象	
5	地域におけるリハビリテーション	地域におけるリハビリテーション	
6	リハビリテーション看護の方法	片麻痺体験を通しアセスメント、援助方法（セルフケアの援助を中心に）について考える	
7	健康障害とリハビリテーション	健康障害とリハビリテーション	
8	専門職とリハビリテーション	理学療法・作業療法・言語療法と看護	

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
家族看護論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
竹元 仁美				講義	講義・演習	

授 業 概 要
家族はシステムとしての特徴を有しながら発達している。多様化し激動する社会の変容に伴い、家族構成員個々の選択と決定が優先されるようになり、家族が抱える課題や苦悩も多様化・複雑化している。特に健康問題に関しては、家族を1ユニットとして看護の対象と捉え、家族の構造・発達段階・機能を総合的にアセスメントし、家族が持つ力を十全に引き出し、課題解決能力を高める支援をすることが望まれる。この科目では、家族看護を展開する上で重要な基礎的知識・理論を理解し、課題・苦悩を抱える家族への支援方法を講義・演習を通して学修する。

到 達 目 標
1. 看護の対象としての家族について述べることができる 2. 家族を援助するときの基本姿勢について述べることができる 3. ジェノグラム・エコマップを基にして家族構造・発達・機能のアセスメントができる 4. 3のアセスメントに基づき、家族看護介入計画が立案できる 5. 患者・家族の抱える苦悩に寄り添う看護について述べるができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当するテーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：授業終了時のリフレクションを行う、当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
1．上別府圭子系 統看護学講座別巻 家族看護学 医学書院

参 考 図 書
1．森山美知子 ファミリーナースィングプラクティス 医学書院 2．小林奈美 グループワークで学ぶ家族論第2版 医歯薬出版 3．鈴木和子・渡辺裕子 家族看護学理論と実践第4版 日本看護協会出版会

留 意 事 項
小説、映画、ドラマ等でいろいろな家族に出逢います。その家族の一員として疑似体験をして、対処の理解を深めることや、感性を磨くことを期待します。

オフィスアワー等
昼休み時間、研究室2710

実 務 経 験
助産師としての臨床経験12年以上、リプロダクティブヘルス相談支援員10年以上

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
家族看護論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
竹元 仁美				講義	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	家族の基本概念、家族看護の基盤理論、家族発達理論	家族とは、家族看護の特徴と理念、家族看護の実践の場面 家族の発達段階における課題	竹元 仁美
2	家族アセスメント（ジェノグラム・エコマップ）	ジェノグラム（家族図）、エコマップ（関係性図）についての基本的理解	竹元 仁美
3	家族看護に必要な理論、カルガリー家族アセスメントモデル・カルガリー家族介入モデル	家族を理解するための基盤理論（家族システム理論、危機理論、コミュニケーション論、等）、カルガリー家族アセスメントモデル(CFAM)、カルガリー家族介入モデル(CFIM)についての基本的理解	竹元 仁美
4	健康問題を持つ家族への看護	健康課題を抱える家族への看護の実践【事例で考える】	竹元 仁美
5	健康課題を抱えた家族のアナザーストーリーを創る 1	家族関係について理解を深め、それぞれの家族の苦悩について考える（グループワーク 1）	竹元 仁美
6	健康課題を抱えた家族のアナザーストーリーを創る 2	グループワーク 1 で創作した家族のアナザーストーリーの発表資料を作り、発表する（グループワーク 2）	竹元 仁美
7	ACP（Advance Care Planning）家族の人生会議	人生のEndingにおける家族のあり方について、ワークを通して考える（グループワーク 3）	竹元 仁美
8	臨床場面で家族看護を展開するために	家族の多様性や課題に寄り添う家族看護の実践	竹元 仁美

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅰ（専門職連携の基礎）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子				演習		

授 業 概 要
保健・医療・福祉の統合が進む社会状況にあって、その場で働く職種には各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人的支援を行うには、関連職種連携が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性やチーム医療やチームケアについて学び、関連職種との協働に必要なコミュニケーション能力を身につけられるようにする。本科目では、専門職連携についての基本的な考え方を学ぶ。

到 達 目 標
1. チーム医療・チームケアの必要性や意義を説明できる 2. 専門職連携に求められるコンピテンシーについて説明できる。 3. 各医療専門職の種類と機能について説明できる 4. グループワークを通して、専門職連携に必要なコミュニケーションについて説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
○ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。
◎ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
課題レポート、事前事後課題

教 科 書
講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
教室：1～13回、及び15回は2101（メインホール）、14回（GW）は未定

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅰ（専門職連携の基礎）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	専門職連携に求められる心構え	・オリエンテーション ・なぜ専門職連携教育を学ばなければならないか？	全員
2	IPEの基礎	・保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携 ・IPE展開のための基礎知識	全員
3	国際疾病分類の理念	・専門職種間連携教育（IPE）の展開のための基礎知識 1 ・国際疾病分類（WHO ICF）の理念	全員
4	チーム医療と チームビルディング	・チーム医療のあり方 ・チームビルディングの理論と実際 ・チームビルディングに求められるコミュニケーションスキル	全員
5	専門職連携に求められる コンピテンシー	・なぜ専門職連携が必要なのか ・専門職連携教育の重要性 ・専門職連携の定義 ・専門職連携の利点 他	全員
6	リーダーシップ、 メンバーシップ	リーダーシップ、メンバーシップ（講義） 8回以降の事前学習について説明	全員
7	医療専門職の機能と連携 ①	（事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる） 看護師・助産師・保健師の体験（教育制度、機能・役割 事例など）（講義）	全員
8	医療専門職の機能と連携 ②理学療法士	（事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる） 理学療法士、作業療法士の体験（教育制度、機能・役割 事例など）（講義）	全員
9	医療専門職の機能と連携 ③作業療法士	（事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる） 理学療法士、作業療法士の体験（教育制度、機能・役割 事例など）（講義）	全員
10	医療専門職の機能と連携 ③福岡和白病院 言語聴覚士	（事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる） 言語聴覚士の体験（教育制度、機能・役割、事例等）（講義）	全員 ST
11	医療専門職の機能と連携 ④福岡和白病院 薬局長薬剤師	（事前学習：薬剤師の種類、教育制度、機能・役割について調べる） 薬剤師の体験（教育制度、機能・役割、事例等）（講義）	全員 薬剤師
12	医療専門職の機能と連携 ⑤福岡和白病院 管理栄養士	（事前学習：栄養士の種類、教育制度、機能・役割について調べる） 管理栄養士の体験（教育制度、機能・役割、事例等）（講義）	全員 管理栄養士
13	医療専門職と福祉専門職の 連携 福岡和白病院入退院支援室 ソーシャルワーカー	（事前学習：ソーシャルワーカーの教育制度、機能・役割について調べる） ・医療と福祉の専門職に関する知識（種類、法・制度） ・医療と福祉の接点（連携）（講義）	全員 ソーシャルワーカー
14	グループのまとめ	専門職について調べたことや体験談をきいて、実際との違い、新たに発見したことについてグループでまとめ、発表の準備をする（GW）	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅰ（専門職連携の基礎）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	グループ発表 総括	グループのまとめを発表する（GW） 発表：5分/1G×15G(75分) 総括：15分	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護実践論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
児玉 裕美、大村 由紀美				講義		

授 業 概 要
看護を实践するためには、科学的根拠に基づいた判断と行動が求められる。看護の対象の生活（QOL）を支え、よりよい健康を保持・増進するためには、その基盤となる理論を理解することが重要である。看護理論は、多くの先人の研究と実践の積み重ねのもとに構築されてきた看護学に不可欠なものである。本科目では、ヴァージニア・ヘンダーソンやドロセア E. オレムなどの主要な看護理論を取り上げ、科学的に看護を实践するための基礎を理解する。また、看護実践において重要となる看護者としての態度や人間性についても理解を深める。

到 達 目 標
1. 看護者に求められる人間性について説明できる 2. 対象者を全人的に把握する視点を説明できる 3. 看護実践の基盤となる主要な看護理論の概念や特徴を説明できる 4. 看護実践における看護理論の活用について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（70％）、課題レポート（30％）を総合して60点以上を合格とする

教 科 書
1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔1〕 看護学概論 第18版 医学書院 茂野香おる 2. 看護の基本となるもの 最新装版 日本看護協会出版会 ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯楨ます・小玉香津子訳

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項

オフィスアワー等
月曜日16～18時 研究室（2711室）

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、臨床現場における看護活動の実務経験を活かして講義する

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護実践論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
児玉 裕美、大村 由紀美				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス 看護実践の基盤	①科目のガイダンス ②看護実践とは ③看護者に求められる人間性	児玉裕美
2	看護理論とは	①看護理論の基礎知識	児玉裕美
3	看護実践の基盤となる看護理論①	①治る力を引き出すための対象理解 ②看護現象を理解するための諸理論（ニード論・発達課題）	児玉裕美
4	看護実践の基盤となる看護理論②	①看護現象を理解するための諸理論（危機理論、ストレス・コーピング、保健行動）	大村由紀美
5	看護実践の展開	①ヴァージニア・ヘンダーソンの理論を用いた看護実践の展開	児玉裕美
6	看護実践に活用する看護理論①	①ヒルデガード E. ペプロウ ②ジョイス・トラベルビー	大村由紀美
7	看護実践に活用する看護理論②	①シスター・カリスタ・ロイ ②ドロセア・オレム	大村由紀美
8	看護実践に活用する看護理論③	①パトリシア・ベナー ②ジーン・ワトソン	大村由紀美

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
ヘルスアセスメント	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松井 聡子、児玉 裕美、辻 慶子、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				演習		

授 業 概 要
既修の人体構造学やコミュニケーション論を活用しながら、看護の対象である「人間」の健康課題を把握するために身体的・精神的・社会的側面からアセスメントする意義を理解する。これは対象を全人的に理解し、看護を科学的に実践する基本となる。ヘルスインタビューやフィジカルイグザミネーションの技術を修得し、ヘルスアセスメントの方法を学ぶ。対象への問診・視診・聴診・打診・触診の技術を通して、科学的根拠に基づいて対象の健康課題に対応できるように学修する。

到 達 目 標
1. 看護におけるヘルスアセスメントの目的と意義を説明できる 2. 全身を概観する必要性について説明できる 3. バイタルサインの基本的知識・技術を修得できる 4. フィジカルイグザミネーションの基本的な技術を修得できる 5. 問診、フィジカルイグザミネーションで得た情報をもとに対象のヘルスアセスメントができる 6. ヘルスアセスメントを行ううえでの倫理的配慮・態度を遵守できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：教科書の該当する単元を事前に読み、授業に臨む 指定された事前学習（配布資料や動画の視聴、小テスト等）と、該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをし、看護技術については自主的に練習に取り組む

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（60％）、課題レポート（30％）、技術試験（10％）を総合的に評価し60点以上を合格とする

教 科 書
①系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ，第19班，医学書院，茂野香おる. ②系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ，第19班，医学書院，任和子.

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項
定期試験受験資格：出席回数が授業回数の4/5以上であること。欠席6回目で受験資格喪失となる。＊30分以上の遅刻・早退・不在は欠席とする 技術試験受験資格：バイタルサインの講義、演習に参加していること。

オフィスアワー等
月曜日（12時10分～13時） 7階担当教員の研究室

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、臨床現場における看護活動の実務経験を生かして講義・演習を展開する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
ヘルスアセスメント	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松井 聡子、児玉 裕美、辻 慶子、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス ヘルスアセスメントの概要	①ヘルスアセスメントの意義・目的 ②ヘルスアセスメントに必要な技術 ③ヘルスアセスメントに必要な配慮	松井
2	全身の概観	①ヘルスインタビュー ②全体の概観 ③ヘルスインタビューの実際	松井
3	バイタルサイン①	①バイタルサイン測定の意義 ②バイタルサイン測定のための基礎知識 ③ 体温・脈拍・呼吸測定の目的・方法	松井
4	バイタルサイン②	①血圧計の各部位の名称・仕組み ②血圧測定の目的・方法 ③意識レベル	松井
5	演習：バイタルサイン①	体温・脈拍・呼吸・血圧のアセスメントの実際①	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
6	演習：バイタルサイン②	体温・脈拍・呼吸・血圧のアセスメントの実際②	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
7	演習：バイタルサイン③	体温・脈拍・呼吸・血圧のアセスメントの実際③	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
8	消化器のアセスメント	①腹部・消化器のフィジカルアセスメントの目的 ②腹部・消化器のフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメント ③腹部・消化器のフィジカルイグザミネーションに必要な倫理的配慮	野田
9	運動器のアセスメント	①筋・骨格系のフィジカルアセスメントの目的 ②筋・骨格系のフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメント ③筋・骨格系のフィジカルイグザミネーションに必要な倫理的配慮	野村
10	演習：消化器・運動器	①腹部の問診・視診・聴診・打診・触診 ②筋・骨格系：問診・視診・触診、ROM・MMT の測定など	野田、野村、松井、辻、児玉、大村、西原、荒木
11	技術確認①	バイタルサインの確認	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
12	技術確認②	バイタルサインの確認	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木
13	呼吸・循環器アセスメント	①呼吸器・循環器のフィジカルアセスメントの目的 ②呼吸器・循環器のフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメント ③胸部のフィジカルイグザミネーションに必要な倫理的配慮	松井
14	演習：呼吸・循環器系	①胸部の基準線の確認 ②心臓の解剖学的位置の確認 ③問診・視診・触診・打診・聴診	松井、辻、児玉、大村、西原、野村、野田、荒木

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
ヘルスアセスメント	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
松井 聡子、児玉 裕美、辻 慶子、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	神経系のアセスメント・ヘルスアセスメント	①神経系のフィジカルアセスメントの目的②神経系のフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメント ③神経系のフィジカルイグザミネーションに必要な倫理的配慮 ④意識レベル、瞳孔計、対光反射の測定など	松井

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活援助実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
				実習		

授 業 概 要
看護の対象となる生活する人間の日常生活行動を理解し、安全・安楽・自立に考慮した援助を提供するために必要な基礎的知識を学ぶ。基本的な看護援助技術として看護におけるコミュニケーション、観察・記録・報告、スタンダードプリコーション、ベッドメイキング、移動、清拭、寝衣交換、洗髪、足浴、食事の介助などを修得する。提供する看護技術のどれもが対象の健康や生活の質（QOL）に影響する。併せて日常生活援助技術を行う上での倫理的配慮や看護者としての態度についても学修する。

到 達 目 標
1. 日常生活援助の目的や意義について説明できる 2. 看護援助に共通する技術の基礎的な知識につて説明できる 3. 日常生活援助の基盤となる安全・安楽・自立の概念について説明できる 4. 日常生活援助技術の基礎的な知識について説明できる 5. 日常生活援助技術における科学的根拠に基づく技術を修得できる 6. 日常生活援助を行う上で必要な態度、倫理的配慮を理解した行動ができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：教科書の該当する単元を事前に読み、授業に臨む 指定された事前学習（配布資料やMoodleの視聴、小テスト等）と、該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをし、看護技術については自主的に練習に取り組む

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（60％）、出席状況と課題レポート（30％）、技術試験（10％）を総合的に評価し60点以上を合格とする 客観試験の受験条件：出席回数が授業回数の4/5以上（欠席7回目で受験資格喪失）。 技術試験の受験条件：体位変換、寝衣交換、全身清拭の演習に全て出席

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ メディカ出版

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項
単位修得が後期の生活援助実習の履修条件となるため欠席しないこと。 7/23（火）1・2限は実技試験の予備日（再試験日）の予定。

オフィスアワー等
火（12時10分－13時）、水（12時10分－13時） 2号館7階・担当教員の研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
カウンセリング論	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
富岡 光直				講義	講義	

授 業 概 要
カウンセリングの基本的なテクニックについて、具体的な事例や技法を通して学ぶ。 クライアントの立場に立って、カウンセリング体験について学ぶ。 医療におけるカウンセリングの重要性について理解する。

到 達 目 標
1. カウンセリングの意義と過程について説明することができる 2. カウンセリングに用いられる基本的なテクニックについて説明することができる 3. 看護におけるカウンセリングの重要性について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：各授業のテーマに該当する内容について自主的に調べ、配布資料に目を通しておく 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・小テストの受験

対応D P
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
授業取組（毎回の授業での振り返り等の課題：40%）と定期試験（60%）により評価する。

教 科 書
「メディカルスタッフのための基礎からわかるカウンセリングと心理療法」山蔦圭介著（南山堂）

参 考 図 書
カウンセリング・テクニック入門 プロカウンセラーの技法30（金剛出版）

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問等は、なるべく授業中に行うこと。 メール（m.tomioka@rhs-u.ac.jp）でも受け付けます。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
カウンセリング論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
富岡 光直				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	カウンセリング，心理療法とは何か	富岡光直
2	精神分析学	フロイトによる精神分析学の歴史 精神分析学の基本的な理論 局所論，構造論，発達論，防衛機制，感情転移	富岡光直
3	人間性心理学と来談者中心療法	人間性心理学とは 来談者中心療法の理論 来談者中心療法の技法と姿勢	富岡光直
4	人間関係と心理療法	交流分析 交流分析の理論と方法 構造分析，交流パターンの分析，ゲーム分析，時間の構造化，脚本分析。	富岡光直
5	行動主義心理学と行動療法	行動主義心理学の歴史 新行動主義心理学とオペラント条件付け 行動療法 行動分析学の新たな展開・マインドフルネス	富岡光直
6	認知療法と認知行動療法	認知療法 症例の定式化（ケースフォーミュレーション） 認知再構成法（コラム法） 認知行動療法	富岡光直
7	リラクセーション法（1）	リラクセーション法の効果 自律訓練法	富岡光直
8	リラクセーション法（2）	自律訓練法を継続し体験の共有 漸進的筋弛緩法 呼吸法	富岡光直

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白岩 美穂				演習		

授 業 概 要
韓国語Ⅰでの学びを基に、ここでのポイントは臨地の様々な現場で患者との韓国語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を学ぶ。韓国語の場合は平音・濃音・激音の発音トレーニングが重要なので、発音練習の中で、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的単語と簡単な構文を駆使した会話が成立することを目指す。医療者として実務で話す機会が多い内容で構成し、実務に役立つ会話ができるように学修する。

到 達 目 標
1. 韓国語で症状に関する会話ができる 2. 韓国語で入院中の生活に関する会話ができる 3. 韓国語で退院の案内と留意点が説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める

対応DP
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。

評 価
平常点(課題を含む)：30%、小テスト：30%、定期試験：40%

教 科 書
書名：コミュニケーション韓国語聞いて話そうⅠ(長谷川由起子) 出版社名：白帝社 ISBNコード：ISBN9784863980860

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
授業後に質問を受け付ける

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白岩 美穂				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	韓国語Ⅰの復習	①ガイダンス ②韓国語Ⅰの復習	白岩美穂
2	学年の言い方 「～も」	①12課 種類をたずねる疑問詞「何の～」 ②学年の言い表し方 ③追加を表す助詞「～も」	白岩美穂
3	所属と学年 「～を」	①12課 所属と学年を言う ②13課 対象を表す助詞「～を」	白岩美穂
4	「～が好きです」 指し示す言葉 所有・所属表現	①13課 「～が好きです」 ②サークルについて話す ③14課 指し示す言葉 ④所有・所属表現「～の」	白岩美穂
5	「～ではありません」	①14課 名詞文の否定「～ではありません」 ②持ち主について話す	白岩美穂
6	「ある・いる／ない・いない」 二重パッチムⅠ 丁寧形Ⅰ	①15課 存在表現「ある・いる／ない・いない」 ②二重パッチムⅠ ③丁寧形の語尾	白岩美穂
7	「～に」 年齢の言い表し方	①15課 場所・時・方向を表す助詞「～に」 ②存在について話す ③16課 年齢の言い表し	白岩美穂
8	「～ですね」 「～で」	①16課 発見・気づき表現「～ですね」 ②手段・方法を表す助詞「～で」 ③年齢について話す	白岩美穂
9	流音化 二重パッチムⅡ 「～が」 「～と」	①17課 流音化 ②二重パッチムⅡ ③主語を表す助詞「～が」 ④つなぎの助詞「～と」	白岩美穂
10	「～です」 「～(し)て～」 丁寧形Ⅱ	①17課 丁寧なニュアンスを加える助詞「～です」 ②並列の接続語尾「(し)て、(する)し」 ③好きなもの・好きなことについて話す ④18課 縮約を伴う丁寧形	白岩美穂
11	「(する)が」 「～で」	①18課 逆接の接続語尾「～(する)が」 ②場所を表す助詞「～で」 ③日常のおこないについて話す	白岩美穂
12	過去の丁寧形 「～(し)に」	①19課 過去の丁寧形「(し)ました、～でした」 ②行き来の目的を表す接続語尾「～(し)に（行く・来る）」	白岩美穂
13	予定についての言い方	①19課 過去の出来事について話す ②20課 予定・つもりを表す表現	白岩美穂
14	希望表現	①20課 希望表現「～(し)たいです」 ②予定について話す	白岩美穂

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
白岩 美穂				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	韓国語Ⅱのまとめ	12課～20課復習	白岩美穂

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
郭 路 篤				演習		

授 業 概 要
中国語Ⅰでの学びを基に、ここでのポイントは臨地の様々な現場で患者との中国語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を学ぶ。中国の場合は四声の発音が重要なので、発音練習の中でアクセント、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的単語と簡単な構文を駆使した会話が成立することを目指す。健康課題がある人に対し、医療者として実務で話す機会が多い内容で構成し、実務に役立つ会話ができるように学修する。

到 達 目 標
1. 中国語で症状に関する会話ができる 2. 中国語で入院中の生活に関する会話ができる 3. 中国語で退院の案内と留意点が説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP
☒ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
1) 授業到達目標への到達努力の評価 2) 最終到達度の評価

教 科 書
講師資料

参 考 図 書
芦 益平・黄 冬柏『漢語生活会話』 白帝社

留 意 事 項
講義中は教授者の指示がないかぎりスマホ等の通信機器は電源をお切り下さい。

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
郭 路 鶯				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	身体の基本部位	授業ガイダンス 身体の基本部位の名称	郭 路 鶯
2	心配しないで 別緊張	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
3	どうしましょうか 你需要帮忙吗？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
4	いかがですか 你哪儿不舒服？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
5	幾つかの診察の質問 请您填一下问诊表	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
6	エレベーターでどうぞ 乘坐电梯去到诊断室吧。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
7	何か症状はありますか 你有什么症状？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
8	どこが痛いですか 你那儿痛？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
9	どれくらい症状が続いてま すか 这种状况有几天了？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
10	いつから頭が痛くなりまし たか 你什么时候开始头痛？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
11	採血します 抽血检查一下。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
12	あした手術です 明天要做手术。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
13	3種類の薬があります 有三种药。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯
14	心配事がありますか 你还有什么不明白的地方？	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2026年度	看護学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
郭 路 篤				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ 総合練習	まとめ	郭 路 篤

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅳ（アレルギー、感覚器・歯・口腔）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
有信洋二郎				講義		

授 業 概 要
人体構造学、人体機能学や病理学の学修内容と関連させながら、現代の健康上の大きな課題である主なアレルギー健康障害（花粉症、食物アレルギー等）や感覚器健康障害（眼、耳鼻咽喉、歯・口腔、皮膚）の最新の治療、処置、検査について学ぶ。食物アレルギーはときに生命を脅かす場合もあり、花粉症は国民病といわれるくらい多くの人が罹患し、環境汚染（p m2.5など）も大きな問題になっている。このような健康障害に関して健康課題を持つ対象に、よりよい健康の保持と増進を指導できるようになるための基礎的知識について学修する。

到 達 目 標
1. 主なアレルギー疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる 2. 主な眼科疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる 3. 主な耳鼻咽喉疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる 4. 主な歯・口腔疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる 5. 主な皮膚疾患の原因・症状・診断・検査・治療について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 成人看護学⑪ / 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 眼 成人看護学⑬ 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 耳鼻咽喉 成人看護学⑭ / 4. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 歯・口腔 成人看護学⑮ 5. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 皮膚 成人看護学⑮ ※全て医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康障害と治療Ⅳ（アレルギー、感覚器・歯・口腔）	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
有信洋二郎				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	感覚器疾患の診断と治療1	皮膚（悪性疾患、帯状疱疹、白癬、尋常性乾癬）	古賀 哲也
2	主なアレルギー疾患と治療1	アレルギー疾患の患者の看護を学ぶにあたって、免疫のしくみとアレルギー	有信 洋二郎
3	感覚器疾患の診断と治療2	耳鼻咽喉（中耳炎、メニエール病、難聴、咽喉頭がん、副鼻腔炎、嚥下障害）	安松 千絵
4	感覚器疾患の診断と治療3	皮膚（アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎、蕁麻疹、褥瘡）	古賀 哲也
5	主なアレルギー疾患と治療2	診断・検査と治療、症状と疾患の理解	有信 洋二郎
6	感覚器疾患の診断と治療4	歯（齲歯、萌出異常、歯肉炎、歯周炎、歯性感染症）、歯の健康保持	中島 幹雄
7	感覚器疾患の診断と治療5	口腔（悪性疾患、口腔粘膜疾患）	中島 幹雄
8	感覚器疾患の診断と治療6	眼（屈折異常、白内障、緑内障、網膜剥離・糖尿病網膜症、結膜炎）、加齢黄斑変性、ベーチェット病	村田 浩司

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
放射線医学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
石神康生				講義		

授 業 概 要
近年X線診断・核医学診断に加え、X線CT、MRIや超音波診断が目ざましい発展を示し、放射線画像診断は欠くことのできない手段として、広く普及するに至っている。放射線療法が進歩する中、人口の高齢化による悪性腫瘍の増加もあり、技術革新によりピンポイントで低侵襲の放射線治療が開発され功を奏している。看護師が働く職場で画像情報を見ない日は1日も無い現状があり、これらの診断と治療を通して患者の状態を把握することは、質の高い看護につながる。日常的に遭遇する放射線を利用した診断法および治療法の基礎的知識について学修する。

到 達 目 標
1. 放射線診断と治療の目的について説明できる 2. 放射線診断と治療の実際について説明できる 3. 放射線障害と防護について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
放射線医学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
石神康生				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	放射線医学の役割（序章） 画像診断と看護（1章）	放射線科はなにをする診療科か（画像診断の役割、放射線治療の役割） 画像診断と看護	石神康生
2	画像診断各論 1（2-4章）	X線診断（X線診断の特徴、X線診断を受ける患者の看護）、CT（CTの特徴、CT検査の実際、CT検査を受ける患者の看護）、MRI（MRIの特徴、MRI検査の安全性、MRI検査を受ける患者の看護）	石神康生
3	画像診断各論 2（5-7章）	超音波検査（超音波検査の特徴、超音波検査の実際、超音波検査を受ける患者の看護）、核医学検査（核医学検査の特徴、核医学検査を受ける患者の看護、IVR・血管造影（IVR・血管造影）の特徴、IVRを受ける患者の看護）	南條勝哉
4	放射線治療総論（8章） 放射線治療と看護（9章）	正常組織の有害反応、放射線治療の特徴と目的、照射法の種類（の紹介）	白川友子
5	放射線障害（11章）	放射線の身体への影響、放射線の遺伝的影響、放射線の発がんへの影響	藤淵俊王
6	放射線防護（11章）	健康管理と放射線防護、日常診療における放射線防護、小線源治療における放射線防護と家族への影響	藤淵俊王
7	放射線治療各論 1（10章）	様々な腫瘍に対する放射線療法と看護	高木正統
8	放射線治療各論2（10章）	様々な腫瘍に対する放射線療法と看護	久野修

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護関係法規	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
鎌田 厚志				講義		

授 業 概 要
看護師が職業人として質の高い看護を提供するためには、豊かな人間性や深い専門的知識と技術が必要になる。対象となる人々の健康の保持・健康課題に対して科学的根拠のある看護実践はかかせない。その看護実践は業務上多くの法律に関係しており、看護サービスを提供する際には基盤となる法規及び関係法規を、理解しておくことが不可欠である。既修の法律を基盤として職務を遂行するための根拠や判断基準として、看護職に関する法律を学修する。

到 達 目 標
1. 看護関係法令の名称と概要について説明することができる 2. 看護関係法令の内容を的確に理解することができる 3. 国民の健康のために各種法令が果たす役割について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
1. 看護職の基本法規を理解する 2. 学習した法規を基に看護職として職務を遂行する根拠や判断基準について説明できる

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
☐
☐
☐
☐

評 価
客観試験（100％）

教 科 書
系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
質問は授業の前後に受け付けます。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護関係法規	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
鎌田 厚志				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	保健師助産師看護師法 1	イントロダクション 厚生行政の仕組み 資格について	鎌田 厚志
2	保健師助産師看護師法 2	業務の範囲 義務 医療過誤について 看護師の人材確保に関する法律	鎌田 厚志
3	医師法・医療法等	医薬品についての規定 麻薬取締法 薬剤師の資格、医師の資格 医療法の規定	鎌田 厚志
4	保健衛生法	感染症法 地域保健法 障害者総合支援法等について	鎌田 厚志
5	労働法	労働基準法 働く人が持っている権利について 育児・介護休業法	鎌田 厚志
6	社会保障法 1	医療保険制度 各保険制度の概要 医療給付、医療費について	鎌田 厚志
7	社会保障法 2	介護保険制度 介護給付、要介護認定などについて 生活保護制度	鎌田 厚志
8	その他の法律	臓器移植法など まとめ	鎌田 厚志

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護研究	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、野村 あす美、荒木 維子、野田 佳奈恵				演習		

授 業 概 要
看護の発展は研究によって支えられている。高度化・複雑化する医療の中で看護の本質を探究し、科学することで人々の生活（QOL）を支え、健康の質に寄与できるよう学修する。看護研究を行う意義、方法、倫理的配慮など看護研究の基礎的知識を学び研究に対する理解を深める。関心のあるテーマに関する文献のクリティークを行い、研究デザインや理論・概念枠組み・データ収集・測定用具・分析方法・分析結果の解釈について学修する。

到 達 目 標
1. 看護研究の概要を説明できる 2. 看護研究の意義を説明できる 3. 研究計画書作成方法を説明できる 4. 質的研究、量的研究、実験研究、文献研究について説明できる 5. 文献検索ができ、クリティークの方法を説明できる 6. 看護研究における倫理的配慮について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP
☐ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
☒ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
クリティークのための個人レポート（20％）、クリティークグループレポート（30％）、課題レポート（50％）を総合して60点以上を合格とする

教 科 書
黒田裕子： 看護研究 Step by Step、医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護研究	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、野村 あす美、荒木 維子、野田 佳奈恵				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	授業ガイダンス 看護研究の概要	①看護研究の意義と歴史の変遷 ②基本的なステップ	辻慶子 田中裕二
2	研究プロセス	①研究のプロセス ②文献検索 ③研究計画書の作成方法	田中裕二
3	研究デザイン・クリティークの方法	①クリティークの方法 ②オンラインデータベースを用いた検索	辻慶子
4	文献検索	①研究疑問と研究デザインとの関連	辻慶子
5	質的研究	①質的研究デザインと特徴 ②質的研究の種類 ③質的研究のデータ収集 ④質的研究の分析 ⑤実例	倉岡有美子
6	量的研究	①量的研究の概観 ②対象者の選定 ③データ収集方法 ④データ方法 (データの集計、記述統計、推計統計) ⑤実例	久木原博子
7	クリティーク①	①文献を読む ②グループ内でディスカッションを行う ③発表しあい共有する	辻慶子
8	実験研究	①実験法の基本構造 ②実験法の利点と弱点 ③実験法の具体的手順 ④実例	田中裕二
9	文献研究	①文献研究の種類 ②文献研究を看護分野で行うことの意義 ③実例	4月着任予定者
10	クリティーク②	①文献を読む ②グループ内でディスカッションを行う ③発表しあい共有する	辻慶子
11	クリティーク③	①文献を読む ②グループ内でディスカッションを行う ③発表しあい共有する	辻慶子
12	研究における統計処理	①変数の明確化 ②変数の種類 ③変数の種類による分析方法違いと示し方 ④データの信頼性と妥当	馬場みちえ
13	クリティーク④	①グループ内でのクリティークのまとめ	辻慶子
14	看護研究上の倫理	①看護研究における倫理	竹元仁美

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
看護研究	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、野村 あす美、荒木 維子、野田 佳奈恵				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	①クリティークのまとめ ②全体のまとめ	辻慶子 田中裕二

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
基礎看護過程実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
大村 由紀美、辻 慶子、児玉 裕美、松井 聡子、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				実習		

授 業 概 要
看護専門職者として健康課題を持つ対象者を受け持ち、倫理的配慮を基にコミュニケーション技術を用いて援助的人間関係を構築しながら一連の看護過程のプロセスを学ぶ。対象者を身体的・社会的・心理的に理解し、健康課題の問題解決に向けてアセスメント、問題の明確化、計画、実施、評価の看護過程を展開する。さらに自らの看護実践の評価を通して看護専門職者としての知識・技術・態度を修得する。また、今後の学修に向けた自己の課題を明らかにするとともに、患者を取り巻く医療チームの職種とその役割を明確にする。

到 達 目 標
1. 受け持ち患者と援助的人間関係を構築できる。 2. 受け持ち患者に対するアセスメントができる。 3. 受け持ち患者の看護問題を明らかにできる。 4. 受け持ち患者に対して看護計画を立案できる。 5. 受け持ち患者に対して計画に基づき必要な援助を実施できる。 6. 受け持ち患者の看護過程を評価・修正できる。 7. 医療チームの職種とその役割を説明できる。 8. 専門職として倫理観に基づく基本的態度で行動できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修 1. 生活援助技術に関して振り返り技術練習をしておく。 2. 看護過程、生活援助技術、診療に伴う援助技術について事前に復習しておく。 事後学修 1. 指定された記録を行い、日々の実習の学びを明らかにする。 2. 実習期間（2週間）を通して看護者としての課題を明らかにする。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
基礎看護過程実習評価表（ループリック評価表）に基づき評価し、60点以上を合格とする。 60点未満の場合の、再実習はない。

教 科 書
・ 茂野香おる：系統看護学講座 専門2基礎看護技術Ⅰ, 第19版（医学書院） ・ マージョリー・ゴードン：アセスメント覚え書 ゴードン機能的健康パターンと看護診断, 第1版（医学書院）

参 考 図 書
指定なし

留 意 事 項
看護過程（看護計画の立案から実施）が展開できるように患者の疾患・治療・薬を調べ整理しておく。 実習オリエンテーションも実習日に含む。臨地実習要項、実習の手引きに記載されている実習の留意点を遵守する。

オフィスアワー等
月曜日（17時～18時）・火曜日（17時～18時） 2 号館 7 階の大村の研究室

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、臨床現場における看護活動の実務経験を活かして実習指導を行う。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
基礎看護過程実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
大村 由紀美、辻 慶子、児玉 裕美、松井 聡子、西原 かおり、野村 あす美、野田 佳奈恵、荒木 維子				実習		

内 容
1. 実習日程：2週間（令和8年度前期） 2. 実習場所：福岡和白病院、千早病院 3. 実習内容 患者を1名受け持ち、看護過程を展開しながら患者に必要な援助を行う。 1) 看護過程の展開 情報収集、情報の分析、看護問題の明確化、看護計画立案、実施、評価の一連のプロセスをたどる。 なお、患者に考えられる看護問題を1つ以上あげ、その問題についての看護計画を立案し実施、評価する。 2) 援助技術の実施 受け持ち患者に必要な日常生活援助を実施する。 4. 実習記録について 1) 所定の記録用紙に記録する。記録用紙は別途提示する。 2) 記入方法・管理については、臨地実習要項および手引き・記録様式を参照する。 3) 提出（提出記録・方法・提出期限）については、手引きを参照する。 5. スケジュール ＊変更が生じた場合には連絡する 実習オリエンテーション：8月12日、8月27日 1クール目；8月28日-9月8日・9月24日 2クール目；9月9日-9月18日・9月25日 （＊グループ配置は別途、提示する） 1日目 AM 学内実習、PM 病棟実習 2-3日目 病棟実習 4日目 学内実習（2クール目は病棟実習） 5日目 病棟実習（2クール目は学内実習） 6-8日目 病棟実習 9日目 学内実習

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				演習		

授 業 概 要
地域看護活動は、地域で生活する人々の健康の維持・増進、QOLの向上を目指し展開される。この科目では、地域看護活動を行うために必要となる対象とその家族のセルフケア行動を支援する技術、高齢や障害、疾病があっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう個別支援を通したヘルスケアチームづくりや地域のケア体制づくりを行う際に必要となる技術を学修する。具体的には、個人・家族を対象とした健康相談技術、集団を対象とした健康教育技術について学修する。さらに、看護職が他職種や住民組織との連携・協働する際、コミュニケーション技術を基盤に関係構築を行いながら相互交流や活発な意見を引き出し、合意形成を促すことが求められることからファシリテーション技術についても学修する。

到 達 目 標
1. 人々の暮らしの基盤としての地域について既存資料や統計データを通してその特性を説明することができる。 2. 地域に暮らす人々の健康や生活の特徴を既存資料や統計データを通して説明することができる。 3. 地域を構成する要素、地域を理解するためのシステム思考について説明することができる。 4. 地域に暮らす人々の健康や生活を支える社会資源の種類と概要について説明することができる。 5. 地域で暮らす人々に対するインタビューや地区踏査を通して地域で暮らす人々の生活実態を理解することができる。 6. 地域で暮らす人々の健康課題に対して看護職の活動の場に応じた解決方法を考察することができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修： 1. 該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 2. 主体的に自己研鑽する 事後学修： 1. 当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする 2. 当該テーマに沿った関連文献を読み、さらに内容を深める

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
筆記試験（50％）、課題レポート（20％）、プレゼンテーション（10％）、講義の学び・感想（10％）、演習への参加態度（10％）

教 科 書
1. 河原加代子，系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 第6版【電子版】，医学書院，2026. 2. 河原加代子，系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践 第6版【電子版】，医学書院，2026.

参 考 図 書
1. 国民衛生の動向2023/2024 一般社団法人厚生労働統計協会，2024 2. 神馬征峰，系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生 第14版【電子版】，医学書院，2026. 3. 岸恵美子・大木幸子，地域・在宅看護 看護判断のための気づきとアセスメント，中央法規出版株式会社，2022. 4. 金川克子・田高悦子，地域看護診断 第2版，東京大学出版会，2011. 5. 佐伯和子，地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版，医歯薬出版株式会社，2018.

留 意 事 項
演習では地域に出向いたり、地域の方々にインタビューを行う機会があります。失礼のない言葉遣いや行動を心掛けてください。また、グループでの課題はメンバーで役割分担を行い、協力しながら行ってください。

オフィスアワー等
金曜日（12時～13時）2717研究室

実 務 経 験
地域住民の健康づくり支援を行う看護職として約7年保健所・保健センターにて勤務経験あり。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	人々の暮らしの基盤としての地域の理解①	・授業ガイダンス ・地域看護活動をさせる理念：ヘルスプロモーションの概念（おさらい）	池田敏子
2	地域に暮らす人々の健康と生活の理解②	・地域看護活動の展開に用いるモデル：プリシード・プロシードモデル（講義） ・プリシード・プロシードモデルを用いた事例分析（演習） ・解説	池田敏子
3	地域に暮らす人々の健康と生活の理解③	・地域で暮らす人々の健康と生活の関連（講義と演習） ・退院後の生活に不安を持つ対象に対する支援事例の分析 ・事例の情報分類、整理、アセスメント ・解説	池田敏子
4	地域に暮らす人々の健康と生活の支援①	・相談・面接技術（講義） ・健康に不安を抱える対象に対する相談支援事例の紹介 ・健康相談場面の展開（演習）	池田敏子
5	地域に暮らす人々の健康と生活の支援②	・健康相談場面ロールプレイ（演習） ・健康相談場面のふり返り	池田敏子
6	地域の人々の健康と生活を支える社会資源②	・個人・家族のニーズをとらえる：情報収集技術を高める ・地域で生活する人々への情報収集方法と内容 ・インタビューグループ分け ・インタビュー計画書の作成（演習）	池田敏子
7	地域の人々の健康と生活を支える社会資源③	・対象をとりまく環境の理解（講義） ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルの紹介（講義） ・担当地域決め	池田敏子
8	人々の暮らしの基盤としての地域の理解①	・担当地域の既存資料や統計情報からとらえる地域の特徴（演習） ①人口・世帯数、人口構成、②死亡と死因、③地理的特徴、④文化や歴史、⑤産業や経済、保健医療福祉サービス など	池田敏子
9	人々の暮らしの基盤としての地域の理解②	・視診を中心に地域をとらえる：地区視診・踏査（演習） ・地区視診・踏査での観察項目 ・担当地区の視診・踏査ルートの確認 ・地区視診・踏査計画書作成	池田敏子
10	地域の人々の健康と生活を支える社会資源①	・地域における社会資源（講義） ・担当地域における社会資源の整理（演習）	池田敏子
11	地域の人々の健康と生活実態の把握①	・地域で暮らす人々の健康と生活実態の把握① ・インタビューの実施 ・地区視診・踏査 フィールドワーク（古賀市） ・ふり返り、気づきのまとめ	池田敏子
12	地域の人々の健康と生活実態の把握②	・地域で暮らす人々の健康と生活実態の把握② ・インタビューの実施 ・地区視診・踏査 フィールドワーク（新宮町） ・ふり返り、気づきのまとめ	池田敏子
13	地域の人々の健康と生活を支える社会資源②	・地域のなかの人的資源	池田敏子
14	地域で暮らす人々の健康問題解決のための方法	・地域で暮らす人々の健康問題解決のために地域で働く看護職としてできること ・連携、協働 ・ファシリテーション技術	池田敏子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	講義のまとめ	・講義の振り返りとまとめ	池田敏子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				演習		

授 業 概 要
基礎看護学、地域看護学概論、在宅看護学概論の学修と関連させながら、自宅で療養生活を送る人とその家族に対する日常生活の基礎的援助技術（食事、排泄、排便、紙おむつ、入浴、移動等）や医療ケアの原理原則や技術について学修する。在宅で生活する人の援助については、対象の生活の場の把握、価値観、サポートの有無、家族の協力などが必要になる。健康課題や障がいを持つ対象に住み慣れた生活の場で実施する生活援助は、対象の安全・安楽に配慮し創意工夫が必要となる。様々な場面を想定しながら在宅における基礎的援助技術や医療ケアについて学修する。

到 達 目 標
1．在宅看護で求められる日常生活援助が理解できる 2．在宅看護で求められる医療ケアの原則や技術が理解できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
筆記試験とレポートなどから総合的に評価する

教 科 書
医学書院 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論Ⅰ 医学書院 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論Ⅱ

参 考 図 書
1． ナーシンググラフィカ 在宅看護論「地域療養を支えるケア」 メディカ出版 2． 「在宅看護技術」 メヂカルフレンド社 3． 「基礎看護技術」 メヂカルフレンド社 4． 「よくわかる在宅看護」 学研

留 意 事 項

オフィスアワー等
水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	在宅看護の基本と自立支援のための在宅での工夫	在宅看護学と訪問看護の位置づけ、訪問看護の理念と機能、訪問看護による在宅療養支援、在宅療養を支えるコミュニケーション、対話	馬場 みちえ
2	在宅療養者の看護①	①糖尿病を持つ療養者の在宅看護：原因、誘因、症状、検査、予後、服薬管理、在宅での療養生活ポイント	馬場 みちえ
3	在宅療養者の看護②	②COPD：原因、誘因、症状、検査、治療、予後、在宅での生活イメージ、工夫、リハビリ排痰、姿勢、移動、活動、HOTを含む 在宅での療養生活ポイント	馬場 みちえ
4	在宅療養者の看護③	③難病とは法律等全般および疾患 パーキンソン病の原因、誘因、症状、検査、治療、予後、在宅での生活イメージ、工夫、家族支援、リハビリ、移動、活動、在宅での療養生活ポイント	馬場 みちえ
5	在宅療養者の看護④	④脳血管障害：原因、誘因、症状、治療、予後、再発予防、在宅での生活イメージ、工夫、家族支援、リハビリ、移動、活動、在宅での療養生活のポイント	馬場 みちえ 間山一枝
6	在宅看護における事例検討①	在宅で暮らす脳血管疾患障害を持つ療養者の看護過程 ゴードンのパターンに基づいた情報収集とアセスメント	馬場 みちえ 間山一枝
7	在宅看護における事例検討②	在宅で暮らす脳血管疾患障害を持つ療養者の看護過程 ゴードンのパターンに基づいた情報収集、アセスメント	馬場 みちえ 間山一枝
8	在宅看護における事例検討④	在宅で暮らす高齢者と家族の看護計画（OP, TP, EP） 社会資源、多職種連携、GW	馬場 みちえ 間山一枝
9	在宅看護における事例検討③	在宅で暮らす脳血管疾患障害を持つ療養者の看護過程 ゴードンのアセスメント、家族力評価→→看護課題 関連図	馬場 みちえ 間山一枝
10	在宅看護援助技術演習	在宅看護と日常生活動作	馬場 みちえ 間山一枝
11	在宅看護援助技術演習 タスクトレーニング	在宅看護援助演習タスクトレーニング	馬場 みちえ 間山一枝
12	在宅看護援助技術演習	姿勢、移動・移乗（住環境アセスメントと環境整備、転倒転落アセスメントと自立支援を目指す福祉用具の活用） 福祉用具	馬場 みちえ 間山一枝
13	在宅看護における事例検討⑤	在宅で暮らす脳血管疾患障害を持つ療養者の看護過程 ゴードンのアセスメント、家族介護力評価	馬場 みちえ 間山一枝
14	在宅看護における事例検討⑥	在宅で暮らす脳血管疾患障害を持つ療養者の看護過程 療養者と家族のアセスメントを関連図で発表の準備	馬場 みちえ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	在宅看護における事例検討 ⑦まとめ	在宅で暮らす脳血管疾患障害を持つ療養者の看護過程 事例検討の結果を個人⇒グループにて発表する グループワーク	馬場 みちえ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
島村 美香、梅木 彰子、宮本 毅治、別城 佐和子				演習	講義演習	

授 業 概 要
人体構造学・人体機能学、健康障害と治療、成人看護学概論と関連させながら、健康障害の経過としての慢性期の概念および特徴について理解し、慢性期にある成人期の対象者に見られる主な健康障害への援助方法や主要な症状についての看護アプローチの方法について学修する。慢性期は生活の再構築やセルフマネジメントへの支援が不可欠ことから、対象者の身体的・精神的・社会的変化を考慮しながら対象への看護アプローチの方法についての思考プロセスを修得する。看護における臨床推論や症状マネジメントの考え方について演習を通して学ぶ。

到 達 目 標
1．慢性期にある対象者の健康問題とそれが及ぼす身体的・精神的・社会的側面への影響について説明できる 2．慢性期にある対象者及び家族に対する看護について根拠を示して説明できる 3．慢性期にある対象者及び家族に対する自己決定や倫理的側面について説明できる 4．慢性期にある対象者及び家族にセルフマネジメントを促す援助について説明できる 5．代表的な疾患によって生じる健康課題への支援方法や不快症状のマネジメント方法について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各単元に関する教科書の該当部分を予習する。事前課題として小テストを実施する。 事後学修：単元ごとに疑問点などを明らかにし、自ら学修し解決する。事後課題として小テストを実施する。

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（70％）、事前事後テスト・課題レポート（20％）、授業態度（10％）とし、60点以上を合格とする。

教 科 書
系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕～〔1 5〕 医学書院 〔電子版〕 Nice 看護学テキスト 成人看護学 成人看護技術〔Web動画付〕 改訂第3版 南江堂

参 考 図 書
アセスメント覚え書 ゴードン機能的健康パターンと看護診断 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 〔電子版〕 EVO教材丸善出版「Educational Video Online:臨床看護技術シリーズ」

留 意 事 項
・定期試験欠格要件：科目の全講義時間の1／3を超える欠席 ・カードリーダーとは別に講義・演習中に出席を確認する

オフィスアワー等
教員の在室時（都合の悪い時以外いつでも可）対応する。

実 務 経 験
担当教員全員が臨床での看護師としての実務経験を持つ。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
島村 美香、梅木 彰子、宮本 毅治、別城 佐和子				演習	講義演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	授業ガイダンス	コースガイド 慢性期とは	島村美香
2	症状マネジメント 臨床推論と臨床判断	慢性疾患と症状マネジメント 臨床推論と臨床判断	別城佐和子
3	症状マネジメント①	講義：循環機能障害に伴う症状とマネジメント	別城佐和子
4	症状マネジメント②	講義：呼吸機能障害に伴う症状とマネジメント	梅木彰子
5	症状マネジメント③	講義：消化吸収機能障害に伴う症状とマネジメント	島村美香
6	症状マネジメント④	講義：腎・泌尿器障害に伴う症状とマネジメント	島村美香
7	症状マネジメント⑤	講義：運動機能障害に伴う症状とマネジメント	梅木彰子
8	症状マネジメント⑥	講義：内分泌・代謝機能障害に伴う症状とマネジメント	別城佐和子
9	症状マネジメント⑦	講義：血液・造血機能障害に伴う症状とマネジメント	島村美香
10	グループワーク	演習準備	島村美香、別城佐和子
11	症状マネジメント演習②食事（塩分）制限のある患者支援	演習：循環器疾患・塩分制限のある患者の食事指導	別城、新任、梅木、宮本、島村、大水、大園、久保田
12	症状マネジメント演習②免疫機能障害のある患者支援	演習：悪性リンパ腫・抗がん剤治療初回後の退院指導	島村、新任、梅木、宮本、別城、大水、大園、久保田
13	関連図をつくろう	演習：症状についての関連図を書いてみよう	宮本、新任、梅木、島村、別城、大水、大園、久保田
14	関連図をつくろう	演習：症状についての関連図を書いてみよう	宮本、新任、梅木、島村、別城、大水、大園、久保田

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
島村 美香、梅木 彰子、宮本 毅治、別城 佐和子				演習	講義演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	まとめ	島村美香

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学急性期援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
宮本 毅治、梅木 彰子、島村 美香、別城 佐和子				演習	講義・演習	

授 業 概 要
急性期看護の概念および特徴を理解し、周手術期および急性状況にある患者と家族の看護について機能障害別に学ぶ。成人期にある人とその家族の発達段階、身体的、心理的、社会的な特徴を総合的に理解し、周手術期の対象の術前・中・後・回復期を通して、身体侵襲の予測、苦痛緩和、社会生活への適応に向けた看護実践のための基礎的知識を修得する。また、急性状況にある患者への看護援助を行うための基本的な問題解決過程と技術を学修する。

到 達 目 標
1. 急性期にある対象者の健康問題とそれが及ぼす身体的・精神的・社会的側面への影響について説明できる。 2. 急性期にある対象者及び家族に対する看護について根拠を示して説明できる。 3. 急性期にある対象者及び家族に対する自己決定や倫理的側面について説明できる。 4. 周手術期の特徴及び看護の役割について説明することができる。 5. 周手術期にある患者への看護援助を行うための基本的技術を実践することができる。 6. 救急医療の現状を理解し、必要な看護援助を説明することができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
①事前学修：各単元に関する教科書の該当部分を予習する。事前課題として小テストを実施する。 ②事後学修：単元ごとに疑問点などを明らかにし、自ら学修し解決する。事後課題として小テストを実施する。 ③事前・事後のテストの成績は成績に関連する（詳細は評価の項目参照）。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
定期試験（70％）／事前・事後テスト（10％）／演習課題（10％）／演習・授業態度（10％）で評価する。 演習・授業態度が悪かった場合は0～－10までの間でその都度減点する。

教 科 書
●医学書院eテキスト：専門分野 「臨床看護学総論」「成人看護学総論」「成人看護学2：呼吸器」「成人看護学5：消化器」「成人看護学7：脳神経」「成人看護学：●医学書院eテキスト：系統看護学講座「別巻：臨床外科看護総論」「別巻：臨床外科看護総論」「別巻 クリティカルケア看護」

参 考 図 書
・EVO教材丸善出版「Educational Video Online：臨床看護技術シリーズ」 ・Medi-EYE（模擬電子カルテ） ・その他講義中に適宜提示する。

留 意 事 項
●定期試験欠格要件：科目の全講義時間の1／3を超える欠席●原則カードリーダーによる出席確認とする。●カードリーダーとは別に講義・演習中に出席を確認することがある。

オフィスアワー等
・時間：水曜日（16時～18時） ・2号館2716研究室

実 務 経 験
本科目の担当する教員は、臨床現場における看護活動の実務経験を活かして講義・演習を展開する。

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学急性期援助論		2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
宮本 毅治、梅木 彰子、島村 美香、別城 佐和子					演習	講義・演習	
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	急性期にある看護の看護／ 周術期看護（1）	・ コースガイド ・ 周手術期看護(1)急性期看護			宮本毅治		
2	周手術期看護(2)	【講義】周手術期看護（2）手術侵襲と生体反応①			宮本毅治		
3	周手術期看護（3）	【講義】周手術期看護（3）手術侵襲と生体反応②／術前看護			宮本毅治		
4	周手術期看護（4）	【講義】周手術期看護（4）術中看護			ゲストスピーカー		
5	周手術期看護（5）	【講義】周手術期看護（5）術後合併症に対する看護①(循環・呼吸・疼痛)			宮本毅治		
6	周手術期看護（6）	【講義】周手術期看護（6）術後合併症に対する看護②（消化器・精神・神経系）			宮本毅治		
7	周手術期看護（7）	【講義】周手術期看護（7）術後合併症に対する看護③（縫合不全・創部感染・創傷治癒）			梅木彰子		
8	周手術期看護（8）	周手術期看護（8）術後の継続看護			梅木彰子		
9	救急医療・集中治療を必要とする患者の看護	【講義】救急医療・集中治療を必要とする人の看護			ゲストスピーカー		
10	手術を受ける患者の看護（1）	【講義】手術を受ける患者の看護（1）：呼吸器			宮本毅治		
11	手術を受ける患者の看護（2）	【講義】手術を受ける患者の看護（2）：脳神経			梅木彰子		
12	手術を受ける患者の看護（3）	【講義】手術を受ける患者の看護（3）：消化器			梅木彰子		
13	急性期看護演習（1）	【演習】技術演習 演習①術後合併症予防：深部静脈血栓 演習②呼吸訓練 演習③生体モニターの装着			宮本毅治・岡田純也・梅木彰子・島村美香・別城佐和子・大水あずさ・大園久美子・久保田多見子		
14	急性期看護演習（2）	【演習】技術演習 演習①術後合併症予防：深部静脈血栓 演習②呼吸訓練 演習③生体モニターの装着			宮本毅治・岡田純也・梅木彰子・島村美香・別城佐和子・大水あずさ・大園久美子・久保田多見子		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学急性期援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
宮本 毅治、梅木 彰子、島村 美香、別城 佐和子				演習	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ・振り返り	【講義】急性期にある患者の看護：まとめ・振り返り	宮本毅治

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子、佐々木 孝				演習	講義・演習	

授 業 概 要
加齢に伴う身体、心理、社会的変化の理解を基盤として、高齢者に対するヘルスアセスメントのポイントについて理解する。高齢者の生活を支える諸制度および社会資源、ヘルスプロモーションについて理解し、健康生活を支援する基礎的知識を修得する。また、認知症などについて理解を深め高齢者と介護家族に対する看護方法について基礎的能力を修得するとともに、高齢者看護における社会資源、チーム活動の重要性について理解する。さらに、高齢者への意思決定支援とエンドオブライフケアについて理解する。

到 達 目 標
1. 高齢者のヘルスアセスメントと高齢者総合機能評価ができる□ 2. 高齢者の身体の変加齢変化をアセスメントできる。 3. 高齢者の生活機能を整える看護について、ADLごとに具体的に説明できる。 4. 高齢者の健康逸脱からの回復を促す看護について、症候や疾患ごとに説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：各回の授業範囲（教科書のページ範囲）を第1回目の授業で伝えます。授業範囲に該当する教科書・参考書を事前に読み、専門用語の意味を調べるなどして理解を深めておくこと。（30～60分） 事後学習：授業で配布した資料や教科書を使用して30～60分程度復習すること。

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
☒ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
☐ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
筆記試験（80％）、小テスト（20％）

教 科 書
北川公子、他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院 2025年、ISBN 978-4-260-03186-8 鳥羽研二、他「系統看護学講座老年看護 病態・疾患論」第5版 医学書院 2025年、ISBN 978-4-260-03172-1

参 考 図 書

留 意 事 項
新聞・テレビをはじめとする多くのメディアから発信される高齢者に関する制度・課題などに関心をもち、高齢者看護の発展、高齢者の幸福に寄与するために自分ができることを日頃から考える習慣を身につける。

オフィスアワー等
水曜日13時～14時。その他の時間で相談が必要な場合、メールで事前にご連絡ください。 久木原 (h.kukihara@kyoju.ac.jp)、岩倉 (m.iwakura@kyoju.ac.jp)、喜多 (m.kita@kyoju.ac.jp)、佐々木 (k.sasaki@kyoju.ac.jp)

実 務 経 験
本授業の担当教員は、大学病院、その他の医療機関で看護師としての経験が豊富である。

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学援助論		2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子、佐々木 孝					演習	講義・演習	
回数	単 元	内 容			担当教員		
1	高齢者の生活機能を整える看護①	A. 日常生活を支える基本的活動 (基本動作と環境のアセスメント、転倒やその他の事故のアセスメントと看護)			久木原 博子		
2	高齢者の生活機能を整える看護②	A. 日常生活を支える基本的活動 (フレイルと廃用症候群のアセスメントと看護)			久木原 博子		
3	高齢者の生活機能を整える看護③	B. 食事・食生活 (高齢者における食生活の意義、高齢者に特徴的な変調、食生活のアセスメント、食生活の支援)			岩倉 真由美		
4	高齢者の生活機能を整える看護④	C. 排泄 (高齢者の排泄ケアの基本、排尿障害のアセスメントとケア、排便障害のアセスメントとケア)			喜多 麻衣子		
5	高齢者の生活機能を整える看護⑤	D. 清潔 (清潔の意義、高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題、清潔のアセスメント、清潔の援助)			久木原 博子		
6	高齢者の生活機能を整える看護⑥	E. 生活リズム (高齢者と生活リズム、高齢者に特徴的な変調、生活リズムのアセスメント、生活リズムを整える看護)			久木原 博子		
7	高齢者の生活機能を整える看護⑦	F. コミュニケーション (高齢者とのコミュニケーションと関わり方の原則、コミュニケーション能力のアセスメント、援助法) G. セクシャリティ (高齢者のセクシャリティ、性に関する問題、セクシャリティのアセスメントと看護)			岩倉 真由美		
8	健康逸脱からの回復を促す看護①	A. 回復プロセスと看護 B. 症候のアセスメントと看護 (発熱、痛み、掻痒、脱水)			久木原 博子		
9	健康逸脱からの回復を促す看護②	B. 症候のアセスメントと看護 (嘔吐、浮腫、倦怠感、褥瘡・スキンテア)			岩倉 真由美		
10	健康逸脱からの回復を促す看護③	C. 身体疾患のある高齢者の看護 (脳卒中、心不全、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患、感染症、肺炎)			喜多 麻衣子		
11	健康逸脱からの回復を促す看護④	C. 身体疾患のある高齢者の看護 (前立腺肥大、骨粗鬆症、変形性膝関節症、骨折)			佐々木 孝		
12	健康逸脱からの回復を促す看護⑤ 治療を必要とする高齢者の看護①	C. 身体疾患のある高齢者の看護 (せん妄) A. 検査を受ける高齢者の看護 B. 救命救急を必要とする高齢者の看護			岩倉 真由美		
13	治療を必要とする高齢者の看護②	C. 薬物療法を受ける高齢者の看護 D. 手術を受ける高齢者の看護			喜多 麻衣子		
14	治療を必要とする高齢者の看護③	E. リハビリテーションを受ける高齢者の看護 F. 入院治療を受ける高齢者の看護 G. 外来を受診する高齢者の看護			佐々木 孝		

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子、佐々木 孝				演習	講義・演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	エンド・オブ・ライフケア	A. エンドオブライフケアの概念 B. エンドオブライフケアの構成要素 C. エンドオブライフケアの場	久木原 博子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
菊原 美緒、松本 宗賢、上田 恵				演習		

授 業 概 要
小児看護学援助論では、小児看護学概論で学んだ内容と関連づけながら、小児の健康状態を的確に把握するために不可欠なヘルスアセスメントを学修する。さらに、健康障害のある子どもへの看護について理解を深め、必要な援助を検討できる力を養う。小児の健康や健康障害を支援する際には家族の存在が重要であることを踏まえ、小児と家族が健康を保持し、よりよい成長・発達を遂げられるよう支援するための知識と方法を学修する。また、子どもの最善の利益を尊重した看護のあり方と、看護師として果たす役割について理解を深める。

到 達 目 標
1. 小児の成長・発達の特徴を踏まえて、健康状態をアセスメントする視点を説明できる。 2. 小児看護におけるヘルスアセスメントの基本的手法を理解し、適切に活用できる。 3. 健康障害のある子どもの特徴と看護の基本的考え方を説明できる。 4. 小児と家族の関係性を理解し、家族を含めた支援の重要性を説明できる。 5. 小児と家族が健康を保持し、よりよい成長・発達を遂げられるような看護援助を検討できる。 6. 子どもの最善の利益を尊重した看護のあり方を理解し、看護実践における意思決定の視点として活用できる。 7. 小児看護における看護師の役割を理解し、専門職として求められる姿勢や責務を説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：ガイダンスで提示する事前課題に対して、提出期限までに課題を提出する。 事後学修：課題に対するレポートを提出する。授業の中で配布する国家試験問題を学習し、提出する。

対応D P
◎ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ○ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。

評 価
筆記試験、グループワーク、提出物を合わせて総合的に評価する

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院

参 考 図 書
病気が見えるvol. 15 小児科 MEDIC MEDIA 山元恵子：写真で分かる小児看護技術 インターメディアカ 筒井真優美：小児看護における技 子どもと家族の最善の利益は守られていますか 南江堂 松平千佳：プレイ・プレパレーション 導入・実践の手引き 日総研 浅野みどり：小児看護過程 医学書院

留 意 事 項

オフィスアワー等
火曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
菊原 美緒、松本 宗賢、上田 恵				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	病気や障がいを持つ子どもとその家族の看護	小児看護の対象 小児看護の特徴 発達段階に応じたコミュニケーション 子どもと家族の看護	菊原
2	主な疾患と子どもと家族の看護 1	発熱、感染症の子どもと家族の看護 発熱精査、ウィルス感染症、細菌感染症等 呼吸器症状のある子どもと家族の看護 肺炎・気管支炎の子どもと家族の看護等	助教
3	主な疾患と子どもと家族の看護 2	消化器症状のある子どもと家族の看護 急性胃腸炎・ロタウィルス・腸重積等 意識障害を持つ子どもと家族の看護 熱性けいれん・てんかん等	松本
4	主な疾患と子どもと家族の看護 3	循環器疾患を持つ子どもと家族の看護 川崎病・ファロー四徴症等 腎・泌尿器疾患を持つ子どもと家族の看護 尿路感染症、ネフローゼ症候群等	松本
5	主な疾患と子どもと家族の看護 4	アレルギー疾患を持つ子どもと家族の看護 気管支喘息 食物アレルギー等 免疫疾患・代謝性疾患疾患を持つ子どもと看護 糖尿病等	松本
6	主な疾患と子どもと家族の看護 5	血液・造血器疾患を持つ子どもと家族の看護 悪性新生物を持つ子どもと家族の看護	松本
7	小児看護における看護過程の展開 1	ゴードンの枠組みについて 事例を用いた看護過程の展開 情報の分析・解釈	菊原
8	小児看護における看護過程の展開 2	ヘルス・アセスメント 1 パターンのアセスメント 統合のアセスメント	菊原
9	小児看護における看護過程の展開 3	ヘルス・アセスメント 2 パターンのアセスメント 統合のアセスメント	菊原
10	小児看護における看護過程の展開 4	看護上の問題 看護計画の立案	菊原
11	子どもの最善の利益と看護師の役割 1	子どもの最善の利益、意思決定支援 看護師の倫理的責務 専門職としての役割、多職種連携、家族との協働	外部講師 菊原
12	主な症状のある子どもと家族の看護 1	臨床判断	菊原（全員）
13	主な症状のある子どもと家族の看護 2	臨床判断	菊原（全員）
14	主な症状のある子どもと家族の看護 3	臨床判断	菊原（全員）

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
菊原 美緒、松本 宗賢、上田 恵				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	子どもの最善の利益と看護師の役割 2	子どもの最善の利益、意思決定支援 看護師の倫理的責務 専門職としての役割、多職種連携、家族との協働	菊原

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
竹元 仁美、寺岡 祥子				演習	講義	

授 業 概 要
母性看護学概論、家族看護論の既習学修を踏まえ、マタニティサイクル（妊娠・分娩・産褥期）の女性および胎児・新生児の健康や成長・発達を促すために必要な看護について学修する。また、ハイリスク妊娠、異常妊娠・産褥などの状態にある女性と家族の身体的・精神的・社会的ニーズを満たす医療と看護について学修する。さらに、マタニティサイクルにある女性とその家族の発達過程・健康レベルに基づき、セルフケア能力およびQOLを維持・増進するウェルネス型看護診断・看護過程の展開について学修する。

到 達 目 標
【1】妊娠期の対象の身体的・精神的・社会的変化、健康課題と看護について説明できる。【2】胎児の成長・発達について説明できる。【3】妊娠期の対象の健康問題と看護について説明できる。【4】分娩の機序について説明できる。【5】分娩期の対象の身体的・精神的・社会的変化について説明できる。【6】分娩期の対象の健康課題と看護について説明できる。【7】産褥期の対象の身体的・精神的・社会的変化について説明できる。【8】産褥期の対象の健康課題と看護について説明できる。【9】新生児の胎外生活適応状況と看護について説明できる【10】新生児の健康・発達課題と看護について説明できる。【11】周産期において健康状態を逸脱した対象と家族の健康課題と看護について説明できる。【12】セルフケア能力及びQOLを高めるウェルネス型看護診断に基づくEvidence-based Nursing Practiceについて説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく 事後学修：授業終了時のリフレクションを行う、教科書と配布プリント（ワークブック）による復習を行う

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
筆記試験（100％）

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院

参 考 図 書
1. ナーシンググラフィカ 母性看護学②母性看護の実践 MCメディカ出版 最新刊 2. ナーシンググラフィカ 母性看護学③母性看護技術 MCメディカ出版 最新刊 3. 助産師基礎教育テキスト 妊娠期・分娩期・産褥期のケアのシリーズ 最新刊 4. 日本産科婦人科学会 産婦人科診療ガイドライン 産科編 最新刊 5. 佐藤正勝・石村由利子編 ウエルネスからみた母性看護過程 医学書院 最新版

留 意 事 項
母性や女性の健康に関連するトピックについて、日頃から興味関心をもって国内外のニュース等に触れ、看護者として実践できる支援について考えて頂きたい。学生さん自身のライフコースと重なる科目でもあり、意欲的で自立的な参画を期待する。
オフィスアワー等
昼休み時間、研究室2710

実 務 経 験
助産師としての実務経験が12年あり、2015年よりNP0法人においてリプロダクティブ・ヘルス支援相談員をしている（竹元）。 小児病棟での看護師、および助産師としての実務経験がある（寺岡）。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
竹元 仁美、寺岡 祥子				演習	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	妊娠の生理・妊婦の看護	授業ガイダンス 妊娠のメカニズム、胎児の成長・発達、母体の身体的・精神的変化	竹元仁美 寺岡祥子
2	妊婦と胎児の看護	妊婦の看護、妊娠中のマイナートラブル、親役割獲得支援、出産と育児の準備 妊婦健康診査、妊婦と胎児のアセスメントと看護	寺岡祥子
3	妊娠期の異常と看護	ハイリスク妊娠、妊娠に伴う異常、合併症を有する妊婦、胎児の異常 異常妊娠・合併症妊娠の医療と看護	寺岡祥子
4	分娩の生理 産婦のアセスメントと看護	分娩の生理、分娩の三要素、分娩のメカニズム、分娩経過のアセスメント、 胎児/新生児のアセスメント	竹元仁美
5	産婦のニーズと看護	周産期の母性意識の発達、出産体験の評価、新しい家族関係の構築、安全・ 安楽のための支援、分娩の種類、産婦の看護	竹元仁美
6	分娩の異常と看護	産道の異常、娩出力の異常（微弱陣痛、過強陣痛等）、胎児の異常（胎位・ 胎勢、回旋異常等）、胎児付属物の異常（前期破水、早期破水等）、分娩時 異常出血（弛緩出血、頸管・膣壁裂傷等）、手術分娩、正常経過を逸脱した 産婦の看護	竹元仁美
7	褥婦の身体的変化とアセス メント 褥婦の看護	全身の変化、生殖器の変化（復古現象）のアセスメントと回復を促進する看護 乳房の変化（進行性変化）のアセスメントと適応を促進する看護	竹元仁美
8	褥婦の心理社会的変化のア セスメント 母乳育児と看護	親役割獲得のための支援、家族の発達課題と課題達成のための支援、マタニ ティブルーズとケア、育児支援（母乳育児、新生児のケア）	竹元仁美
9	産褥期の異常と看護	産褥期感染症（産褥熱、尿路感染症など）、乳頭・乳房のトラブル、産褥う つ病、産褥期合併症のある褥婦の看護	竹元仁美
10	新生児の生理 新生児のアセスメント	新生児の生理、新生児の成熟度のアセスメント、フィジカルアセスメント 子宮外環境への適応を促進する看護	寺岡祥子
11	新生児の看護	出生直後、出生後24時間以内と出生後24時間以降の看護、退院後に地域で生 活する家族への支援（公的私的サポートを含めて）	寺岡祥子
12	新生児の異常と看護	出生直後の異常と看護、出生後24時間以降の異常と看護、先天異常と看護、 NICUにおける看護	寺岡祥子
13	特別な状況における妊産婦 への看護	流産・死産、ペリネイタルロスと看護 帝王切開術前と術後の看護、合併症リスクと予防	寺岡祥子
14	ウェルネス型看護診断に基 づく看護過程の展開	妊産褥婦及び胎児/新生児を対象としたウェルネス型看護診断に基づく看護 過程 事例紹介・事例展開【動画事例】①	竹元仁美

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
母性看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
竹元 仁美、寺岡 祥子				演習	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	看護過程の展開方法 母性看護学演習への準備	ウェルネス型看護診断に基づいた看護過程展開演習【動画事例】② 科学的根拠に基づく周産期看護実践に必須な知識の確認 科目全体のリフレクション	竹元仁美 寺岡祥子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
齋藤 嘉宏				演習	講義、演習	

授 業 概 要
精神の健康と障害を、Bio-Psycho-Socialな側面から学修することにより、精神的健康の保持増進について理解する。また主な精神の障害を取り上げ（統合失調症、気分障害、アルコール依存症、パーソナリティ障害）症状に対する看護技術を学ぶ。小児の精神障害では知的障害の症状や治療と看護、家族への関わりを考える。更に我が国における精神障害者の置かれている状況を学び、障害を持つ対象の社会復帰についても、施設内リハビリテーションやコミュニティにおけるリハビリテーションについても論じる。

到 達 目 標
学生は、本講義を通して以下の点に到達するものとする。 1. 障害の考え方（ICD1H, ICF）について理解できる 2. 主な精神疾患の治療と看護について説明できる 3. 精神疾患に関する法的側面を理解できる 4. 精神科におけるリハビリテーションの概念と地域における資源の活用について考える事ができる 5. 精神障害を持つ人や家族の病への向きあい方を理解する方法や支援を考えることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
○事前学修：事前課題は該当講義前日までに提出する ○事後学修：講義後は事後課題に取り組み、次の講義前日までに提出する

対応D P
○ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。

評 価
試験（80％）、課題提出（20％）

教 科 書
○系統的看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 武井麻子ら ○系統的看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院 武井麻子ら

参 考 図 書

留 意 事 項
評価として、課題提出が20%を占めています。 事前課題による予習、事後課題による復習を行ってください。

オフィスアワー等
○曜日・時間：火曜日（14時～17時）・金曜日（14時～17時） ○場所：2704齋藤研究室 ※実習期間中は、17時以降からの対応になります

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、大学病院の精神科での実務経験を活かし、精神科看護師の看護ケアの実際などについて講義を展開する。

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学援助論		2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式	
齋藤 嘉宏					演習	講義、演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	精神障害者の理解と現状	精神障害とは～障害のとらえ方 Bio-Psycho-Socialの基礎	齋藤嘉宏 新任教員
2	精神看護の基盤となる看護理論	セルフケア理論	齋藤嘉宏 新任教員
3	精神看護における理解	治療的コミュニケーション 精神看護学の基本的な考え方	齋藤嘉宏 新任教員
4	精神疾患を持つ対象者への視点	ストレングス・ベースド・ケア リカバリー	齋藤嘉宏 新任教員
5	精神疾患を持つ対象者への介入方法―①	認知行動療法（CBT）の基礎と実際	齋藤嘉宏 新任教員
6	精神疾患を持つ対象者への新しい視点	元気回復行動プラン（WRAP） トラウマインフォームド・ケア	齋藤嘉宏 新任教員
7	精神疾患の評価	看護師による精神疾患の評価	齋藤嘉宏 新任教員
8	精神疾患を持つ対象者への介入方法―②	集団精神療法の理論と実際	齋藤嘉宏 新任教員
9	精神疾患と看護―①	アディクション、不安障害の症状と治療、看護ケア	齋藤嘉宏 新任教員
10	精神疾患と看護―②	発達障害、パーソナリティ障害の症状と治療、看護ケア	齋藤嘉宏 新任教員
11	精神疾患と看護―③	統合失調症の症状と治療 急性期―回復期―慢性期	齋藤嘉宏 新任教員
12	精神疾患と看護―④	統合失調症の看護ケア	齋藤嘉宏 新任教員
13	精神疾患と看護―⑤	気分障害の症状と治療	齋藤嘉宏 新任教員
14	精神疾患と看護―⑥	気分障害の看護ケア	齋藤嘉宏 新任教員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学援助論	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
齋藤 嘉宏				演習	講義、演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	精神障がい者に対する 看護師の役割	地域精神看護の実際（援助者の語り：訪問看護ステーション） 講義の総括	ゲストスピーカー

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				実習	実習	

授 業 概 要
地域看護活動は、地域で生活する人々を対象とした疾病の予防、健康の維持・増進を中心に展開され、最終的には地域住民のQOLの向上を目指したものである。この実習では、健康課題を抱えた住民がその地域で生活を継続できるためのケアシステムの在り方を考察するとともに、地域で暮らす人々の健康の維持・増進についての意識や実際の予防行動についての考え、生活状況を理解し、それらを尊重しながら、保健医療福祉機関と連携・協働し、加齢や疾病、障害があっても地域や自宅で安心して生活できる地域ケア体制づくりの推進に貢献できることを目指す。地域看護における専門職連携、協働について看護師の役割を明確にする。

到 達 目 標
1. 福岡和白総合健診クリニックでは、地域で暮らす人々の健康と生活状況を理解し、対象の健康の維持・向上を目指した看護職の支援について理解できる。 2. 福岡和白病院入退院支援室では、地域生活へ移行する対象者及び家族のニーズを理解し、地域でその人らしい生活が実現できるよう退院調整看護師の活動と役割について理解できる。 3. 地域包括支援センターでは、地域で暮らす高齢者及び家族の健康と生活状況を理解し、地域で安心して生活できるよう多職種との連携・協働、地域包括ケアシステムの構築の実際と看護職の役割について理解できる。 4. 地域看護の専門職連携協働における看護師の役割を理解できる。 5. 専門職として倫理観に基づく基本的態度で行動できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：地域看護学系科目の復習を行い、実習地域の特性の把握、健康教育演習での気づきを見直し、演習時に作成した健康教育計画、シナリオに修正を加えておくこと。 事後学修：日々のカンファレンスで学びを明らかにする。実習期間を通して地域で活動する看護者の役割と課題を明らかにする。

対応D P
◎ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。 ○ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
実習評価表に基づいた実習内容、健康教育実践、実習記録、実習態度80％ 実習最終レポート20％

教 科 書
1．河原加代子，系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤 第6版【電子版】，医学書院，2026. 2．河原加代子，系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践 第6版【電子版】，医学書院，2026.

参 考 図 書
看護師のための地域看護学，PILAR PRESS，編著 豊島泰子，2022 Essentials 地域看護学 第2班 医歯薬出版株式会社，編集代表 木下由美子2016 国民衛生の動向，一般社団法人厚生労働統計協会，（最新版）

留 意 事 項
実習期間中は3ヶ所の施設で実習を行います。各実習施設での学びを深めるために疑問点等はこまめに各施設の実習指導者や指導教員に質問をしてください。また、1日は大学周辺外の施設となります。交通手段を事前に調べておいてください。

オフィスアワー等
月曜日（16時～17時）、金曜日（16時～17時）、必要時は随時相談に応じる。池田研究室（2号館2717室）

実 務 経 験
地域住民の健康づくり支援を行う保健師として約7年保健所・保健センターにて勤務経験あり。（池田）

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域看護学実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
池田 敏子				実習	実習	

内 容

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
在宅看護学実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
馬場 みちえ				実習	実習	

授 業 概 要
在宅看護は、対象者の生活の場を中心に展開されることから、個々の療養者および家族が有する生活・健康への価値観や主体性を尊重し、自立支援や自己決定という視点をもちながら、健康を維持・増進することが重要である。この実習では、訪問看護ステーションにおける実習を通して健康問題や課題を抱えながら在宅生活をおくる療養者の生活の場を知り、サポートの有無、家族との関係性の把握を行う。対象者の安全・安楽への配慮や意思決定の支援、倫理的配慮の実際を学ぶとともに、健康に寄与する看護の役割や課題について考察する。さらに、在宅看護に関連する保健医療福祉活動の実際について、多職種連携/協働によるチームアプローチの視点から学ぶ。在宅看護における専門職連携、協働における訪問看護師の役割を明確にする。

到 達 目 標
1. 在宅療養者および家族との援助的人間関係の構築方法が理解できる。 2. 在宅療養者および家族について、身体的・精神的・社会的、並びに家族看護の視点でアセスメントし看護問題を明らかにできる。 3. 社会資源を活用し、在宅療養者および家族に応じたQOLの向上を目指した看護のあり方についての方法が理解できる。 4. 在宅療養者および家族に対して、実践した看護の評価ができる。 5. 訪問事例を通して、社会資源の活用状況と継続看護の必要性について理解できる。 6. 在宅看護における専門職連携協働が理解できる。 7. 専門職としての倫理観に基づく基本的態度で行動できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

対応D P

評 価
実習記録、レポート、実習評価表に基づき総合的に評価する

教 科 書
関連科目のテキストや配布資料、ワーク資料等 医学書院 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論Ⅰ 医学書院 地域・在宅看護の基礎 地域・在宅看護論Ⅱ

参 考 図 書
これまで学習した在宅看護、基礎看護、成人看護、老年看護等、多領域の科目のテキストを参考にする

留 意 事 項
実習要項に基づいて実施します。

オフィスアワー等
水曜日（16時～18時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期実習	2026年度	看護学科	3単位	135時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、別城 佐和子、大水 あずさ、岡田 純也				実習	実習	

授 業 概 要
成人期における慢性期の健康レベルにある対象とその家族との関係性を成立させ、多面的・科学的視点でアセスメントし、全人的に捉え、対象の健康レベルに応じた援助を実践する能力を養う。明らかになった健康課題については実践を通して、既修の知識・技術・態度を統合して、健康課題の回復過程を予測し、健康障害を抱えながら生きる生活者のセルフケアマネジメント能力や、生活の再構築を支援できる看護実践能力を養う。さらに生涯にわたり疾病コントロールを必要とする医療チームにおける専門職連携協働について看護師の役割を学ぶ。

到 達 目 標
1. 慢性期にある患者及びその家族の状況を踏まえ援助的人間関係が構築できる。 2. 慢性期にある患者及びその家族についてアセスメントし、看護問題を明らかにできる。 3. 慢性期にある患者及びその家族について、セルフケア能力を考慮した個別性に応じた看護実践ができる。 4. 慢性期にある患者及びその家族のセルフケア能力を高めるための教育ができる。 5. 慢性期にある患者及びその家族に対して、実践した看護の評価ができる。 6. 慢性期にある患者及びその家族に対する健康支援のための専門職連携協働が理解できる。 7. 専門職としての倫理観に基づく基本的態度で行動できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学習：成人看護学関連の講義、演習で学習した内容の復習を行う。 事後学習：毎日の実習の振り返りを行い、不足の学修を追加する。日々のカンファレンスで次の学習課題を明らかにする。

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
実習内容・実習記録、実習態度、実習レポートから実習目標の到達度について総合的に評価する。 実習内容と実習記録70%、実習態度20%、中間カンファレンスおよび最終カンファレンス10%成績評価は、実習時間の4/5以上出席することを前提とする。

教 科 書
専門基礎分野、専門分野、成人看護学など関連科目の授業・演習で使用したテキスト

参 考 図 書
適宜紹介する

留 意 事 項
Teams上の諸連絡について確認すること

オフィスアワー等
必要時は随時相談に応じる

実 務 経 験
担当教員は看護師としての実務経験をもつ

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
成人看護学慢性期実習	2026年度	看護学科	3単位	135時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
梅木 彰子、島村 美香、宮本 毅治、別城 佐和子、大水 あずさ、岡田 純也				実習	実習	

内 容
1. 実習期間：3年次 後期 2. 実習施設：独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 社会医療法人財団池友会 香椎丘リハビリテーション病院 3. 実習時間：原則 8:30～17:00 4. 実習方法： 1) 実習開始前に科目全体オリエンテーションおよび実習初日に実習病院・グループ別オリエンテーションを行う。 2) 実習期間は3週間、うち病院実習を11日、学内実習を4日行う。 3) 病棟実習は3週間を通して患者を受け持ち、看護過程を展開する。 4) 病院実習期間に外来（外来、化学療法室、透析室のいずれか）で見学実習を行う。看護師のシャドーイングを基本とする。 5) 実習期間中学生主体でカンファレンスを行う。 5. 実習内容 1) 病棟実習 (1) 実習初日はオリエンテーションを受け、病院と病棟の特色を知る。 (2) 患者を受け持ち、看護過程を展開する。 (3) 受け持ち患者の看護計画に沿って実習計画を立案・実施し、指導者の助言、カンファレンスをもとに振り返りを行う。 (4) 実習期間に専門職連携・協働の実際を見学する。 2) 外来見学実習 (1) オリエンテーションを受け、外来の特徴を理解する。 (2) 外来診療場面の見学を通して、入院前の患者や退院後の患者の実態、看護の実際を知る。 (3) 外来診療における専門職種連携の実際を見学する。 (4) 外来見学実習での学びを発表し、全体で共有する。 具体的な実習内容は「成人看護学慢性期実習要項」を参照。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子、佐々木 孝				実習	実習	

授 業 概 要
老年看護学概論、老年看護学援助論、老年看護学演習、認知症看護論での学びを活用し、高齢者施設を利用し在宅で生活する高齢者と家族の生活の質の維持・向上を目指した看護実践を学修する。この実習では、個々の高齢者の生きてきた道のりや価値観を踏まえながら、その人を取り巻く環境・条件のもとでの最適な健康を獲得・維持・増進し、最善のQOLが保たれるための援助の在り方を考え、実行できる基礎的能力を養う。また、加齢に伴い諸機能の低下をきたした高齢者を豊かな人間性や経験に基づく貴重な知識をもっている存在として認識し、尊重する態度でかわるための基本的姿勢と感性を養う。

到 達 目 標
1. 通所サービスを利用する高齢者とその家族についての理解を深め、適切な看護実践を実施することができる。 2. 高齢者の生活機能や身体機能に着目し、QOLを維持・向上する支援について説明できる。 3. 高齢者に応じたレクリエーションを活用した支援ができる。 4. 高齢者施設における看護師の役割、他職種との協働・連携について述べることができる。 5. 高齢者にとっての生活の質について考えを深めることができる。 6. 高齢者を尊攘する態度と専門職としての倫理観をもった行動をとることができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：老年看護学概論、老年看護学援助論、認知症看護論、老年看護学演習の講義・演習内容の復習。看護技術に不安がある場合は、必ず練習をしておく。さらに、介護保険や他の社会保障制度について復習する。事前課題は期日までに必ず提出すること。その他については、オリエンテーションで配布する「老年看護学実習概要」等資料を参照。

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
実習内容、実習記録、実習後レポート、到達度評価表、事前課題等により総合的に行う。

教 科 書
2年、3年次の老年看護学概論、老年看護学援助論、老年看護学演習、認知症看護論で使用した教科書他

参 考 図 書
必要に応じて紹介する。

留 意 事 項
実習期間は1週間ですので、事前学習が大変重要です。また、看護過程、特に看護診断や実習記録の書き方も復習して実習に臨んでください。

オフィスアワー等
久木原：h.kukihara@kyoju.ac.jp（水曜日13時～14時） 他教員は必要時、その都度メールにてアポイントをとって下さい。

実 務 経 験
本授業の担当教員は、大学病院、その他の医療機関での看護の経験が豊富である。現在も医療施設や介護施設の高齢者看護事例を研究するなど、臨床とのユニフィケーションを継続的に実施している。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年看護学実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
久木原 博子、岩倉 真由美、喜多 麻衣子、佐々木 孝				実習	実習	

内 容
1. 実習期間：3年後期 2. 実習時間：原則として8：30～16：00（休憩1時間） 3. 実習施設：あおぞらの里 古賀デイサービスセンター あおぞらの里 和白デイサービスセンター あおぞらの里 香住ヶ丘デイサービスセンター 4. 実習方法 1) 介護保険制度におけるデイサービスの目的、サービスの内容と方法について理解する。 2) 利用者の情報収集を行い、全体像を把握する。 3) 利用者の在宅での日常生活の過ごし方を知り、サービス利用の利点を理解する。 4) 入浴サービスなどに参加し、利用者の全身状態や心理状態を観察する。 5) レクリエーション活動を企画し実施する。 6) 多職種とのカンファレンスや会議等に参加し、チームの中での看護職の役割を理解する。 5. 実習日程と学修内容 □日目□日目□日目□日目□日目 実習施設オリエンテーション 臨地実習臨地実習 カンファレンス臨地実習 カンファレンス臨地実習 カンファレンスまとめ 評価面接 6. 実習オリエンテーション 1) 実習開始前オリエンテーション (1) 老年看護学実習の目的・目標および日程の説明 (2) 実習の具体的内容の説明 (3) 事前学修課題の提示及び事前学修について (4) 実習後レポートの内容について (5) 施設についてのオリエンテーション (6) レクリエーションの実施目的・内容について (7) グループメンバーの役割決め 2) 施設オリエンテーション (1) 実習施設の特殊性、デイサービス利用者の概要 (2) 看護体制、施設スタッフの紹介 (3) 施設の構造、設備、物品の配置と使用方法 (4) 専門職連携について 7. カンファレンス 1) 学生が主体的に運営する。 2) 実習期間中毎日15時～16時の間で30分間カンファレンスを行う。カンファレンスの司会・書記は学生が交代で担当する。 3) カンファレンスのテーマはデイサービスでの看護実践の展開に沿って行う。テーマは午前中までに教員及び実習指導者に伝え、助言を得られるようにする。 4) 予め自身の学習や意見を手帳などに整理しておくとともに、他者の発言を聞き、学びが深まるように意見交換する。 5) 実習最終日は実習のまとめのカンファレンスとし、実習目的・目標を振り返りながらその達成状況と学修内容を発表し、指導者の助言を受け、今後の課題を明確にする。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
認知症老年看護学実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岩倉 真由美、久木原 博子、喜多 麻衣子、佐々木 孝				実習	実習	

授 業 概 要
老年看護学概論、老年看護学援助論、老年看護学演習、認知症看護論での学びを活用し、高齢者施設で生活する認知症高齢者の生活の質の維持向上を目指した看護実践を学修する。認知症者の心理や残存機能をアセスメントし、個別性を踏まえ尊厳と自立を考えた認知症者主体の看護を実践する姿勢を修得する。また、多職種との連携における看護者の役割と機能について理解する。

到 達 目 標
1. グループホームの特徴と概要を踏まえ、施設で生活する認知症高齢者のケアの目標を説明できる。 2. 回想法などにより、認知症高齢者の生きてきた歴史と現在の生活や健康についての考えをアセスメントし実践に生かすことができる。 3. 身体的、心理的アセスメント情報をもとに認知症高齢者の個別性と生活の質を考慮した看護ケアを計画し実施・評価できる。 4. 高齢者施設における看護師の役割、他職種との協働・連携について述べるることができる。 5. 認知症高齢者を尊重する態度と専門職としての倫理観をもった行動をとることができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
(事前学修) 看護診断、フィジカルアセスメント技術、レミニッセンス(回想法)、認知機能のスクリーニング検査の内容と方法、介護保険や他の社会保障制度などについて復習しておく。 (事後学修) 毎日の実習のまとめを行い、不足の知識、技術については追加して学修する。次の日の学修課題を明らかにし、学修に取り組み実習の準備を行う。日々のカンファレンスでの学びを整理し学びを深める。

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
事前課題、出席点、実習評価表に基づいて総合的に評価する。

教 科 書
関連科目（認知症看護論、老年看護学概論、老年看護学援助論、老年看護学演習）のテキストや配布資料、ワーク資料等。

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
教員の在室時（都合の悪い時以外いつでも可）

実 務 経 験
担当教員全員が臨床での看護師としての実務経験を持つ。 担当教員：岩倉真由美、久木原博子、喜多麻衣子、佐々木孝

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
認知症老年看護学実習	2026年度	看護学科	1単位	45時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
岩倉 真由美、久木原 博子、喜多 麻衣子、佐々木 孝				実習	実習	

内 容
1．実習施設 「ケアホーム 花うさぎ千早」「 グループホーム 和やか わじろ」「 グループホーム 和やか みとま」 「 グループホーム アソシエ和白」「 アップルハート くつろぎ福岡東」のいずれかの施設 2．実習方法 1)認知症者1名を受け持ち、看護の必要性を理解する。 2)受け持った認知症者の看護過程を展開する。 3)指導者の指示のもとケアを実施し、評価する。 4)安全に実習を実施するためのケア実践の制限について（ケアの実施内容） (1)対象者の特徴を理解したコミュニケーションを実施する。 (2)受け持ち以外の認知症者とのコミュニケーションも積極的に実施する。 (3)ケアの見学は計画的・積極的に行う。 特に、認知症の方への代替療法、ケアの特徴が学べる見学は事前学習後、積極的にさせていただく。 (4)介護・看護職者のケアに参加する場合は、指導者の指示に従う。 (5)移乗・おむつ交換・入浴介助（浴室での介助）・爪きり・与薬（内服薬・点眼・皮膚への軟膏等の塗布など）は1人では実施しない。 (6)移送・更衣・整容・食事介助・皮膚の保湿クリーム塗布などについては、指導者の指示・判断による。 (7)受け持ち以外の認知症者へのケア実践は、状況等により移送・更衣・整容、食事介助などが考えられるが、指導者の判断により実施する。 (8)可能であれば、回想法などを用いて認知症者の生きてきた歴史と現在の生活や健康についての想いをアセスメントし、対象者の理解を深めるとともに実践に生かす。 (9)多職種とのカンファランスや会議等に参加し、チームの中での看護職の役割を理解する。 3．カンファランス 1)実習期間中毎日30分間カンファランスを行う。 2)学生が主体的に運営する。 3)学生のみでは実施しない。原則として、教員、指導者、管理者等が同席する。 4)カンファランスの司会・書記は学生が交代で担当する。 3)カンファランスのテーマはグループホームでの看護実践の展開に沿って行う。 4)予め自身の学習や意見を手帳などに整理しておくとともに、他者の発言を聞き、学びが深まるように意見交換する。 5)実習最終日は実習のまとめのカンファランスとし、実習目的・目標を振り返りながらその達成状況と学修内容を発表し、指導者の助言を受け、今後の課題を明確にする。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
菊原 美緒、松本 宗賢、上田 恵				実習		

授 業 概 要
小児看護学概論の学修を関連させながら、小児の看護において必要な発達の状況に応じた技術・ケアについて学ぶ。小児の健康状態を把握する上で不可欠なヘルスアセスメントを学び、さらに発達の状況に応じた小児の生活を支える技術や、治療処置に伴う技術について学ぶ。小児の健康や健康障害を支援するときに家族の存在は重要である。小児と家族が健康を保持し、よりよい成長を支えられるように学修する。小児看護技術に関しては、演習を通して実践に即した方法で学修する。

到 達 目 標
1. 健康障害を持つ子どもとその家族の特性を理解し、説明することができる 2. 看護する立場から健康障害を捉え、説明することができる 3. 健康障害を持つ子どもとその家族にとって必要な看護を具体的に説明することができる 4. グループワークを通して事例の情報を関連付け、全体像を描くことができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：事前に提示する事前課題に取り組む。各実習施設の特性を踏まえた疾患や看護のポイントについての事前学習を行い、実習に臨む。 事後学修：実習最終日に配布する事後課題（国家試験問題）などに取り組み、必ず提出する。

対応D P
☐健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。 ☒生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。 ☐多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。 ☐多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
筆記試験、グループワーク、提出物を合わせて総合的に評価する

教 科 書
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オフィスアワー等
火曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児看護学実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
菊原 美緒、松本 宗賢、上田 恵				実習		

内 容

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
齋藤 嘉宏				実習	実習	

授 業 概 要
精神に疾患や障害を持つ人々とのかかわりを通して、対象の精神症状に関連したBio-Psycho-Socialモデルから包括的理解を深め、セルフケア理論に基づいたアセスメント及び対象者のセルフマネジメント能力を高める認知行動療法的介入を行なう。更に、治療的コミュニケーション技法を用いた援助的人間関係の発展をめざすために、自己を治療の道具として最大限に用いてストレングスの視点を持ち、精神看護を実践する能力を身につけることを主たる目的とする。さらに精神看護における専門職連携、協働について看護師の役割を明確にする。

到 達 目 標
学生は、本講義を通して以下の点に到達するものとする。 1. プロセスレコードを用いて対象者とのコミュニケーションをとoshi、援助的人間関係の構築、さらには自己を治療の道具として最大限に活かすことの重要性を述べることができる。 2. 精神疾患をもつ対象者を精神症状に関連したBio-Psycho-Socialな側面から理解し、看護問題を明らかにできる。 3. 対象者の症状についての理解と、症状が対象者の生活に及ぼす影響について考え、認知行動療法理論を用いて対象者と協働的にケア介入を考え、実施できる。 4. 精神疾患を持つ対象者に対して地域における社会復帰支援の活用について理解できる。 5. 精神看護における専門職連携協働が理解できる。 6. 専門職としての倫理観に基づく基本的態度で行動できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
○事前学修：精神看護学概論・援助論・演習で既習の資料をまとめる。 ○事後学修：最終レポートで実習の振り返りを行う。

対応D P
☐ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。 ☐ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
ルーブリック評価表

教 科 書
○系統的看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 武井麻子ら ○系統的看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院 武井麻子ら

参 考 図 書
○『認知行動療法を用いた精神看護学実習ガイド』 看護の科学社 齋藤嘉宏ら

留 意 事 項

オフィスアワー等
○曜日・時間：火曜日（14時～17時）・金曜日（14時～17時） ○場所：2704齋藤研究室 ※実習期間中は、17時以降からの対応になります

実 務 経 験
本科目を担当する教員は、大学病院の精神科での実務経験を活かし、精神に障がいをもたれた方への看護ケア・介入方法を理論を用いて教授する。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神看護学実習	2026年度	看護学科	2単位	90時間	必修	3年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
齋藤 嘉宏				実習	実習	

内 容
1. 実習期間：2週間（病院1週間、地域施設 1 週間） 2. 実習場所 1) 病院実習： 疋田病院【5日間】 2) 地域施設実習【3日間】 ※以下(1)～(3)それぞれで1日ずつ実習を行う (1)訪問看護ステーション (2)就労継続支援B型作業所 (3)地域活動支援センターⅠ型 3. 実習内容 病院実習1週間、施設実習1週間、計2週間で構成される。 病院実習、施設実習ともにプロセスレコードを活用し、日々の対象者との関わりから自己洞察、自己活用を検討する。 1) 病院実習：受け持ち対象者に対して認知行動療法理論を用いた看護を展開する。 (1)対象者の情報収集・アセスメントをする。 (2)対象者への介入を焦点化し、看護計画を立案し、媒体等を用いながら展開する。 (3)計画・実施した看護計画を評価する。 2) 地域施設実習：受け持ち対象者に対して以下のような関わりを行う。 (1)訪問看護ステーションでは、ストレングスを見出すアセスメントを行い、認知行動療法理論を用いた看護計画を考える。 (2)就労継続支援B型作業所、地域活動支援センターでは、地域で暮らす対象者の生活に焦点を当て、地域生活における楽しみや困難さについて話を聞く。 【実習スケジュール】 ●1週間目：病院実習 ○1日目：AM：病棟オリエンテーション/受け持ち患者決定/情報収集 PM：情報収集/受け持ち患者との関わり ○2日目：情報収集/アセスメント/受け持ち患者との関わり/プロセスレコードを用いたカンファレンス ○3日目：★看護計画発表（中間発表） 情報収集/アセスメント/受け持ち患者との関わり/プロセスレコードを用いたカンファレンス ○4日目：★看護計画実施、評価 情報収集/アセスメント/受け持ち患者との関わり/プロセスレコードを用いたカンファレンス ○5日目：★看護計画実施、評価 ★最終発表 ●2週間目：地域施設実習 ○6日目：★学内日 実習内容の共有、記録の整理など ○7～9日目：【実習施設：訪問看護ステーション、就労継続支援B型作業所もしくは地域活動支援センター】 ストレングス・マッピングシートをもとに、対象者のストレングスに着目した看護ケアを立案する 地域で生活する対象者が必要とする支援を考察する ※3日間とも異なる施設で実習を行う ○10日目：★学内日 実習のまとめ、記録の整理、教員へ実習記録提出 ※注意事項 1. 病院実習、地域施設実習の順で展開する 2. 学内日は地域施設実習の週の月曜日、金曜日の2日間とする（週のどこかで祝日がある場合は金曜日のみ）

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
国際看護学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
倉岡 有美子、西原 かおり				講義	講義	

授 業 概 要
グローバル化が進んだ現代の世界においては、地球上のあらゆる人々の健康問題が我々にも直接影響してくる。世界でどのような健康問題が起こっていて、人々は何に苦しんでいるのか知り、それに対して看護職である私たちに何ができるのか考えることは大切である。一方、国内では日本国外から来日する外国人や定住者など、外国につながる人々たちへの看護ケアには文化多様性に配慮した看護ケアが求められる。本科目では国際看護の概念、看護における文化、世界の健康問題、国際協力の仕組みや国際人権法など法的側面や、国際協力における看護活動、国内における外国人への看護活動など具体的に学び、国際社会の中で看護の力を発揮する基礎力（多文化対応能力）を学修する。

到 達 目 標
1. 国際看護の概念と対象を説明できる 2. 世界の健康問題を説明できる 3. 国際協力の仕組みと看護の実際を理解できる 4. 看護における文化について理解できる 5. 国際社会の中で看護の力を発揮する基礎的力（多文化対応能力）について述べることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：テキスト「国際看護」の該当箇所を読んで概要を把握し論点を整理しておく 事後学修：事前学修の論点についてのリフレクションを行う

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
筆記試験（80％）、授業への参加度（20％）

教 科 書
看護学テキストNiCE国際看護(第2版)，森淑江ほか編，南江堂，2025.

参 考 図 書
ナースিং・グラフィカ看護の統合と実践④国際化と看護，大橋一友ほか編，メディカ出版，2025.

留 意 事 項
特になし

オフィスアワー等
日時：毎週月曜日の昼休み（左記以外も対応可能です。メールにてアポイントをとってください。y.kuraoka@kyoju.ac.jp） 場所：倉岡研究室

実 務 経 験
国外で国際協力活動をした教員が経験をふまえて講義します。

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
国際看護学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
倉岡 有美子、西原 かおり				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	国際看護の概念と対象	授業ガイダンス 国際看護を知る 国際看護の対象	倉岡有美子
2	世界の健康問題①	世界の健康課題	宇都宮真由子 倉岡有美子
3	世界の健康課題②	世界の健康課題に関連する国際協力，国際協力機関	宇都宮真由子 倉岡有美子
4	国際看護活動の実際①	国際協力としての看護の実際	宇都宮真由子 倉岡有美子
5	国際看護活動の実際②	在日外国人への医療と看護，異文化理解と看護	宇都宮真由子 倉岡有美子
6	国際看護活動の実際③	在外日本人への医療と看護の実際，国際看護の事例展開①	西原 かおり 倉岡有美子
7	国際看護活動の実際④	国際看護の事例展開②	西原 かおり 倉岡有美子
8	まとめのワークショップ	ワークショップ：国際社会の中で看護の力を発揮するために	倉岡有美子

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
災害看護	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
増山 純二、後小路 隆、西原 かおり				講義	講義	

授 業 概 要
本科目では災害が人々の生活や健康に及ぼす影響を理解するとともに、個人・家族・地域社会の生活の視点をベースにした災害支援活動を行うための看護の基礎知識を学び、災害急性期に必要な技術(トリアージ、患者搬送、止血、包帯法)について修得する。さらに、災害への専門職としての心身両面の備えと発災時の対応、災害による被害を最小限にとどめるため、災害各サイクルに看護職が果たすべき役割と機能について学ぶ。

到 達 目 標
1. 我が国の災害医療体制を述べることができる。 2. 災害医療の最終目的を述べることができる。 3. 災害医療対応の原則を説明することができる。 4. 机上演習および、演習において、トリアージができる。 5. 机上シミュレーションにおいて、災害医療の超急性期の初動体制の全体像が俯瞰でき、必要な知識、技術を統合することができる。 6. 被災者の心理、支援者の心理について理解できる 7. 災害における自身と地域の備えについて理解できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：近年の災害・被災地情報について、文献や新聞で情報収集を行い、関心を高めておく 事後学修：授業の中で印象深かったこと、疑問に思ったことを振り返り、講義資料や事前学習で収集した情報により学びを深める

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
レポート100%

教 科 書
ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③：災害看護 第4版

参 考 図 書
1. 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院 2. 日本集団災害医学会監：改訂第2版 DMAT標準テキスト，へるす出版 3. 阿南英明：変わりゆく災害時医療まるごとブック，Emer-Log 2024年秋季増刊

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
災害看護	2026年度	看護学科	1単位	15時間	必修	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
増山 純二、後小路 隆、西原 かおり				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	災害医療について	講義全体のオリエンテーション/災害医療（災害の定義、災害の種類、災害サイクル、災害医療と救急医療の違い）/わが国の災害医療体制/災害医療対応の原則（CSCATTT）	増山純二
2	災害時の院内における多数傷病者受け入れの実際①	机上シミュレーションにおけるCSCATTTの体験①	増山純二 後小路隆
3	災害時の院内における多数傷病者受け入れの実際②	机上シミュレーションにおけるCSCATTTの体験②	増山純二 後小路隆
4	災害時の院内における多数傷病者受け入れの実際③	机上シミュレーションにおけるCSCATTTの体験③	増山純二 後小路隆
5	トリアージ/トランシーバー訓練	トリアージ（START法）とトランシーバー訓練	増山純二 後小路隆
6	災害時要配慮者へのケアについて	災害時に子どもに起こること/災害時に妊産婦に起こること/災害時に慢性疾患患者に起こること/災害時に高齢者に起こること/災害時に外国人に起こること	西原かおり
7	災害とこころのケアについて	災害がもたらす精神的影響/こころのケアとは/被災者のこころのケア/支援者のこころのケア	西原かおり
8	1. 災害における自身と社会・地域の備えについて 2. まとめ	1. 災害に関連する制度、社会の対応・仕組み、情報伝達体制/災害関係各機関の支援体制と役割/個人の備え、地域防災、災害ボランティア活動 2. 災害時に看護職が果たす役割/災害時の看護活動における課題	西原かおり

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
災害看護初期対応	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
増山 純二、後小路 隆				講義	講義	

授 業 概 要
発生直後の被災地における被災者の健康障害に対し、医療支援が不足する中での救護所、避難所、病院内での看護師の役割や全人的ケア及び医療体制の構築について学修する。混乱の中で秩序を保ち、被災者が不安の中にも安心や信頼を持てるように働きかけることは必須となる。災害発生後の病院内の医療体制について机上シミュレーションを実施し、また、院内災害実動訓練に参加しながら、災害急性期医療のイメージを図り、災害看護の基本的知識、技術を修得する。

到 達 目 標
1. 災害医療対応の原則を説明することができる 2. 避難所の看護師の役割について述べるすることができる 3. 机上演習において、トリアージ（START法/PAT法）ができる 4. 机上シミュレーションにおいて、災害医療の超急性期の初動体制の全体像を俯瞰でき、必要な知識、技術を統合することができる 5. 災害訓練に参加して、災害医療の超急性期初動体制の課題について明確にすることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：予習のための小テストをやって授業に臨む 事後学修：当日の授業内容の小テストを実施し、まとめをする

対応D P
☐ 生命の尊厳を基盤とした倫理観に基づき、看護職として行動できる。
☒ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍する能力を有している。

評 価
課題レポート（80％）小テスト（20％）

教 科 書
系統看護学講座 看護の統合と実践[3]災害看護学・国際看護学 医学書院

参 考 図 書
1. DMAT標準テキスト 2. 外傷初期看護ガイドラインJNTEC（へるす出版）

留 意 事 項

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
災害看護初期対応	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
増山 純二、後小路 隆				講義	講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	災害看護初期対応①	災害医療と救急医療	増山純二 後小路隆
2	災害看護初期対応②	災害看護初期対応と外傷初期看護	増山純二 後小路隆
3	避難所の看護	避難所の看護（机上シミュレーション）	増山純二 後小路隆
4	院内災害医療体制構築①	院内災害医療体制構築①（机上シミュレーション）	増山純二 後小路隆
5	院内災害医療体制構築②	院内災害医療体制構築②（机上シミュレーション）	増山純二 後小路隆
6	院内災害実動訓練①	院内災害実動訓練①（院内災害訓練へ参加）	増山純二 後小路隆
7	院内災害実動訓練②	院内災害実動訓練②（院内災害訓練へ参加）	増山純二 後小路隆
8	まとめ	災害看護初期対応の課題（グループワーク）	増山純二 後小路隆

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
高度先進医療看護学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
増山 純二、後小路 隆				講義		

授 業 概 要
急性発症した対象者の健康障害を迅速に、そして、確実にアセスメントする方法について考える。患者の健康障害から回復させるための救急看護実践として、傷病者の命を救い社会復帰に導くために、心停止の予防が位置づけられていることから、救命処置、応急処置、必用物品の準備について修得する。また、チーム医療は不可欠であるため、医師へ簡潔に報告するなど1年次から学修した専門職連携を活用しながら、救急領域における専門職連携について学修する。

到 達 目 標
1．救急初療看護について述べることができる 2．場（人材，ベッド，物品）の調整ができる．（緊急度の判断ができる） 3．臨床推論から疾患予測ができ，生理学的徴候の異常の顕在的，潜在的アセスメントができる 4．救急処置の実践、準備ができる。 5．緊急検査ができる． 6．検査データ、医学診断の共有ができる 7．血液ガスの分析ができる 8．看護問題（看護診断）を解決するためのケアができる．

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：予習のための小テストを実施して授業に臨む 事後学修：当日の授業内容の小テストを実施し、まとめるする

対応D P
◎ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。 ○ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
レポート（60％）、授業後の小テスト（40％）

教 科 書
山勢博彰，山勢善江，増山純二 他（2024）：救急看護学 第7版．医学書院

参 考 図 書
1．日本救急看護学会：救急初療の看護に活かすフィジカルアセスメント第2版　へるす出版, 2024 2．増山純二編：救急初療フィジカルアセスメント，Emer-Log（エマログ）2022年秋季増刊号 3．増山純二：看護師の判断が患者を救う!!急性症状・外傷の初期対応　メヂカルフレンド社, 2019 4．日本救急看護学会監：外傷初期看護ガイドライン：JNTEC第4版，へるす出版2018 5．増山純二，苑田裕樹 編（2023）：急変時，何をみる？ どう判断する？病棟ナースの臨床推論．医学書院

留 意 事 項
選択科目のため、選択する受講生が多い場合はeラーニングを併用する。

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
高度先進医療看護学	2026年度	看護学科	1単位	15時間	選択	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
増山 純二、後小路 隆				講義		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	救急初療看護	救急看護概論（救急活動状況・救急医療施設・救急看護師の役割・トリアージ）	増山純二 後小路隆
2	緊急検査①	血液ガスの読み方	増山純二 後小路隆
3	緊急検査②	心電図12誘導	増山純二 後小路隆
4	緊急検査③	超音波検査	増山純二 後小路隆
5	救急初療看護の実際①	院内トリアージ	増山純二 後小路隆
6	救急初療看護の実際②	救急初療看護（胸痛）	増山純二 後小路隆
7	救急初療看護の実際③	救急初療看護（外傷初期看護）	増山純二 後小路隆
8	救急初療看護	まとめ	増山純二 後小路隆

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統合演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、竹元 仁美、増山 純二、児玉 裕美、梅木 彰子、寺岡 祥子、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、別城 佐和子、松本 宗賢				演習		

授 業 概 要
学内演習、実習で実践した内容を振り返る目的として、高規格シミュレーターを用い、健康課題を持つ対象者に対し全人的ケア, ヒューマンケア（倫理的な価値）を基盤に、特定の健康課題に対して、科学的根拠（EBN）に基づいた看護実践と生活を支えるケアを実践する。また、多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの一員の役割について再考する。そのうえで、健康を科学する看護の本質について課題を見出し主体的に探究する。

到 達 目 標
1. 看護実践能力の課題と今後の取り組みについて明確にすることができる 2. 看護技能評価を受け、看護技術を修得することができる 3. 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、組織・チームの中で看護部門のリーダーとして活躍できる 4. 高規格シミュレーター(もしくは、模擬患者)を使った看護過程学修を受け、健康を科学する看護の本質について課題を見出し主体的に探究することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：予習のための小テスト、および事前課題を実施して授業に臨む 事後学修：当日の授業内容の小テスト、およびまとめのレポートに取り組む

対応D P
☐ 健康を科学するために、健康課題をもつ対象者に対し全人的に捉える能力を身につけることができる。
☒ 多様化かつ高度化する医療において、発達段階に応じた人々の生活の質（QOL）を支える看護が実践できる。

評 価
看護技能評価(25%)、看護過程の実際とレポート(60%)、課題レポートと振り返り・ピア評価(15%)

教 科 書
基礎看護学技術Ⅰ・Ⅱ（医学書院） 看護過程を展開する領域に関するテキスト、および講義資料

参 考 図 書

留 意 事 項
4年間の学習の集大成として、看護実践と生活を支えるケアについて看護技能評価（OSCE）とシミュレーション学習を行います

オフィスアワー等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統合演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、竹元 仁美、増山 純二、児玉 裕美、梅木 彰子、寺岡 祥子、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、別城 佐和子、松本 宗賢				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ガイダンス	統合看護演習の目的/学修の進め方/グループ分けの説明	全員
2	看護技術①	看護技能評価：看護技術①	全員
3	看護技術②	看護技能評価：看護技術②	全員
4	看護技術③	看護技能評価：看護技術③	全員
5	事例に基づく看護過程	シミュレーションを基にした事例の看護過程の展開（シミュレーション前の準備）	全員
6	事例に基づく看護過程 （成人看護学：急性期）①	シミュレーションを基にした事例の看護過程	全員
7	事例に基づく看護過程 （成人看護学：急性期・救急）②	シミュレーションを基にした事例の看護過程	全員
8	事例に基づく看護過程 （成人看護学：慢性期）①	シミュレーションを基にした事例の看護過程	全員
9	事例に基づく看護過程 （その他）	シミュレーションを基にした事例の看護過程	全員
10	リフレクション	看護実践力の課題と今後の取り組みについて明確にする（グループワーク）	全員
11	事例に基づく看護過程 （小児看護学）①	シミュレーションを基にした事例の看護過程	全員
12	事例に基づく看護過程 （母性看護学）①	シミュレーションを基にした事例の看護過程	全員
13	事例に基づく看護過程 （在宅看護学）①	シミュレーションを基にした事例の看護過程	全員
14	事例に基づく看護過程 （その他）	シミュレーションを基にした事例の看護過程	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統合演習	2026年度	看護学科	1単位	30時間	必修	4年後期
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
辻 慶子、竹元 仁美、増山 純二、児玉 裕美、梅木 彰子、寺岡 祥子、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、別城 佐和子、松本 宗賢				演習		

回数	単 元	内 容	担当教員
15	リフレクション	看護実践力の課題と今後の取り組みについて明確にする（グループワーク）	全員

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
卒業研究	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	4年通年(前期)
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 裕二、辻 慶子、竹元 仁美、白石 裕子、児玉 裕美、梅木 彰子、池田 敏子、寺岡 祥子、齋藤 嘉宏、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、岩倉 真由美、松本 宗賢、別城 佐和子、喜多 麻衣子				演習	演習	

授 業 概 要	
2年次に学んだ看護研究の意義，目的，方法，倫理的配慮などを基礎として，3年間の看護学の学修を広い視野で統合し問題意識を明確にする。国内外の文献を読み，その科学的根拠を探究する過程を通して研究目的，研究方法，研究上の倫理について理解を深める。論文作成に当たっては関心のあるテーマに関する文献のクリティークを行い，研究デザインや理論・概念枠組み・データ収集・測定用具・分析方法・分析結果を解釈し作成する。論文を作成する過程を通して看護を科学的に探究し自己研鑽できるように学ぶ。	
到 達 目 標	
1. 看護学の発展や看護実践における看護研究の必要性を理解できる。 2. 既存の研究成果を看護実践や研究に的確に活用できる批判的思考を修得することができる。 3. 広い視野で看護に関連した疑問・研究課題を見出し，それを解決していくための研究プロセスを理解でき，研究成果を論文としてまとめることができる。	
事 前 学 修 ・ 事 後 学 修	
事前学修：既習の看護研究の内容を確認し取り組みたい研究分野の内容を調べ，研究課題に向けて準備する。 事後学修：関連文献を収集し，研究課題と研究内容を明らかにする。	
対応D P	
☐	多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。
☒	自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。
☐	
☐	
☐	
☐	
評 価	
研究テーマの選定（10％），研究課題への取り組み（40％），論文作成（50％）の3つの視点から評価する。	
教 科 書	
系統看護学講座 別巻 看護研究	
参 考 図 書	
留 意 事 項	
ゼミ担当教員の研究論文等を読み，研究をイメージしておく。	
オフィスアワー等	
基本的にはいつでも大丈夫ですが，事前にメールでアポイントを取ってください。 研究室：2号館7階 2719研究室 メールアドレス：yu.tanaka@kyoju.ac.jp	
実 務 経 験	

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
卒業研究	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	4年通年(前期)
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 裕二、辻 慶子、竹元 仁美、白石 裕子、児玉 裕美、梅木 彰子、池田 敏子、寺岡 祥子、齋藤 嘉宏、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、岩倉 真由美、松本 宗賢、別城 佐和子、喜多 麻衣子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	研究疑問の明確化	研究担当教員と看護に関連した疑問を自ら考え，テーマを明確にできる。	
2	研究テーマの決定	研究テーマを決定する。	
3	研究目的の明確化	研究課題，研究目的について既にわかっていること，未だに明らかにされていないことなどを明確にする。	
4	文献レビュー	研究疑問・研究課題に関する国内外の文献を系統的，批判的に検討し，要約する。	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

授 業 科 目 名		開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
卒業研究		2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	4年通年(前期)
担 当 教 員					授業形態		開講形式
田中 裕二、辻 慶子、竹元 仁美、白石 裕子、児玉 裕美、梅木 彰子、池田 敏子、寺岡 祥子、齋藤 嘉宏、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、岩倉 真由美、松本 宗賢、別城 佐和子、喜多 麻衣子					演習		演習

回数	単 元	内 容	担当教員
15			

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
卒業研究	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	4年通年(後期)
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 裕二、辻 慶子、竹元 仁美、白石 裕子、児玉 裕美、梅木 彰子、池田 敏子、寺岡 祥子、齋藤 嘉宏、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、岩倉 真由美、松本 宗賢、別城 佐和子、喜多 麻衣子				演習	演習	

授 業 概 要
2年次に学んだ看護研究の意義、目的、方法、倫理的配慮などを基礎として、3年間の看護学の学修を広い視野で統合し問題意識を明確にする。国内外の文献を読み、その科学的根拠を探究する過程を通して研究目的、研究方法、研究上の倫理について理解を深める。論文作成に当たっては関心のあるテーマに関する文献のクリティークを行い、研究デザインや理論・概念枠組み・データ収集・測定用具・分析方法・分析結果を解釈し作成する。論文を作成する過程を通して看護を科学的に探究し自己研鑽できるように学ぶ。

到 達 目 標
1. 看護学の発展や看護実践における看護研究の必要性を理解できる。 2. 既存の研究成果を看護実践や研究に的確に活用できる批判的思考を修得することができる。 3. 広い視野で看護に関連した疑問・研究課題を見出し、それを解決していくための研究プロセスを理解でき、研究成果を論文としてまとめることができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修
事前学修：既習の看護研究の内容を確認し取り組みたい研究分野の内容を調べ、研究課題に向けて準備する。 事後学修：関連文献を収集し、研究課題と研究内容を明らかにする。

対応D P
☐ 多様な対象者の抱える個別の健康課題に対して、科学的根拠に基づく看護が実践できる。 ☒ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、看護の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価
研究テーマの選定（10％），研究課題への取り組み（40％），論文作成（50％）の3つの視点から評価する。

教 科 書
系統看護学講座 別巻 看護研究

参 考 図 書

留 意 事 項
ゼミ担当教員の研究論文等を読み、研究をイメージしておく。

オフィスアワー等
基本的にはいつでも大丈夫ですが、事前にメールでアポイントを取ってください。 研究室：2号館7階 2719研究室 メールアドレス：yu.tanaka@kyoju.ac.jp

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
卒業研究	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	4年通年(後期)
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 裕二、辻 慶子、竹元 仁美、白石 裕子、児玉 裕美、梅木 彰子、池田 敏子、寺岡 祥子、齋藤 嘉宏、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、岩倉 真由美、松本 宗賢、別城 佐和子、喜多 麻衣子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	文献レビュー	研究疑問・研究課題に関する国内外の文献を系統的、批判的に検討し、要約する。	
2	文献レビューのまとめ	卒業研究報告書を執筆するために、文献レビューした内容をまとめる。	
3	研究成果の文章化	本文（はじめに・方法・倫理的配慮・結果・考察・結論・文献）を文章化する。必要であれば、図表を作成する。	
4	卒業研究報告書の作成	研究を振り返り、卒業研究報告書を作成し、期日までに提出する。	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
卒業研究	2026年度	看護学科	2単位	30時間	必修	4年通年(後期)
担 当 教 員				授業形態	開講形式	
田中 裕二、辻 慶子、竹元 仁美、白石 裕子、児玉 裕美、梅木 彰子、池田 敏子、寺岡 祥子、齋藤 嘉宏、松井 聡子、大村 由紀美、島村 美香、岩倉 真由美、松本 宗賢、別城 佐和子、喜多 麻衣子				演習	演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15			